

平成14年度

岩手県農業研究センター 年報

平成15年7月

目 次

I 農業研究センターの概要

1	組織機構・職員数	1
2	会議、委員会、部会等の運営	2
(1)	農業試験研究推進会議等の開催	2
ア	事前評価（内部評価、外部評価）	2
イ	成果評価（内部評価、外部評価）、追跡評価（内部評価）	3
ウ	年度評価（内部評価）、事後評価（内部評価）	5
エ	外部評価	6
(2)	企画運営会議、全体会議の概要	9
(3)	委員会等の運営	12
ア	ほ場管理委員会	12
イ	研究報告等編集委員会	12
ウ	参観デー等企画運営委員会	12
エ	特許審査委員会	13
オ	農作物病害虫・雑草防除基準編成所内検討会議	13
カ	農業研究センター5カ年誌編集委員会	13
(4)	その他会議	14
ア	全国農業関係試験研究場所長会議	14
イ	東北地域農業関係試験研究場所長会議	14
ウ	都道府県農業関係試験研究主務課長・場長会議	14
エ	岩手県試験研究機関所長等会議	14
オ	東北農業試験研究推進会議	15
カ	県内における開催学会	16

II 試験研究の推進

1	研究活動の概要	17
2	研究室の動き	17
(1)	企画経営情報部	17
(2)	農産部	18
(3)	園芸畑作部	19
(4)	生産環境部	20
(5)	病害虫部	21
(6)	畜産研究所	22
(7)	県北農業研究所	24
3	平成14年度試験研究課題	26
(1)	細目課題分類	26
(2)	試験研究課題一覧	27
(3)	要望課題の措置	41
4	共同研究の推進	46
(1)	地域基幹農業技術体系化促進研究	46
(2)	先端技術等地域実用化研究促進事業	46
(3)	21世紀型農業経営モデル実証試験	47
(4)	岩手県生物工学研究所との共同研究	47
(5)	大学との共同研究	48
(6)	A F R研究会	48
(7)	その他共同研究	49
(8)	その他産学官連携行事	50
5	現地試験の実施	51

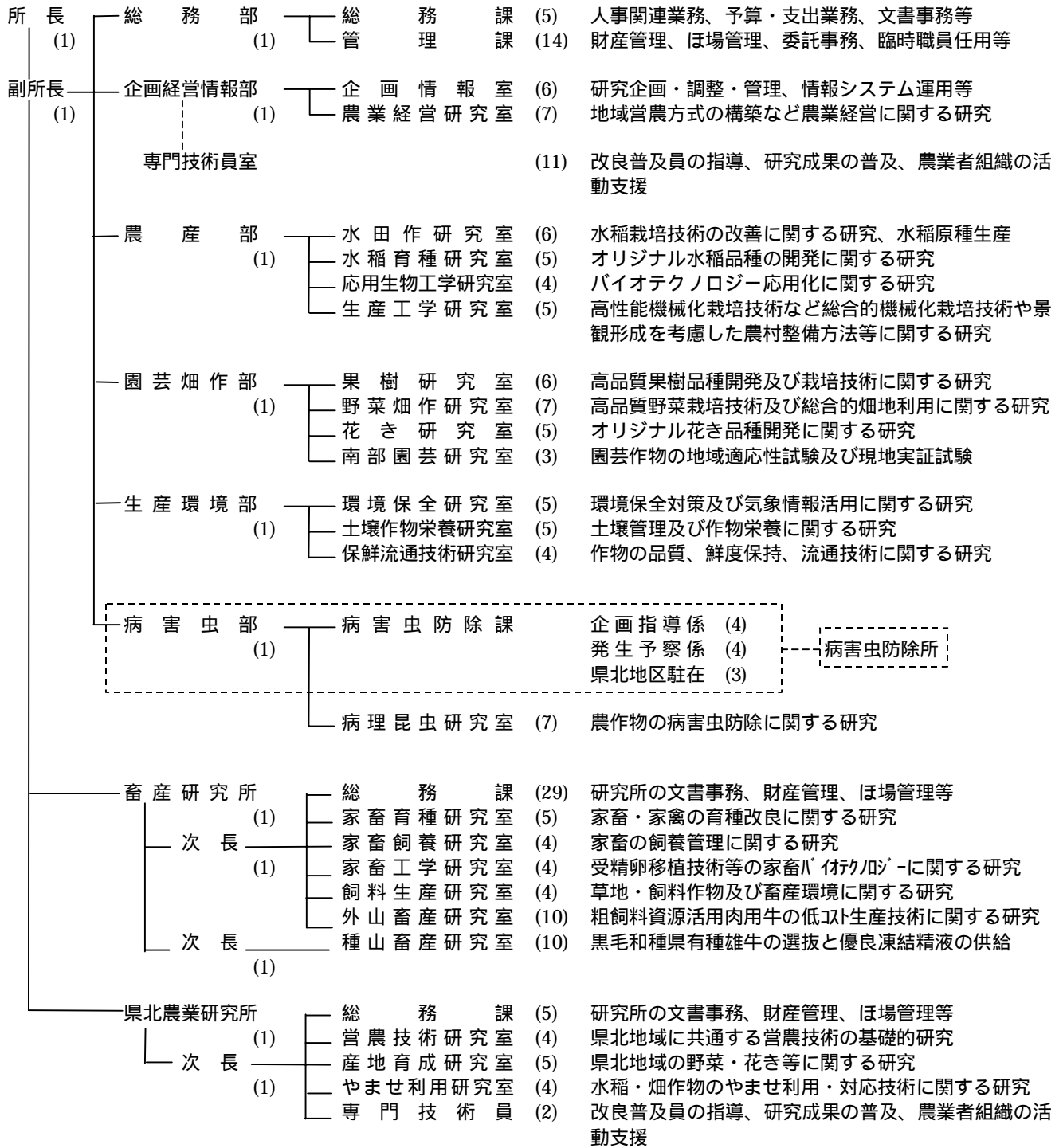
III 試験研究の成果

1	試験研究成果	55
(1)	成果区分別一覧	55
	【普及（普及に移しうる成果）】	55
	【指導（技術指導に参考となる成果）】	56
	【行政（行政施策等に反映すべき成果）】	57

【研究（研究開発に有効な成果）】	58
(2) 外部評価結果一覧	59
【普及（普及に移しうる成果）】	59
【指導（技術指導に参考となる成果）】	60
【行政（行政施策等に反映すべき成果）】	61
2 フォローアップ	62
3 東北農業試験研究成果	65
(1) 研究成果数	65
(2) 研究成果	65
IV 試験研究成果の発表	
1 試験成績書等刊行物	68
2 学会等研究報告	69
3 雑誌等掲載	73
4 新聞等掲載	76
5 テレビ・ラジオ放送	79
6 指導資料等掲載	80
7 トライアングル	82
8 図書資料収集・提供	82
9 ホームページ	82
V 指導・啓発活動	
1 技術伝達研修等の実施	83
2 現地指導・研究会等への講師派遣	84
3 視察者、見学者の受け入れ状況	89
4 春期一般公開及び参観デー	89
5 現地ふれあい農業研究センター	89
6 一日子供農業研究員	89
7 加工体験	89
8 研修生の受け入れ	90
(1) 海外研修員	90
(2) 短期研修生	90
(3) 改良普及員	90
(4) 体験学習受け入れ	94
9 協議会、委員会等委員	96
VI 職員研修	
1 大学院	103
2 海外派遣・研修	103
3 国内研修への派遣	103
4 所内セミナー等	106
VII 人事、予算、財産	
1 農業研究センター予算	109
2 建物、用地	110
3 種苗登録、特許等	111
(1) 種苗登録	111
(2) 特許、実用新案	111
4 表彰	112
5 職員名簿	113
沿革	116

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数（平成 14 年 4 月 1 日現在、兼務職員を含む）



	本部		畜産研究所			県北農業研究所 (軽米町)	合計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢村)	外山畜産研究室 (玉山村)	種山畜産研究室 (住田町)		
行政	3	5	4		1	4	4
研究	7	5	3	2	0	5	5
技能	9			2	5	4	4
合計	11	9	3	4	9	1	0

行政職 (42): 事務 (16)、専門技術員 (11)、病害虫部長 (1)、病害虫防除課 (11)

2 会議、委員会、部会等の運営

(1) 農業試験研究推進会議等の開催

ア 事前評価（内部評価、外部評価）

(ア) 研究会議

農産部会

開催日時 平成 14 年 6 月 27 日 9 時 30 分～

参集範囲 (農林水産企画室)、(流通課)、農業普及技術課、農村計画課、農村建設課、農産園芸課、岩手
生物工学研究センター、(農業大学校)、盛岡農業改良普及センター、農業研究センター

協議事項 ・平成 15 年度実施要望課題の措置について
・平成 15 年度新規試験研究課題について

園芸畑作部会

開催日時 平成 14 年 6 月 25 日 9 時 30 分～（果樹・花き） 6 月 26 日 9 時 30 分～（野菜・畑作関係）

参集範囲 (農林水産企画室)、(流通課)、農業普及技術課、農村計画課、農村建設課、農産園芸課、岩手
生物工学研究センター、農業大学校、盛岡農業改良普及センター、農業研究センター

協議事項 ・平成 15 年度実施要望課題の措置について
・平成 15 年度新規試験研究課題について

畜産部会

開催日時 平成 14 年 6 月 28 日 9 時 30 分～

参集範囲 (農林水産企画室)、流通課、農業普及技術課、畜産課、盛岡家畜保健衛生所、農業大学校、盛
岡農業改良普及センター、農業研究センター

協議事項 ・平成 15 年度実施要望課題の措置について
・平成 15 年度新規試験研究課題について

総合部会

開催日時 平成 14 年 7 月 1 日 9 時 30 分～

参集範囲 (農林水産企画室)、団体指導課、流通課、農業振興課、農業普及技術課、農村計画課、農産園
芸課、(農業大学校)、盛岡農業改良普及センター、農業研究センター 括弧書きは参集範囲だが欠席

協議事項 ・平成 15 年度実施要望課題の措置について
・平成 15 年度新規試験研究課題について

(イ) 内部調整会議

開催日時 平成 14 年 7 月 8 日 10 時～

参集範囲 所長、副所長、各部長・研究所長、首席専門技術員

協議事項 ・平成 15 年度試験研究要望課題の措置案について
・平成 15 年度新規試験研究課題の調整について（事前評価、内部評価結果）

(ロ) 専門部会

農産部会

開催日時 平成 14 年 7 月 22 日 10 時～

参集範囲 外部評価委員、(岩手大学農学部)、東北農業研究センター、岩手統計情報事務所、仙台食糧事務所
盛岡事務所、全農岩手県本部、岩手県農業共済組合連合会、岩手県農産物改良種苗センター、岩手
県植物防疫協会、岩手県農薬卸商業協同組合、岩手県農業公社、岩手県農業機械協会、病害虫
防除所、岩手生物工学研究センター、農業大学校、(盛岡農業改良普及センター)、(農林水産企画室)、(流
通課)、農業普及技術課、農村計画課、農村建設課、農産園芸課、農業研究センター

協議事項 ・平成 15 年度実施要望課題の措置について
・平成 15 年度新規試験研究課題について

園芸畑作部会

開催日時 平成 14 年 7 月 23 日 10 時～（果樹・花き関係） 24 日 10 時～（野菜・畑作関係）

参集範囲 外部評価委員、(岩手大学農学部)、東北農業研究センター、岩手統計情報事務所、果樹研究所リン
ゴ研究部、全農岩手県本部、岩手県農業共済組合連合会、岩手県農産物改良種苗センター、岩手
県植物防疫協会、岩手県農薬卸商業協同組合、岩手県果樹協会、工業技術センター、病害虫防除所、
岩手生物工学研究センター、(農業大学校)、盛岡農業改良普及センター、(農林水産企画室)、(流通課)、
農業普及技術課、農村計画課、農村建設課、農産園芸課、農業研究センター

協議事項 ・平成 15 年度実施要望課題の措置について
・平成 15 年度新規試験研究課題について

畜産部会

開催日時 平成 14 年 7 月 25 日 10 時～

参集範囲 外部評価委員、(岩手大学農学部)、東北農業研究センター、岩手統計情報事務所、家畜改良センター-岩手牧場、全農岩手県本部、岩手県農業共済組合連合会、岩手県肉牛生産公社、家畜改良事業団盛岡種雄牛センター、岩手県畜産会、小岩井農牧技術研究センター、盛岡家畜保健衛生所、農業大学校、(盛岡農業改良普及センター)、(農林水産企画室)、(流通課)、農業普及技術課、(農産園芸課)、畜産課、農業研究センター

協議事項
・平成 15 年度実施要望課題の措置について
・平成 15 年度新規試験研究課題について

総合部会

開催日時 平成 14 年 7 月 26 日 10 時～

参集範囲 外部評価委員、(岩手大学農学部)、東北農業研究センター、(岩手統計情報事務所)、岩手県農業会議、全農岩手県本部、(岩手県農業共済組合連合会)、岩手県農産物改良種苗センター、岩手県植物防疫協会、岩手県農薬卸商業協同組合、岩手県農業公社、(岩手ブランド推進室)(工業技術センター)、病虫害防除所、(岩手生物工学研究センター)、(農業大学校)、(盛岡農業改良普及センター)、(農林水産企画室)、団体指導課、流通課、農業振興課、農業普及技術課、農村計画課、農産園芸課、農業研究センター

協議事項
・平成 15 年度実施要望課題の措置について
・平成 15 年度新規試験研究課題について

(I) 総合調整会議

開催日時 平成 14 年 8 月 26 日 13 時～

参集範囲 農業普及技術課、所長、副所長、各部長・研究所長、首席専門技術員

協議事項
・平成 14 年度試験研究成果について
・平成 15 年度新規試験研究課題について(事前評価、外部評価結果)

(I) 推進会議

開催日時 平成 14 年 9 月 10 日 13 時 30 分～

参集範囲 農林水産部長、農林水産部次長、農林水産企画監、団体指導課長、組合指導監、流通課長、農業振興課長、中山間対策監、農業普及技術課長、農村計画課長、総合国営対策監、農村建設課長、農産園芸課長、水田農業推進監、畜産課長、畜産衛生対策監、生物工学研究所長、農業大学校校長、盛岡農業改良普及センター-所長、農業研究センター

協議事項
・平成 14 年度試験研究成果について
・平成 15 年度実施予定新規課題について

イ 成果評価(内部評価、外部評価)、追跡評価(内部評価)

(I) 研究会議

農産部会

開催日時 平成 14 年 12 月 9 日 9 時 30 分～

参集範囲 農林水産企画室、流通課、農業普及技術課、農村計画課、(農村建設課)、農産園芸課、岩手生物工学研究センター、農業大学校、盛岡農業改良普及センター、農業研究センター 括弧書きは参集範囲だが欠席

協議事項
・平成 14 年度試験研究成果について

園芸畑作部会

開催日時 平成 14 年 12 月 10 日 9 時 30 分～(果樹・花き関係) 11 日 9 時 30 分～(野菜・畑作関係)

参集範囲 農林水産企画室、流通課、農業普及技術課、農村計画課、農村建設課、農産園芸課、岩手生物工学研究センター、農業大学校、盛岡農業改良普及センター、北上農業改良普及センター、水沢農業改良普及センター、一関農業改良普及センター、千厩農業改良普及センター、二戸農業改良普及センター、農研センター

協議事項
・平成 14 年度試験研究成果について

畜産部会

開催日時 平成 14 年 12 月 12 日 9 時 30 分～

参集範囲 農林水産企画室、(流通課)、農業普及技術課、畜産課、盛岡家畜保健衛生所、農業大学校、(盛岡農業改良普及センター)、農業研究センター

協議事項
・平成 14 年度試験研究成果について

総合部会

開催日時 平成 14 年 12 月 13 日 9 時 30 分～

参集範囲 農林水産企画室、(団体指導課)、流通課、農業振興課、農業普及技術課、農村計画課、農産園芸課、畜産課、(農業大学校)、盛岡農業改良普及センター、農業研究センター

協議事項 ・平成 14 年度試験研究成果について

(f) 内部調整会議

開催日時 平成 14 年 12 月 19 日 11 時～

参集範囲 所長、副所長、各部長・研究所長、首席専門技術員

協議事項 ・平成 11 年度試験研究成果(普及区分)の追跡評価結果について(追跡評価、内部評価結果)
・平成 14 年度試験研究成果(案)の内部評価結果について(成果評価、内部評価結果)

(g) 専門部会

農産部会

開催日時 平成 15 年 1 月 8 日 10 時～

参集範囲 外部評価委員、(岩手大学農学部)、東北農業研究センター、岩手統計情報事務所、仙台食糧事務所盛岡事務所、全農岩手県本部、岩手県農業共済組合連合会、岩手県農産物改良種苗センター、岩手県植物防疫協会、岩手県農薬卸商業協同組合、岩手県農業公社、岩手県農業機械協会、(岩手県農業機械商業協同組合)、病虫害防除所、岩手生物工学研究センター、(農業大学校)、盛岡農業改良普及センター、(農林水産企画室)、(流通課)、農業普及技術課、農村計画課、農村建設課、農産園芸課、農業研究センター

協議事項 ・平成 14 年度試験研究成果について

園芸畑作部会

開催日時 平成 15 年 1 月 14 日 10 時～(果樹・花き関係) 15 日 10 時～(野菜・畑作関係)

参集範囲 外部評価委員、(岩手大学農学部)、東北農業研究センター、岩手統計情報事務所、果樹研究所リンゴ研究部、全農岩手県本部、岩手県農業共済組合連合会、岩手県農産物改良種苗センター、岩手県植物防疫協会、岩手県農薬卸商業協同組合、岩手県果樹協会、岩手県食品産業協議会、(岩手ブランド推進課)、工業技術センター、病虫害防除所、岩手生物工学研究センター、農業大学校、盛岡農業改良普及センター、(農林水産企画室)、(流通課)、農業普及技術課、農村計画課、農村建設課、農産園芸課、農業研究センター

協議事項 ・平成 14 年度試験研究成果について

畜産部会

開催日時 平成 15 年 1 月 10 日 10 時～

参集範囲 外部評価委員、(岩手大学農学部)、東北農業研究センター、岩手統計情報事務所、家畜改良センター、岩手牧場、全農岩手県本部、岩手県農業共済組合連合会、岩手県肉牛生産公社、家畜改良事業団盛岡種雄牛センター、岩手県畜産会、小岩井農牧技術研究センター、盛岡家畜保健衛生所、農業大学校、盛岡農業改良普及センター、(農林水産企画室)、(流通課)、農業普及技術課、(農産園芸課)、畜産課、農業研究センター

協議事項 ・平成 14 年度試験研究成果について

総合部会

開催日時 平成 15 年 1 月 9 日 10 時～

参集範囲 外部評価委員、(岩手大学農学部)、東北農業研究センター、岩手統計情報事務所、岩手県農業会議、全農岩手県本部、岩手県農業共済組合連合会、岩手県農産物改良種苗センター、岩手県植物防疫協会、岩手県農薬卸商業協同組合、岩手県農業公社、(岩手県食品産業協議会)、(岩手ブランド推進課)、(工業技術センター)、(病虫害防除所)、(岩手生物工学研究センター)、農業大学校、盛岡農業改良普及センター、(農林水産企画室)、(団体指導課)、流通課、(農業振興課)、農業普及技術課、農村計画課、(農産園芸課)、畜産課、農業研究センター

協議事項 ・平成 14 年度試験研究成果について

(I) 総合調整会議

- 開催日時 平成 15 年 1 月 28 日 13 時～
参集範囲 農業普及技術課、所長、副所長、各部長・研究所長、首席専門技術員
協議事項
・平成 14 年度試験研究成果の概要
・外部評価の結果について（成果評価、外部評価結果）
・平成 14 年度試験研究成果（案）について
・推進会議の運営について

(II) 推進会議

- 開催日時 平成 15 年 2 月 13 日 15 時～
参集範囲 農林水産部長、農林水産部次長、農林水産企画監、団体指導課長、組合指導監、流通課長、農業振興課長、中山間対策監、農業普及技術課長、農村計画課長、総合国営対策監、農村建設課長、農産園芸課長、水田農業推進監、畜産課長、家畜衛生対策監、生物工学研究所長、農業大学校長、盛岡農業改良普及センター所長、農業研究センター
協議事項
・平成 14 年度試験研究成果について

ウ 年度評価（内部評価） 事後評価（内部評価）

(ア) 研究会議（試験設計）

企画経営情報部

- 開催日時 平成 15 年 3 月 6 日 9 時 30 分～
参集範囲 農林水産企画室、団体指導課、流通課、農業振興課、農業普及技術課、農村計画課、農産園芸課、農業大学校、盛岡農業改良普及センター、農業研究センター
協議事項
・平成 15 年度試験研究課題の試験設計について

農産部

- 開催日時 平成 15 年 3 月 7 日 9 時 30 分～
参集範囲 農林水産企画室、流通課、農業普及技術課、農村計画課、農村建設課、農産園芸課、農業大学校、盛岡農業改良普及センター、農業研究センター
協議事項
・平成 15 年度試験研究課題の試験設計について

園芸畑作部

- 開催日時 平成 15 年 3 月 10 日 9 時 30 分～
参集範囲 農林水産企画室、流通課、農業普及技術課、農村計画課、農村建設課、農産園芸課、農業大学校、盛岡農業改良普及センター、農業研究センター
協議事項
・平成 15 年度試験研究課題の試験設計について

生産環境部

- 開催日時 平成 15 年 3 月 12 日 9 時 30 分～
参集範囲 流通課、農業普及技術課、農村計画課、農産園芸課、農業大学校、盛岡農業改良普及センター、農業研究センター
協議事項
・平成 15 年度試験研究課題の試験設計について

病害虫部

- 開催日時 平成 15 年 3 月 11 日 9 時 30 分～
参集範囲 農業普及技術課、農産園芸課、農業大学校、盛岡農業改良普及センター、農業研究センター
協議事項
・平成 15 年度試験研究課題の試験設計について

畜産研究所

- 開催日時 平成 15 年 3 月 10 日 9 時 30 分～
参集範囲 農林水産企画室、流通課、農業普及技術課、畜産課、農業大学校、盛岡農業改良普及センター、農業研究センター
協議事項
・平成 15 年度試験研究課題の試験設計について

県北農業研究所

- 開催日時 平成 15 年 3 月 14 日 9 時 30 分～
参集範囲 農業普及技術課、農産園芸課、久慈農業改良普及センター、二戸農業改良普及センター、農業研究センター
協議事項
・平成 15 年度試験研究課題の試験設計について

(イ) 内部調整会議

- 開催日時 平成 15 年 3 月 24 日 13 時～
参集範囲 所長、副所長、各部長・研究所長、首席専門技術員
協議事項 ・平成 14 年度試験研究課題の内部評価結果について（年度評価、事後評価）
・平成 15 年度新規試験研究課題の協議結果について

エ 外部評価

(ア) 外部評価委員

- a 委員は「学識経験者」、「農業者」、「農業関係団体職員」、「専門部会長が特に必要と認めるもの」の 4 分類。
b 試験研究推進会議専門部会長の推薦で研究センター所長が委嘱。
c 評価委員の委嘱期間は 2 年間。
d 平成 14 年度は 25 名の外部評価委員を委嘱。
e 委員構成は以下のとおり。

内訳別	人数	部会別	人数	主な分野
(1) 岩手県指導農業士	8 名	(1) 農産部会	5 名	水稲、生産工学、バイク
(2) 民間・団体(JA他)	9 名	(2) 園芸畑作部会	8 名	果樹、花き、野菜、畑作
(3) 国の機関	7 名	(3) 畜産部会	7 名	畜産全般
(4) 県の機関(県立大学)	1 名	(4) 総合部会	5 名	経営、生産環境など共通
合計	25 名	合計	25 名	

外部評価委員名簿

（敬称略、平成 14 年 7 月 1 日現在）

区分	No	氏名	区分	所属等	役職	備考
農産部会	1	伊藤 一幸	A	農業技術研究機構東北農業研究センター "（水田利用部） 金ヶ崎町 いわて直播栽培研究会 全農岩手県本部	連携研究第1チーム長 水田利用部上席研究官 指導農業士 事務局長 米穀部長	異動で9月末まで
	2	小泉 信三	A			
	3	小関 新喜	B			
	4	盛川 周佑	B			
	5	古舘 良介	C			
園芸畑作部会	1	別所 英男	A	農業技術研究機構果樹研究所	栽培生理研究室長	
	2	山崎 篤	A	農業技術研究機構東北農業研究センター	野菜花き栽培研究室長	
	3	照井 良計	B 畑作物	花巻市	指導農業士	
	4	伊藤 俊美	B 果樹	石鳥谷町	指導農業士	
	5	高橋 新一	B 野菜	北上市	指導農業士	
	6	高橋 明	B 花き	湯田町	指導農業士	
	7	菊池 俊則	C 畑作物	全農岩手県本部	米穀部次長	
	8	黒川賢太郎	D 流通・加工	花巻地域米・雑穀・大豆加工研究会	会長	
畜産部会	1	名久井 忠	A	農業技術研究機構東北農業研究センター	畜産草地部長	
	2	松田 修一	A	家畜改良センター岩手牧場	次長	
	3	工藤 嘉夫	B 酪農	西根町	指導農業士	
	4	櫻田 長男	B 肉牛	雫石町	指導農業士	
	5	赤川 良二	C	全農岩手県本部	畜産酪農部次長	
	6	佐藤 彰	C	(社)岩手県畜産会	経営支援部長	
	7	萱野 裕是	D	小岩井農牧(株)技術研究センター	所長	
総合部会	1	豊島 正幸	A 環境	岩手県立大学総合政策学部	教授	
	2	中島 寛爾	A 経営	農業技術研究機構東北農業研究センター	総合研究部長	
	3	石川 和宣	B	一関市	農業士協会会長	
	4	伊藤 萬	C 営農	J A 新いわて	参事	
	5	岡市 光男	D 流通	(株)岩果	取締役主管	

【区分:A 学識経験者、B 農業者、C 農業関係団体職員、D 専門部会長が特に必要と認める者】

(1) 平成15年度新規試験研究課題の外部評価結果

[Noは要望由来(16)][A:適切、B:一部見直し、C:大幅見直し、D:不適切]

名	提案 部会	No.	課題名	委員 数	総合評価(%)				課題化の 可・否
					A	B	C	D	
評価を受けた37課題の合計				25	75	22	2	1	37
企画 経営 情報部	園畑 総合	1	果菜作専作経営育成のための省力技術の経営実証	3	100				
		2	農家民宿の開業条件の解明	5	40	60			
		3	産地直売施設における情報活用	5	40	60			
		4	食品産業との連携等による農産物加工品の商品化条件の解明	5	80	20			
農産部	農産	5	水稻湛水直播の安定栽培技術の確立と実証	5	40	40	20		
		6	ロングマット水耕苗移植栽培技術の確立と実証	5	20	60	20		
		7	玄米、白米などを材料としたDNAマーカー利用による水稻品種識別	5	80	20			
		8	農作業事故防止のための基盤整備手法	5	40	60			
	園畑	9	りんご有望台木の再分化技術	2	100				
園芸 畑作部	園畑	10	おうとう新台木の検索と実用化	2	100				
		11	果菜類の低コスト灌水施肥栽培技術の確立	3	67	33			
		12	りんどうの高品質促成栽培技術の確立りんどうコンテナ栽培技術の確立	2	50	50			
		13	寒冷地型鉢花・花壇苗物生産技術の確立	2	50	50			
生産 環境部	農産	14	水田における要素反応試験	5	100				
	園畑	15	画像解析によるりんごの生育栄養診断基準の策定	2	50	50			
		16	りんどうの養分吸収特性の解明	2	50	50			
		17	県産小麦の地域別製パン適性の評価手法確立	3	100				
		18	米粥、雑穀粥等の凍結乾燥製品の製造方法の開発	3	33	33		33	×
		19	雑穀系統の機能性・食味関連形質の評価	3	67	33			
		20	ヤーコンの長期貯蔵条件の解明	3	100				
	総合	21	畑作地帯における硝酸性窒素等の環境動態解明と負荷軽減技術の評価	5	80	20			
		22	減農薬栽培農産物における農薬残留評価手法の開発	5	100				
		23	県産農産物のカドミウム濃度の実態解明と吸収抑制対策	5	100				
24		水稻減農薬栽培地域の水系における農薬動態の解明	5	80	20				
25		土壌機能実態モニタリング調査	5	100					
26		環境保全型有機質資源連用効果調査	5	60	40				
病害 虫部	農産	27	斑点米カメムシの発生生態解明と防除法の確立	5	60	40			
	園畑	28	りんごカメムシ類の発生生態と効率的防除法の確立	2	100				
		29	りんどう葉枯れ症状の原因解明と防除法	2	100				
		30	ホップ灰色かび病新規防除薬剤の実用化試験	3	100				
総合	31	内分泌攪乱作用が懸念される農薬を使用しない病虫害防除技術の確立	5	100					
畜産 研究所	畜産	32	哺乳ロボットを応用した省力管理技術の確立	7	100				
		33	自給飼料をベースとした安全安心畜産物生産システムの確立	7	86	14			
		34	通気性被覆シートによる堆肥化技術の確立	7	86	14			
県北 農業 研究所	園畑	35	高冷地レタスの高位安定生産技術の確立	3	100				
		36	花壇苗及び鉢花の高収益栽培技術の確立	2	50	50			
		37	葉たばこにおける生分解性マルチ資材の後処理技術の確立	3	67		33		
		38	葉たばこ用新資材の実用化	-	内部評価のみ				

(2) 企画運営会議、全体会議の概要

開催月日	場 所	内 容（協議事項等）
14. 4.12	特別会議室	(第1回企画運営会議) (1) 試験研究再編基本方針について (2) 試験研究再編に係る要領、事務取扱について (3) 平成14年度の試験研究推進に係る日程関係 (4) 現地ふれあい農業研究センターの持ち方について (5) 生物工学研究所と農業研究センターとの連携会議開催について (6) 春季参観デー開催に係る諸注意事項等について (7) 5月、6月行事予定について
14. 4.15	大会議室	(全体会議) (1) 所長運営方針について (2) 農業普及技術推進について (3) 平成14年度各部・研究所等推進方針について
14. 5. 7	特別会議室	(第2回企画運営会議) (1) 試験研究再編に係る要領、事務取扱について (2) 平成15年度政策評価システムに係る対応等について (3) 外部評価委員の選任方法について (4) 平成14年度継続課題及び試験研究成果の取り扱いについて (5) 新規課題に係る試験研究推進計画書等の記載方法について (6) 平成14年度の政策評価に係るスケジュールについて (7) 岩手県農業研究センターにおける現状と課題について（自己点検業務） (8) 主な年間スケジュールについて (9) 6月、7月行事予定について
14. 5.31	特別会議室	(第3回企画運営会議) (1) サマーレビューに対応する新規研究課題について (2) 平成15年度研究予算の試算について (3) 外部評価委員の委嘱について (4) 試験研究会議等、サマーレビュー、政策評価に係るスケジュールについて (5) 岩手県農業研究センター発足後の総括誌（名称未定）発行について (6) 新規課題に係る試験研究推進計画書の記載方法について (7) 平成14年度農研センター広報誌「トライアングル」の年間発行計画について (8) 連絡事項 ・ 平成14年度の政策評価について ・ 第1回研修報告会の開催について ・ 6月、7月の行事予定について
14. 6.10	特別会議室	(臨時企画運営会議) (1) サマーレビューに対応する新規研究課題について
14. 6.24	特別会議室	(第4回企画運営会議) (1) 試験研究課題評価（内部評価）に関する確認事項等について (2) 外部評価委員に対する事前説明会への対応について (3) 試験研究会議以降の研究課題検討に係る作業等について (4) 岩手県農業研究センター発足後5カ年の総括誌（名称未定）関連について (5) 研究成果等に関する情報提供の取り扱いについて (6) 連絡事項 ・ 地域の研究開発システム改革の検討に係る現地意見交換会について ・ 平成13年度試験研究成果フォローアップ調査の結果について ・ 平成14年度本部参観デー開催について ・ 7月、8月の行事予定について

開催月日	場 所	内 容（協議事項等）
14. 7.29	特別会議室	(第5回企画運営会議) (1) サマーレビューに係る資料の作成等について (2) 総合調整会議に向けた準備について (3) 「東北農業試験研究戦略 - 国（独法）県、県間等連携により取り組むべき重要課題 - 」の策定について (4) 連絡事項 ・ 平成15年度政策形成、予算システム関係について ・ AFR事業成果報告会について ・ 全国農業関係試験研究場所長会現地検討会について ・ 生物遺伝資源交換に関する研究協定について ・ 8月、9月の行事予定について
14. 8.26	特別会議室	(第6回企画運営会議) (1) 平成15年度予算動向と編成方針について (2) 連絡事項 ・ サマーレビューの結果について ・ 農業研究センター参観デーの対応について ・ 9月、10月の行事予定について
14. 9.30	特別会議室	(第7回企画運営会議) (1) 平成15年度予算編成について (2) 農業効果試験に係る生産物処理方針について (3) 岩手県農業研究センター試験研究課題評価（追跡評価）について (4) 現地ふれあい農業研究センター（二戸地区）開催計画について (5) 試験研究推進に係る後期スケジュールについて (6) 連絡事項 ・ 「東北農業試験研究戦略」について ・ 第2回研修成果報告会の開催について ・ 10月、11月の行事予定について
14.10.28	特別会議室	(第8回企画運営会議) (1) 平成15年度予算状況について (2) 農業効果試験に係る生産物処理方針について (3) 追跡評価の実施について (4) 平成15年度研究功労者表彰について (5) 連絡事項 ・ 平成14年度試験研究機関所長等会議の結果について ・ 配布文書の電子化について ・ 外部評価結果の公表について ・ センター発足後5カ年誌（仮題）及び所内座談会の実施について ・ 11月、12月の行事予定について

開催月日	場 所	内 容（協議事項等）
14.11.25	特別会議室	<p>(第9回企画運営会議)</p> <p>(1) 試験研究推進会議の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 後期の試験研究推進会議のスケジュールについて イ 試験研究成果検討に係る準備資料の一覧表について ウ 平成14年度試験研究成果提案予定の一覧表について エ 内部調整会議（研究成果）の実施について オ 専門部会（研究成果）の実施について カ 総合調整会議及び推進会議（本会議）の実施について キ 試験研究会議（試験設計、3月）の開催方法（評価の時期）について ク 東北農業研究センターへの成果の取り扱いについて <p>(2) 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度予算事務関係について ・12月、1月の行事予定について ・成果の普及方法について
14.12.24	特別会議室	<p>(第10回企画運営会議)</p> <p>(1) 平成15年度先端技術を活用した農林水産研究高度化事業の応募予定課題について</p> <p>(2) 試験研究会議（試験設計、3月）の開催方法について</p> <p>(3) 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度予算要求状況について ・センター発足後5カ年総括誌（仮題）の作業進行状況について ・1月、2月の行事予定について
15.1.28	特別会議室	<p>(第11回企画運営会議)</p> <p>(1) 水田農業改革大綱（県）について</p> <p>(2) 平成14年度普及指導実績並びに平成15年度普及指導計画検討会について</p> <p>(3) 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度当初予算内示状況について ・試験研究成績、計画概要集等に係る著作物利用許諾書の取り扱いについて ・公設試験研究機関の独立行政法人制度に係る検討について ・佐々木農林水産部長来庁時に話題となった事項について ・主要成果のとりまとめについて ・現地ふれあい農業研究センター（花巻会場）について ・2月、3月の行事予定について
15.2.24	特別会議室	<p>(第12回企画運営会議)</p> <p>(1) 研究成果等に関するマスコミ等への情報提供について</p> <p>(2) 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成14年度農業試験研究推進会議における農林水産部長の意見、要望について ・平成14年度主要研究成果について ・農林水産研究高度化事業の応募状況について ・3月試験研究会議（設計）について ・研究センター参観デー日程関係について ・独立行政法人農業技術研究機構他の調査結果について ・改良助長法改正に伴う普及事業のあり方について
15.3.24	特別会議室	<p>(第13回企画運営会議)</p> <p>(1) 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春季一般公開の開催内容について ・全体会議の開催について ・平成14年度岩手県農業研究センター年報の原稿提出について ・4月、5月の行事予定について

(3) 委員会等の運営

ア 圃場管理委員会

開催月日	場 所	内 容
14. 4.17	1F 小会議室	(1) 圃場管理委員会運営要領等、圃場管理委員について (2) 農業公社への圃場管理業務の委託について (3) 平成 14 年度圃場利用計画の確認について (4) 技能員の配置、運営体制、研修計画等について (5) 作物残さ処理と堆肥造り及び利用等について (6) その他 有機資源循環利用部会（堆肥部会）について 圃場内暗渠止水栓・管理孔の補修について 大区画圃場周辺の農道整備（砂利敷き）について 圃場管理業務委託費の追加予算等の検討について （育苗ハウスのビニール剥ぎ取り等）
14. 8. 7	1F 小会議室	(1) 堆肥専門部会の設立（案）について (2) 有機質資源循環利用計画（案）について (3) その他

イ 研究報告等編集委員会

(ア) 委員会

開催月日	場 所	内 容
14. 9.30	特別会議室	(1) 研究報告・要報第 3 号原稿の審査員の選定について (2) 第 3 号印刷レイアウトの変更等について (3) 第 4 号以降の投稿・執筆要領の改定について

(イ) 幹事会

開催月日	場 所	内 容
14. 9.25	研修室	(1) 研究報告・要報第 3 号の編集スケジュール確認について (2) 第 3 号原稿の審査員の選定について (3) 第 3 号印刷レイアウトの変更等について (4) 第 4 号以降の投稿・執筆要領の改定について

ウ 参観デー等企画運営委員会

(ア) 委員会

開催月日	場 所	内 容
14. 6.24	特別会議室	(1) 岩手県農業研究センター参観デー開催日程について (2) 岩手県農業研究センター参観デー開催計画について
14. 8.26	特別会議室	(1) 岩手県農業研究センター本部参観デー開催内容について (2) 岩手県農業研究センター本部参観デーの対応について

(イ) 幹事会

開催月日	場 所	内 容
14. 6.21	特別会議室	(1) 岩手県農業研究センター参観デー開催日程について (2) 本部参観デー開催内容等について
14. 8. 8	特別会議室	(1) 本部参観デーの検討事項について (2) 本部参観デーマニュアル等について (3) 人員配置について (4) その他
15. 2.18	特別会議室	(1) 平成 14 年度参観デーの反省点について (2) 平成 15 年度春季一般公開の開催予定について (3) 平成 15 年度参観デーの開催予定について (4) その他

エ 特許審査委員会

開催月日	場 所	内 容
14.12.6	特別会議室	(1) 「ペースト状ハトムギ茶の製造及び保存・利用法」についての勤務発明審査 (2) 「デジタルカラー解析による土壌全炭素の簡易推定法」についての勤務発明審査
15.1.22	(書面協議)	(1) 小ぎく(スプレータイプ)「アイマム」シリーズについての勤務発明審査 (2) りんご「岩手6号」についての勤務発明審査

オ 農作物病害虫・雑草防除基準編成所内検討会議

開催月日	場 所	内 容
14.10.23	1 F 小会議室	雑草・成長調整剤分科会 (1) 要望事項に対する検討結果について (2) 平成 15 年度防除基準から削除・削除が不可能な農薬 (3) 雑草防除基準・成長調整剤使用基準の改正内容について 飼料・牧草 水稲 果樹 花き 野菜・畑作物
14.10.24	2 F 小会議室	病害虫分科会 (1) 要望事項に対する検討結果について (2) 平成 15 年度防除基準から削除・削除が不可能な農薬 (3) 病害虫防除基準の改正案について 水稲 畑作物 野菜 花き 果樹 桑・蚕
14.10.28	特別会議室	農作物病害虫・雑草防除基準編成所内検討会議 (1) 平成 15 年度農作物病害虫雑草防除基準に対する要望事項について (2) 平成 15 年度岩手県農作物病害虫・雑草防除基準の主な改正点 (3) 平成 15 年度県防除基準から削除することとした農薬・削除することが不可能な農薬
14.11.11 ～ 11.12	中会議室 中会議室 2 F 小会議室 研修室	農作物病害虫・雑草防除基準編成会議 ・農薬安全使用分科会 (1) 農薬の安全使用指針原案について ・病害虫分科会 (1) 病害虫・鳥獣害防除基準原案について ・雑草分科会 (1) 雑草防除基準原案及び成長調整剤の使用基準原案について

カ 農業研究センター5カ年誌編集委員会

開催月日	場 所	内 容
14.6.13	小会議室	第1回編集委員会 (1) 編集の趣旨等について (2) 編集内容について (3) 今後のスケジュール確認
14.9.25	特別会議室	第2回編集委員会 (1) 前回のまとめ (2) 確認事項 (3) 作業進捗状況 (4) スケジュール
15.2.9	特別会議室	第3回編集委員会 (1) 原稿確認

(4) その他会議

ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
14. 5.28	東京都	第 1 回幹事会 (1) 平成 13 年度事業及び決算報告(監査報告) (2) 新規加入会員 (3) 規約及び諸規定の改正 (4) 役員の選出 (5) 平成 14 年度事業計画及び予算 (6) 研究功労者表彰
14. 5.28	東京都	通常総会(作物部会、園芸部会、全体) (1) 平成 13 年度事業及び決算報告(監査報告) (2) 新規加入会員 (3) 規約及び諸規定の改正 (4) 役員の選出 (5) 平成 14 年度事業計画及び予算 (6) 研究功労者表彰
14. 9.11 ~ 9.13	秋田県 岩手県	試験研究場所長会 現地検討会 (1) 平成 15 年度予算要求の概要 (2) 特別講演「東北地域における農業問題と研究方向」(東北農研センター所長) (3) パネルディスカッション「ネギ等国内野菜生産の戦略と地域連携の可能性」 (4) 現地視察 能代市ネギ現地実証圃、安代町りんどう産地、岩手農研センター圃場

イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
14. 6.26 ~ 6.27	青森県	(1) 研究分野における知的所有権(特許)の考え方について (2) 平成 14 年度主要研究課題について (3) その他

ウ 都道府県農業関係試験研究主務課長・場長会議

開催月日	場 所	内 容
14.10. 8	東京都	(1) 農林水産技術会議事務局主要情勢報告 (2) 意見交換会 地域の研究開発システム改革の具体化に向けた計画的な取組について 地域農業研究センターのコーディネート機能の強化について 競争的資金を活用した産学官連携による研究開発の推進について

エ 岩手県試験研究機関所長等会議

開催月日	場 所	内 容
14.10. 9	県庁	知事との意見交換会 (1) 各試験研究機関の現状と課題について (2) 課題の改善方向について

オ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
14. 7. 5	東北農研センター	「評価企画会議」 (1) 東北地域農業研究戦略について (2) 東北農業県研究推進会議運営要領の一部改正 (3) 今後の地域農業研究の方向 (4) 推進会議の年間計画及び夏の研究会の日程 (5) その他
14.11.21	東北農研センター	「本会議」 (1) 平成 14 年度東北農業試験研究推進会議の運営について (2) 平成 14 年度「行政施策上で対応が必要な試験研究問題について」 (3) 「東北農業試験研究戦略」について (4) 重要検討事項 ア 今後の地域の研究開発システムと推進方策 イ 各県における産学官連携研究の現状と今後の方向 ウ 総合討議 (5) その他 ア 研究成績・計画概要集の CD-ROM 化 イ 研究成果のフォローアップ実施について
15. 2. 14	東北農研センター	「評価企画会議」 (1) 主要研究成果の評価及び公表について (2) 行政部局の要望事項への取り組み方針の検討及び推進部会の報告 (3) 地域農業研究推進方策とその課題化について (4) 地域の研究開発システム改革の推進方策と研究成果のフォローアップについて (5) 意見交換 (6) 評価委員の講評 東北農業研究テーブルリサーチ (1) 所内見学 (2) 研究懇談会 (3) 開放型研究施設見学会
15. 2. 6 15. 2. 5～ 6 15. 2. 12～ 13	大曲市 " 盛岡市	水稲推進部会 水稲品種検討会（2. 5）、水稲栽培研究会（2. 5～6） 水稲直播研究会
15. 2. 3～ 4 15. 2. 4	福島市	畑作物推進部会 （夏）品種系統検討会
15.1.30～31	盛岡市	生産環境推進部会 土壌肥料研究会(1.29～30)、病害虫研究会(1.29～30)、 斑点米カメムシ類研究会(1.29) 農業気象研究会（1.30）
15. 2. 4 15. 2. 3	盛岡市	作業技術推進部会 作業技術研究会
15. 1. 31 15. 1. 30	盛岡市	経営推進部会 経営研究検討会
15. 2. 4～ 5 15. 2. 3	盛岡市	畜産推進部会 草地研究会（2. 3）、牧草・飼料作物優良品種選定ネットワーク（2. 3）
15. 1. 28～ 29	盛岡市	果樹推進部会
15. 1. 30～ 31 15. 1. 30	盛岡市	野菜・花き推進部会 野菜部会、花き部会
15. 1. 30～ 31	雫石町	流通・加工推進部会
15. 1. 28～ 29 15. 1. 29	盛岡市	生物工学推進部会 生物工学研究会

カ 県内における開催学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
14.7.5～6	盛岡市繫	2002 ブルーベリー-inいわて
14.7.19	盛岡市	日本農薬学会 21 世紀記念シンポジウム 「市民講座 - 農薬と環境と安全性」
14.9.13～15	盛岡市 岩手大学	第 95 回日本繁殖生物学会
14.9.14～15	一戸町及び 県北農業研究所	全国雑穀サミット シンポジウム、雑穀料理試食会、現地視察ツアー、雑穀栽培ほ場公開 アマランサス収穫体験、雑穀収穫調製機械展示説明
14.9.26～27	盛岡市 プラザおでって	平成 14 年度日本植物病理学会東北部会
14.10.18～19	盛岡市 ホテル東日本	東北地区日本産業動物獣医学会
15.3.25～27	盛岡市 岩手大学	第 47 回日本応用動物昆虫学会大会

II 試験研究の推進

1 研究活動の概要

本センターでは「岩手県農業試験研究推進構想」(平成12年3月策定。以下「推進構想」と言う。)に基づき、バイオテクノロジー等を利用した商品性の高い独自品種の開発や胚移植技術等を利用した家畜改良国際化に対応できる超省力、低コスト生産技術の開発
自動化、システム化等先端技術を利用した革新的生産技術の開発
環境保全に配慮し、生態系を活用した持続型生産管理技術体系の確立
地域特性を生かしたオリジナルな農畜産物の加工・流通技術の開発と販売手法の確立
中山間地域の資源を生かした地域活性化手法の開発
農村地域の多面的機能に配慮した農業農村基盤の整備、管理技術の開発
栽培・飼養、経営、販売等各種管理システムを取り入れた新しい「総合農業情報システム」の確立
など、本県の立地特性を生かしながら、新たな国際環境に対応し、持続的な展開が可能となる本県の農業を構築するため、時代を先取りした試験研究を進めることとしている。

平成14年度においては、農業の高度化、多様化するニーズに対応した試験研究の推進を始め、効果的・効率的な試験研究の実施を図るため、試験研究課題に係る評価制度を導入・実施した。また、大学等他研究機関との連携など「研究業務の効率的推進」、各種研修や資格取得等の「研究活動の活発化」、普及組織との連携強化や農業情報システムの効果的運営など「研究成果の迅速な提供・利用」、参観デーや広報活動など「試験研究に対する県民の理解増進」、海外研修員の受け入れや専門家派遣による「国際協力の推進」に努めてきた。

2 研究室の動き

(1) 企画経営情報部

企画情報室

平成14年度に導入した試験評価制度の運用にあたっての具体的な実施手法や評価方法に係る各種調整を行った。また、評価研究に係る各種企画調整(所内組織間連絡調整、関係機関連絡調整、試験研究課題調整等)及びセンターに関する広報及び情報システムの効果的な運営に努めた。

企画調整にあつては、所内諸会議(企画運営会議、全体会議等)や委員会(研究報告等企画編集委員会等)等の運営、関係機関(国、県及び関係団体)との連絡調整(推進会議等)を行った。

広報関係では、広報誌「トライアングル」の発刊、参観デー(本部・畜産・県北)、現地ふれあい農業研究センター(花巻、二戸地方振興局管内)、科学技術週間行事としての春季一般公開、一日子供農業研究員の開催及び「研究レポート」の発行等に取り組んだ。また、公開セミナーは「産官学連携について」(岩手大学地域共同研究センター助教授 小山 康氏)、「エコファーマー制度と県の取り組みについて」(県農業普及技術課技術副主幹兼生産環境係長 鈴木 敏雄氏)、「先進事例発表」(JAいわい東トマト部会長 小野寺 正幸氏、JAいわて中央営農販売部指導流通課 横沢 勤氏)、「粗飼料生産調整作業における新しい技術体系」(生物系特定産業技術研究機構主任研究員志藤 博克氏)により、本センター及び畜産研究所、県北農業研究所を会場に実施した。

また、農業研究センター発足後5カ年を経過したことから、発足後から現在までの歩みや、現在の試験研究の推進概要及び研究成果の普及状況等をまとめた「岩手県農業研究センター設立後の軌跡」を発刊した。

農業経営研究室

生産性の高い経営方式の確立方策、担い手の育成方策、中山間地域活性化、県産農産物の販売戦略及び開発技術の経営評価等に関する研究を実施している。

生産性の高い経営方式の確立方策では、黒毛和種放牧子牛に対する肥育農家のアンケート調査分析から、肥育農家の過半数は放牧経験を長所と評価し、今後も購入したいとしていることなどが明らかとなり、子牛放牧の促進につながる基礎資料を提示した。

担い手の育成方策では、野菜作を対象とした労力支援事業(無料職業紹介)に取り組んでいる県内8農協の聞き取り調査結果から、野菜農家の支援対策として事業活用上のメリットや課題を提示した。

中山間地域活性化に関する研究では、中山間地域に適する宿根草・花木の実需者ニーズに対応した生産販売の必要性を提示した。また、特産品づくりのキーポイントとしては、確実に売れる販路の開拓や実証・イメージづくりで商品情報を伝えるなどの販売対策を優先して実施することが重要であることを明らかにした。さらに、中山間地域等直接支払制度を活用している先進的な集落類型別の活動の特徴を明らかにした。

県産農産物の販売戦略に関する研究では、葉とらずリンゴの仕入れ(購入)に関する重要視点が仲卸業者、量販店仕入担当者、消費者の段階で異なることから、内部品質情報を細分化し、実需者別に提示すること、卸売市場に対しては「外観よりも内部品質保証」の情報を定着させる販売展開が肝要であることを提示した。また、開発技術の評価に関する研究では、水稻湛水直播栽培の労働配分と所得形成から評価した適正導入割合を提示した。

(2) 農産部

水田作研究室

当研究室では、水稻の品種選定、直播を中心とした省力・低コスト栽培技術確立、作柄解析、高品質・良食味米の安定生産技術、雑草防除に関する研究及び水稻原種・原々種の生産業務に取り組んでいる。

奨励品種決定調査では、「岩手 60 号」「岩手 63 号」「ふ系糯 196 号」「岩南糯 30 号」を継続検討とし、予備調査で有望と認められた「岩手 67 号」「岩手 68 号」「岩手 69 号」「岩南 28 号」「奥羽 381 号」を、平成 15 年から新たに本調査に供することとした。

平成 14 年は台風被害等気象変動が大きかったが、県産米は「ひとめぼれ」が 9 年連続で穀物検定協会の“特 A”評価を、オリジナル品種「いわてっこ」は前年に続き“A”の評価を得た。これら県産米の良質・安定生産技術確立のため、平成 14 年産米の作柄成立要因（作況指数 100、一等米比率全国 2 位）の解析、および 7 月の台風 6 号の大雨の冠水によって発生した葉枯現象を中心とした被害の解析を行った。産米の品質評価向上技術としては、新品種「もち美人」の栽培法をとりまとめるとともに「食味改善診断システム」については継続して検討した。また、より客観的な刈取時期の判定のため「初クロロフィル含量に着目した刈り取り適期診断技術の開発」に着手した。

雑草防除関係では、移植栽培用として 4 剤（初期剤 1 剤、初期一発剤 1 剤、初・中期一発剤 2 剤）、湛水直播栽培用として 4 剤（初期一発剤 2 剤、初・中期一発剤 2 剤）を県防除基準に採用した。また、水田雑草の最小限防除法については、湛水深の違いおよび代掻き時期の違いによる水田雑草の発生様相についてとりまとめた。

省力・低コスト技術として期待される直播栽培技術については、「代かき同時打ち込み点播機を用いた水稻湛水直播栽培法」として取りまとめた。また、水田農業確立の一環として WCS 用イネの生産技術について検討した。

水稻原々種は 7 品種(61 系統)320kg、原種はうち 4 品種 19,880kg、酒造好適米 2 品種 1,040kg、もち 2 品種 3,130kg を生産した。また、優良種子生産のため、発芽能力の検定法及び浸種条件（水温・浸種期間）について継続検討した。

水稻育種研究室

生産力検定試験において 44 組合せ 75 系統を供試し、33 組合せ 41 系統を選抜した。また、生産力検定と各種特性検定試験の結果から、岩手 70 号（極早生・良食味）、岩手 71 号（中生の早・穂いもち圃場抵抗性「やや強」・耐冷性「極強」・良食味）、岩手 72 号（晩生の中・耐倒伏性「やや強」・良質・良食味）の主食用 3 系統を有望と認め、地方番号を付し、平成 15 年度奨励品種決定調査のための新配布系統とした。

直播生産力検定試験で直播適性を有すると思われる 22 系統を検討し、岩 646（早生・多収・良質）、岩 653（中生・多収・良質）、岩手 68 号（中生・多収・良質）の 3 系統が有望と認められた。

新規需要及び新形質米の育成試験では、低アミロ - ス系統として Y187（中生・耐病性強）、Y190（晩生・多収）、Y191（中生・多収）の 3 系統を選抜、また、有色素米系統の岩紫 678（中生・紫黒米）を有望と評価して、次年度の生産力検定試験で継続検討する予定である。

育種技術の効率化に資する目的で平成 13～14 年に取り組んだ課題「分子マ - カ - を用いた岩手県水稻奨励品種の識別技術の確立」において、イネの葉を用いて、本県奨励品種 17 品種の全てについて識別が可能であることを明らかにし、研究成果として取りまとめた。

委託試験では、京都大学を中心に取り組まれている「圃場生産インタ - フェ - ス型シミュレ - タの開発」の課題の中で、多地点品種比較試験を分担し、供試 11 品種の寒冷地における生育特性データを収集した。

応用生物工学研究室

当研究室は、1．遺伝子組換え作物の特性調査、2．地域遺伝資源の利用、3．革新技術支援の 3 つを柱に研究を実施している。

1．遺伝子組換え作物の特性調査：生工研で育成した組換え水稻やリンゴを対象に、耐病性検定手法の確立や接種検定を実施している。水稻では閉鎖系温室内における検定対象病害であるいもち病の安定した誘発技術と、接種技術について検討中である。リンゴでは、耐病性遺伝子導入リンゴの耐病性検定において、品種による斑点落葉病の抵抗力の低下が明らかとなり、成果として取りまとめた。

2．地域遺伝資源の利用：主に増殖技術の開発を内容とするこの分野では、リンドウ F1 品種の採種用親株の増殖に関して、エゾリンドウの越冬芽を輪切りにした増殖技術を開発し、成果として取りまとめ、採種用親株のほぼ全系統での増殖が可能となった。今後はこれらの均一性について検討し、実用的な増殖システムを確立する。また、本県育成のスターチス「アイスター」シリーズの種苗増殖については、その増殖システムの低コスト化に向けた取り組みを実施中である。農業新技術現地実用化（21 世紀型）で取り組んでいるサトイモの産地強化試験では、北上市の地域特産作物である「二子芋」を材料にして、培養苗・培養苗由来の種芋を用いて慣行栽培との比較検討を行い、早掘りの可能性や芋の形状、収量性など培養法を利用した栽培特性について調査し、興味深い結果を得ている。

3. 革新技術支援：効率的な育種法を展開する上で、主要な形質に係る遺伝子の有無を早期に判別する技術は特に重要であり、水稲ではいもち病真性抵抗性遺伝子 *Pii* に連鎖する DNA マーカーを作出し、平成 11 年の *Pik* に続く成果として取りまとめた。また、DNA マーカーを利用した解析法を効率的に行う手法についても成果として取りまとめた。

生産工学研究室

水稲の省力軽労化研究として、「水耕ロングマット育苗・移植技術」について平成 11 年度から本年度まで地域基幹研究として(独)農業技術研究機構中央農業総合研究センターを中心に茨城・長野・埼玉の農業試験研究機関と共同で取り組んできた。育苗移植技術、軽労効果及び北上市などの農家の本田での実証試験等を実施し、これまでの研究を成果として取りまとめた。

省力低コスト研究の一つである「水稲直播研究」については、播種ロールに従来の播種穴 3 カ所に加え新たに 3 カ所を開けて改良することによって、播種量の確保と作業性向上効果が図られることについて成果として取りまとめた。

「ドレンレイヤー工法による暗渠排水技術」については、平成 12 年度から本年度まで検討してきた。本技術は疎水材設置と有孔管埋設を同時に行う工法であり、これまでの試験から、排水効果、コスト等について成果として取りまとめた。

「大豆不耕起播種」については、平成 11 年度から本年まで検討してきた。本年度は、利用可能な 3 タイプの播種機についてそれぞれの作業能率・ほ場適応性などの作業特性及び特徴等についてこれまでに得られたものを成果として取りまとめた。

「環境に配慮した農村整備手法の確立」では、県内 3 地区について水路施設・生物について現状を調査して問題点の抽出を行った。

「グランドカバープランツの動力吹付緑化工法の実証」では、植種の選定・工法の検討・法面への施工・施工後の調査を実施した。

(3) 園芸畑作部

果樹研究室

果樹研究室では、リンゴの栽培試験および品種改良を主体に、ブドウ、西洋ナシ、オウトウ、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。

リンゴでは、JM 台木を利用した省力的な低樹高化栽培による省力化、軽労化、低コスト化技術の開発を目標に、新技術地域実用化研究促進事業により「リンゴわい化栽培における省力・安定生産のための JM 台木利用・早期成園化技術の開発」試験を進めている。14 年度は JM 1 及び JM 7 台木の挿し木繁殖法および接ぎ木挿し法による苗木の短期生産の体系的技術を取りまとめた。また、地域基幹農業技術体系実用化研究「新素材新省力技術を基幹とした高品質・値頃感リンゴの生産技術」により、これまでの外観本位から、消費者が求める食味本位の果実生産に重点を置いた省力栽培技術の開発を目指した研究に取り組んだ。この課題は、着色管理を限りなく省力化した食味本位のリンゴ(葉取らずリンゴ、糖度保証リンゴ、蜜入りリンゴ、丸かじりリンゴ等)を安定的に生産し、栽培コストの低減を図るとともに、非破壊選果機を高度に利用した品質評価技術により、手頃な価格で消費者が満足する果実を提供する技術を確立し、需要の拡大を図ろうとするものであり、14 年度は食味本位の栽培に適した樹相診断基準、摘花・摘果剤利用による摘果作業の省力効果、摘果剤による着色管理の省力効果を明らかにした。

リンゴの品種改良では、「きおう」に続く岩手の地域特性を生かせる、早・中生種を主体とした交雑育種に取り組んでおり、本年度は「岩手 6 号」を奨励品種に採用し、品種登録申請を行うこととした。また、1 系統を有望系統として岩手番号を付した。

ブドウでは、短梢棚を活用した大粒種の栽培技術開発及びヤマブドウの結実促進技術の開発を進めている。また、品種開発では 5 系統を二次選抜に編入しているが、うち 2 系統に岩手番号を付した。

西洋ナシ、オウトウ、ブルーベリーについては、国内外の有望品種の本県への適応性と特性検定を主体に試験を実施している。

野菜畑作研究室

畑作物では、実需者ニーズに対応した高品質・安定生産技術及び超省力・低コスト生産技術体系の確立が求められており、優良品種選定・栽培法試験に加えて、地域基幹研究「不耕起・無中耕・無培土栽培を基幹とした大豆の超省力栽培技術の確立」、同じく「麦・大豆立毛間播種栽培技術の開発」等に取り組んだ。有望視した品種・系統としては、小麦「ゆきちから(東北 214 号)」、大麦「ファイバースノウ」、大豆「ユキホマレ」等であった。また、不耕起大豆については 4 年目を迎えて現地実証に重点を置いて雑草防除や圃場排水対策技術等の検証を行った。また、

小麦の冬期播種栽培技術の確立に向けて、高品質安定生産確保のための播種量・施肥法等に取り組んだ。

野菜では新規課題が多く、小課題レベルで「果菜類における低コスト・安定生産のための新露地栽培体系の確立」、「果菜類における新形質品種の特性評価と利用技術の確立」、「ネギの産地力強化のための低コスト・長期安定供給技術の確立」、「寒冷地における夏秋イチゴの低コスト生産・安定供給技術の確立」に着手した。また、最終年度を迎えた「地床利用によるトマトの点滴灌水同時施肥栽培技術の開発実証」等の継続課題に引き続き取り組んだ。

本年度の試験研究成果としてはいずれも「普及」区分で、製パン適性が高く耐病性に優れる小麦「ゆきちから」、精麦品質が優れ早生・良質の大麦「ファイバースノウ」、雨よけトマトの点滴灌水施肥栽培における施肥量低減、の合計3つをとりまとめた。

花き研究室

花き研究室では、国際化や消費動向の変化に対応できる寒冷地型省力的花きの生産技術を確立するため、重点品目を中心としたオリジナル品種の育成を図るとともに、気象条件を活用した新商材の開発や長期継続出荷できる生産技術の確立に取り組んでいる。

品種開発では、りんどうの極々早生品種や新しい花色・花姿の品種を育成すること、スプレータイプの小ぎく「アイマム」シリーズの花色・開花期の幅を広げること、スターチス「アイスター」の花色の幅を広げること、ゆりの小輪系品種等を育成すること、を目的に選抜を行った。本年度は、小ぎくの「アイマム」シリーズとして、「レモンイエロー」、「オータムホワイト」、「パープルレッド」、「アーリーホワイト」の4品種を育成し、県の奨励品種とした。

新商材開発では、枝物花木について品目選定と栽培特性の解明、効率的増殖法と育苗技術の確立、栽植方式や整枝・仕立て法の確立、等を進めるとともに、「いわて乙女」の安定生産技術の確立等に取り組んだ。

長期継続出荷技術については、小ぎくの作期拡大や鉢物りんどうの開花調節等に取り組んだほか、宮古地域において、沿岸の気象条件を活用し施設を利用した花き周年生産モデル経営の確立実証に取り組んだ。

南部園芸研究室

現在地（標高15mの平坦地）には場を移転して試験を開始してから、平成14年度は2年度目となった。県南部や沿岸地域の気象条件を活かした野菜花き園芸技術の開発研究とともに、特色ある園芸産地形成のための地域実証試験を実施している。

花きに関する試験では、アレンジメントアスターの隔離床による栽培法について検討を行った。また、アネモネの年内穫り作型における高品質栽培のためは種・定植時期の検討を行った。さらに、太陽光発電を利用し、ヒートポンプによる花きの作期拡大や品質向上の試験では、年内収量が慣行栽培より株当たり1本程度増収した。秋出荷花壇苗高品質低コスト生産技術では、パンジーに対するわい化剤の使用効果について検討を行った。

野菜に関する試験では、イチゴの短日処理による秋出し促成作型の確立のための適品種の検討、寒冷地における夏秋イチゴの生産安定技術確立のための種子系イチゴ品種特性を検討、イチゴ低温カット栽培における高設栽培技術の確立のための省力的な施肥法について検討を行っている。また、高規格ガラスを利用したトマトの養液栽培による周年栽培の実証を行っている。省力化・高品質栽培技術の確立のための少量土壌培地耕によるイチゴのベンチアップ栽培やトマト栽培について検討を行っている。なお、本年度はイチゴの高設栽培において、生産の安定には培地量株当たり2リットル程度確保する必要があり、また、促成栽培品種の適正な株間は、品種「女峰」・「さちのか」とも18~20cmであることを明らかにした。（試験研究成果（指導））

(4) 生産環境部

環境保全研究室

環境保全型農業技術の総合組立および環境負荷軽減・環境保全機能維持に関する試験研究に取り組んだ。

水稲の環境保全型農業技術の総合組立に関しては、温湯浸漬法による種子消毒、プール育苗、ケイ酸資材投入（本田期）等による減農薬栽培技術の総合組立試験を行い、温湯浸漬法が本県品種に対しても適用性のあることを明らかにした（試験研究成果（指導））。また、特別栽培農産物認証制度改正に対応し、水稲栽培における農薬成分、化学肥料投入量について客観性のある慣行レベルを策定、提案した（研究成果（行政））。

野菜関係では、キャベツにおける無農薬・無化学肥料栽培試験において、作期の利用（早春播き栽培）および防虫ネットの利用（春～夏播き栽培）により、特にコナガ防除を重点とした無農薬栽培ができる目途がついた。また、有機農産物の生産条件の解明において、トマト、ピーマンについて土壌条件、生産物の栄養成分（ビタミンC含量）等について昨年度に引き続き調査した。

環境負荷軽減に関しては、農業・食生活分野の窒素フローを作成し、県内循環分のうち未利用窒素が59%であることなどを推定した（研究成果（行政））。また、育苗センター等の水稲種子消毒廃液は専用装置で処理後、残液を

土壤に処理することが適切な方法であることを示した（試験研究成果（指導））。

環境保全機能維持に関しては、育苗箱施用剤のトンボ幼虫羽化率に及ぼす影響を明らかにするとともに、管理の異なる水田や用・排水路に生息する水生生物の種類等を調査した。

以上に加えて、昨年度までの調査結果を取りまとめ、水稻の標準的病害虫雑草防除体系における本県産米の農薬残留は、基準値の3分の1以下で安全性が確保されていることを示した（研究成果（行政））。

土壤作物栄養研究室

土壤作物栄養研究室の重要事項として、第1に畜産県岩手で大量に発生する家畜糞尿の循環利用促進がある。昨年に引き続き普及センターの収集した堆肥のデータベース作成に取り組んだ。近年のたい肥の成分について県全体の畜種別平均を従来のものと比較した。また従来の土づくり中心の使用法から、一步踏み込んで化学肥料代替を狙った使用法に拡大するための現地適用試験を行った。オガクズ牛きゅう肥はこれまでの連用効果を取りまとめ、硝酸溶脱抑制にも有効であることが明らかとなった。

第2に持続的生産技術確立があり、持続的生産を目的とした施肥法を引き続き検討した。昨年度狂牛病騒動で使用不可能になった水稻有機質肥料は、鶏糞を中心とした県内産の安全有機物に変えて検討し、従来と同等の効果が得られたため、普及に移した。野菜ではキャベツの肥効調節型肥料での減肥、トマトで点滴灌水施肥栽培における施肥量低減等を成果とした。

第3にこれら有機循環や持続農業を支える重要事項として、土壤診断、栄養診断を引き続き検討し、土壤可給態窒素のSDS簡易測定法、りんご樹体の栄養状態を知るための画像解析法を成果とした。現場での解析としては平成14年7月の台風6号による水稻冠水被害の解析として冠水被害地域に流入した土壤の土壤調査を実施し、次年度の施肥窒素低減を指導に移した。

保鮮流通技術研究室

推進構想に定める試験研究の基本方向の5「地域特性を生かしたオリジナルな農畜産物の加工・流通技術の開発と販売手法の確立」を進めるため、食の安全性向上に対応した県産農産物の品質評価技術、新鮮な県産農産物の流通中の鮮度保持貯蔵技術の研究、アグリビジネス創出・地産地消運動に対応した地域特産加工品の開発試験の3つの今日的な課題について、解決に必要なひとつひとつの技術や手法の開発に取り組んだ。

品質評価技術の確立については、県産青果物の品質、おいしさを向上させるための技術確立をねらいとしており、雨よけハウレンソウのRQフレックスを用いた簡易な硝酸分析、基肥の削減による硝酸濃度の低減効果、日本一の雑穀の抗酸化性やミネラル成分と精白・炊飯の関係を取りまとめた。また、寒締めハウレンソウやその他の葉菜類のおいしさ、栄養の指標としてビタミンC及び糖含量を簡易に分析できる評価法などを検討中である。

鮮度保持貯蔵技術については、MA包装資材を用いた良食味だまめの品種の食味保持効果、雪国岩手の雪水を利用した簡易高湿予冷庫、出荷時刻の変更に伴うトマト一晚予冷出荷の実証結果を取りまとめた。また、蜜入りりんごの出荷期間延長をねらいとする冷温高湿貯蔵技術、ラ・フランスの追熟技術、通いコンテナ利用における鮮度保持などを検討中である。

地域特産加工品開発では、生産が増加している大豆の二段階膨化法による加工技術を取りまとめた。また、雑穀の特徴を活かした加工品開発、県オリジナルモチ米品種の餅硬化を抑制する加工技術、ハトムギを活用した新加工技術、沿岸部の柿加工品への脱渋加工技術の応用などを検討中である。

岩手ならではの特徴ある農産物加工品の製造技術のアドバイスや、農村婦人を中心とした地場産品の開発支援にも力を入れている。

(5) 病害虫部

病理昆虫研究室

病害虫制御技術開発を支援するための病害虫発生生態の解明、生態系を活用した病害虫制御技術の開発に取り組んだ。

病害虫発生生態の解明として、水稻害虫では斑点米の原因となるアカスジカスミカメの発生生態解明と防除技術組み立て、イネドロオイムシ等初期害虫の隔年防除技術の確立に向け試験に取り組んでいる。果樹病害ではりんご褐斑病の重点防除時期を明らかにし定期散布剤選択による効率的防除法を示し普及に移す成果とした。また、りんご苗木に発生した根頭がんしゅ病の多発要因を解析し、本病の発生を低減できる苗木生産法を示した。花きの病害虫では育苗中のりんどう苗を食害するクロバネキノコバエ類の防除に効果の高い剤を見出し、その使用法を示した。また、りんどうに輪紋状の葉枯れ症状をひきおこす原因の一つとしてリンドウ黒斑病があることを確認した。野菜病害ではキュウリべと病、キュウリうどんこ病について発病増加を抑制できる殺菌剤の使用法を示し、トマト青枯病が芽かき等の作業によって汁液で隣接株に伝染することを確認し、被害の拡大回避法を示した。

生態系を活用した病害虫制御技術として天敵・微生物等自然生態系の活用、省力・低コスト病害虫防除技術、病害虫総合管理技術について検討した。これらの中から、新農薬による各種作物の病害虫防除、生物農薬「シュードモナスC A B - 02 水和剤」によるイネ育苗期の細菌病防除法、水稻種子の大量消毒に適用できるイブコナゾール水和剤による消毒効果を明らかにし普及に移す成果とした。また、施設栽培ピーマンにおける天敵タイリクヒメハナカメムシの放飼開始時期、レタス腐敗病に対する数種薬剤の防除効果を明らかにしたほか、露地きゅうり栽培では病害の総合防除の観点から、従来の基本技術の組み合わせと適切な農薬の選択により主要病害の発生抑制と省力・低コスト化が可能であることを明らかにし、いずれも試験研究成果として公表した。

なお、りんどう産地で数年来発生が目立っているりんどうこぶ症の原因解明について栽培部門、土壌肥料部門と共同で本年度から試験に着手した。

(6) 畜産研究所

家畜育種研究室

本県の気候・風土に適し、高品質・低コスト生産が可能となる優良種畜の作出（造成）や肥育技術の向上のための技術確立に取り組んでいる。

日本短角種の優良種雄牛の作出について、直接検定 21 頭を実施し、1 日当たり平均増体量（D G）は 1.25kg（選抜牛 1.28kg）であり、10 頭選抜（選抜率 47.6%）した。間接検定は「琴星」「敏高」「勝富」「松隆」「若萩」「松秋」「辰錦」の 7 種雄牛について実施し、「勝富」の肉質が優れ人工授精用基幹種雄牛として選抜した。

また、日本短角種の産肉能力の向上を図るため、岩手県内産子の枝肉データ、血統を分析し、遺伝的パラメータ及び雄牛と雌牛の産肉性に係る育種価を算出し各地域に提供した。

黒毛和種肥育技術として、遺伝的に同一な一卵性双子等を用いて去勢牛の若齢肥育における適正なビタミン A 給与技術の確立に取り組み、肥育中期にビタミン A を血中濃度 30～50IU/dl にコントロールすることにより、発育は低下するものの肉質が向上することを明らかにした。

平成 13 年 7 月に（社）日本種豚登録協会から系統認定を受け、肢蹄強健で全国トップクラスの発育能力を有する「イワテハヤチネ L2」を利用した F 1 母豚及び三元交雑種の組み合わせ検定を実施し、優れた繁殖能力及び産肉性を確認した。

岩手県在来の天然記念物「岩手地鶏」を活用し、本県独自のオリジナル高品質肉用鶏を作出するため、平成 8 年度から軍鶏×（有色コーニッシュ×岩手地鶏（赤笹））交配鶏の選抜淘汰を繰り返し、発育能力の高い基礎鶏を作出した。本年度は、この基礎鶏に最も適した交配法を決定するための組み合わせ試験を実施した。

家畜飼養研究室

自然環境への配慮と飼料自給率向上を基本とした生産性の高いゆとりある酪農経営を構築するため、超省力管理技術及び資源循環型酪農の飼養管理技術の確立に取り組んでいる。

搾乳牛（泌乳中期牛・後期牛）の時間制限集約放牧では、併給飼料の調整により安定した乳量・乳成分を確保するとともに、乾乳前期牛の集約放牧は、周産期病（ケトosis、第四胃変位等）の発生予防に効果のあることを実証した。

育成牛の集約放牧では、概ね 7～14 ヶ月齢までの期間ペレニアルライグラス草地において集約放牧したところ群平均（乳用雌 7 頭）の通算 D G は 1.00kg と良好な発育が得られ、初回授精の目安とされる体重 350kg、体高 125cm へはそれぞれ 12.2 ヶ月齢及び 11.3 ヶ月齢で到達し、標準発育値より早まることを確認した。

高泌乳・高蛋白牛群飼養管理技術では、ET 技術により高能力牛の造成を進めるとともに、高能力牛として育成された牛については、現在その能力を検定中である。また、高能力牛としての遺伝的能力を充分発揮させるため、アミノ酸バランスを考慮した飼料給与として、メチオニン製剤添加 TMR 飼料給与を行ったところ無脂乳固形分率の増加が認められた。

機械搾乳（ロボット、パーラー搾乳）が乳腺細胞に及ぼす影響については、ロボット搾乳牛ではミルクホース内の牛乳が一定時間通過しないと分房単位ごとに自動離脱するため、500ml 以上の残乳を示す分房も 30%認められ、乳腺の損傷度合の指標とされる酵素活性値（NAGase）の異常を示す個体も少なかった。一方、パーラー搾乳牛は分房一括自動離脱方式であり前者に比較しやや異常分房が多く見られ乳腺の損傷が示唆された。なお、乳房炎発生との関連については他の検査項目等を加味しながら検討を進める。

家畜工学研究室

家畜バイオテクノロジーの利用のため胚移植、核移植、DNA 解析等の基礎および応用化研究に取り組んだ。胚移植では全国的に課題となっているダイレクト移植による受胎率向上のための基礎試験を実施した。その結果、糖を添加した 1.8M エチレングリコールは生存率が有意に高い培養成績を得た。

体細胞クローン技術研究では、高率に発生する異常産の原因究明のため染色体検査を実施したところ再構築胚に倍数性の異常が半数に見られ、異常産との関連が示唆された。また、高育種価産子の頸側皮下から採取した線維芽細胞をドナー核として作出した再構築胚の移植により取得した産子が肥育試験に入った。このドナー牛は間接検定息牛確保のため農家牛に交配を開始し、息牛とクローン牛との産肉比較を計画している。

遺伝子解析ではトレーサビリティシステムを科学的に証明するため、親子判定で用いられているマイクロサテライトマーカーにより個体識別を試みた。サンプリングは生産地、処理場で行われるため DNA 量の確保、コンタミ防止の観点から血液もしくは筋肉、脂肪組織が最良となる。DNA 量のコンタミは 20%以下では検出できない等を明らかにした。一方、既に報告した DM 牛の原因遺伝子をホモ、ヘテロで保因するそれぞれのグループの産肉成績は、対照牛より勝ることが判明し、一連の研究成果は東北畜産学会長から学術的評価を得た。

さらに肥育牛に発生する尿石症の新たな治療方法を見いだした。この方法は陰囊前方切開による外科的方法であるが、術野と結石の栓塞する尿道 S 字部を容易に確保し結石排出ができる。よって患畜のストレス軽減や術技の簡易化、再発時の再処置、肥育期間の延長等を可能とし、生産者は尿石症による経済的損失を最小限にとどめることができる。

飼料生産研究室

本県の畜産を安定的に推進するため、良質粗飼料の効率的な生産と圃場還元を目的とした家畜糞尿処理技術の開発のために試験に取り組んでいる。

とうもろこしの品種選定：国・公立機関で育成された系統のうち北海道農業研究センター育成系統 1 系統、畜産草地研究所育成系統 3 系統、長野県中信農業試験場育成系統 2 系統、計 6 系統について検討した結果、乾物収量では標準品種同等程度であったが総じて黒穂病に弱い傾向にあった。市販とうもろこし品種では早生種の「36B08(パイオニア 106 日)」と中生種の「33J24 (パイオニア 112 日)」が、耐病性、乾物収量、TDN 収量とも標準品種に比較し優れていることが明らかにされ推奨品種候補として提案した。

ソルガム市販品種の特性比較(2年目)：ソルガム市販品種 12 品種について生育特性を検討した結果、中生品種までは9月中旬～上旬に収穫が可能で、そのうち「ゴールドソルゴー」の収量性が優れていた。平成 15 年度引き続き調査を実施することとしている。

細断型ロールペーラーの基本性能調査(1年目)：新開発の細断型ロールペーラーの作業能率は、故障による試験中断時間を除いて 21.6a/hr であった。ネットの繰り出し不良、チャンバの開閉不具合による梱包不良が見られ改良を要すると思われた。従来作業体系(ハーベスター)との比較では、細断型体系では実作業時間が従来体系に対し 1.5 倍かかったが、延べ労働時間では作業員数が 3 名と従来体系の半分であることから 20 時間 24 分 / ha と約 1/2 に時間短縮された。平成 15 年度では調製されたロールペールサイレージの給与方式、保存性を中心に検討する。

ロックウール(以下 RW)脱臭装置の排水を再利用する循環方式の検討を行い、排水循環運転により脱臭性能を低下させずに排水の外部流出を防ぐことができること、またこの運転条件下における RW 排液が尿素肥料と同程度の肥料効果が期待できるものであることを明らかにした。これらのことから脱臭排水の液肥利用を併用することにより RW 脱臭装置における排水循環運転が長期的にかつ安定的に可能となると考えられた。

外山畜産研究室

中山間地域に位置する本研究室では立地特性である豊富な草資源を活用した、放牧飼養形態を取り入れた肉用牛の試験研究に取り組んでいる。

黒毛和種放牧子牛が舎飼子牛と同等以上の発育が確保できるように、牛、草及び施設面から検討している。放牧子牛の発育に及ぼす要因として、入牧時期、入牧時体重、放牧日数、が有意に影響することを明らかにした。子牛用補助飼料の嗜好性と補助飼料への馴致作業省力化の関連について検討した。放牧地の牧草生産性平準化技術では、初夏施肥とクサボウシ(PR)、フレンド(PR)、ホクシュウ(TY)による草種の組み合わせについて検討した。泥濘化改善資材としてカキ殻を利用することにより、改善効果が得られることを明らかにしたが、引き続き被覆資材についての耐久性、及び経済性について調査した。さらに、遠野市貞任牧場で子牛の発育向上及び牧草生産性平準化についての現地実証試験を実施した。

また、草地、林地の環境保全機能として、肉用牛放牧地における水土保全機能の解明について、牧草地内を貫流する溪流と林内溪流地の流水変動を流量から比較検討した。

種山畜産研究室

本県の黒毛和種改良事業「いわて和牛改良増殖対策事業」の一環として、県内産黒毛和種種雄牛候補 22 頭を選抜するとともに畜産研究所生産の受精卵雄産子 3 頭計 25 頭の直接検定を実施し年度内に 10 頭終了、残り 15 頭については平成 15 年 6 月までに終了する。全頭終了後検定成績、血統、体型、母牛の育種価等総合的に検討し後代検定用種雄牛として 6 頭を選抜する。

平成 10 年度の直接検定により選抜された「菊重福」「勝栄光」「第 3 原茂」「菊安舞鶴」「菊白木恒」「菊福幸」の 6 種雄牛について間接検定を実施し下記の成績が得られた。

ア．1 日当たり増体量(kg)

第 3 原茂(1.03) > 菊安舞鶴(1.02) > 第 3 原茂(1.01) > 菊重福(0.98) > 菊重福(0.97) > 菊白木恒(0.89)

イ．ロース芯面積(cm²)

菊重福(54) > 菊安舞鶴(52) > 菊福幸(50) > 第 3 原茂(46) > 勝栄光(45) > 菊白木恒(40)

ウ．脂肪交雑(BMS)

菊安舞鶴(3.6) > 第 3 原茂(3.1) > 菊重福(3.0) > 勝栄光(2.8) > 菊白木恒(2.5) > 菊福幸(2.3)

平成 14 年度間接検定が終了した種雄牛のうち、「菊重福」「第 3 原茂」が脂肪交雑および 1 日当り増体量の成績が全国平均を上回ったことから、県有種雄牛に選抜され凍結精液の供給を開始した。

「菊安舞鶴」については脂肪交雑(BMS)成績が全国平均を大きく上回る成績であったが、産子に乳頭欠損等が見られ、現在その原因を調査中であり当該牛は待機種雄牛とし、凍結精液の供給は休止している。

平成 13 年度開始した「現場後代検定」実施候補種雄牛 3 頭については、平成 15 年 1 月までに肥育が終了し、その枝肉格付成績から肉質等級 4・5 率が 78.9%と優秀な成績であった「金菊徳」が県有種雄牛に選抜され凍結精液の供給を開始した。

(7) 県北農業研究所

営農技術研究室

県北地域の特色を生かした環境保全型農業技術の開発、野菜等の省力機械化技術の確立に関する試験研究に取り組んだ。

環境保全型農業技術に関しては、病害虫制御技術の分野では平成 10 年度から取り組んできた「東北北部中山間畑作地帯におけるキャベツの環境保全型栽培技術の確立(地域基幹)」が最終年度にあたり、「交信攪乱剤利用によるキャベツのコナガ防除」(試験研究成果 普及)や「菌密度 発病度曲線を利用したキャベツ根こぶ病防除要否の判定法」(試験研究成果 研究)を提案するとともに、5 年間の成果をとりまとめたパンフレットを作成した。化学肥料低減技術の分野では、施肥窒素量の削減が可能とされる「肥効調節型肥料を用いたキャベツの全量基肥畦内局所施肥技術」(試験研究成果 研究)の実用性を明らかにした。また、土壌改良資材や稲わら腐熟促進資材を含む肥効調節型肥料の水稻への一発施肥技術について検討した。畜産由来有機物活用の分野では、奥中山地域における液状コンポスト調製利用システムの確立試験に着手した。16 年度までに液状コンポストの草地や飼料作物への利用技術の確立を目指す。また平成 10 年度から場内の水田及び畑ほ場において実施してきた有機物施用基準設定調査は本年度で完了し、有機物連用による地力の変化と要因を解析するとともに、組み替え新規として、次年度から化学肥料代替利用に視点を置いた連用試験を開始することとした。

省力機械化技術に関しては、「ひえの乾燥・調製技術」(試験研究成果 普及)を全国で初めて確立し、精白歩留まりを向上させるとともに機械化一貫体系による産地での大量処理を可能とした。また、ほうれんそうの調製機と生研機構等と新たに共同開発した計量機付き包装機を組み合わせた体系利用について検討し、「ほうれんそう計量・包装機の作業特性と省力効果」(試験研究成果 普及)として提案した。ほうれんそうでは機械収穫が残された課題となったが、今年度から産地育成研究室と共同で「機械収穫に適したほうれんそうの形態・形質の解明」に着手した。

産地育成研究室

県北地域における野菜、花きの地域適応性技術の確立及び開発技術の現地実証に関する研究を実施している。

野菜では、優良品種選定試験としてキャベツ・ほうれんそう・だいこんの 3 品目について実施し、平成 14 年度はほうれんそう 1 品種を「推奨品種」として普及に移した。

県北地域の主要野菜品目である雨よけほうれんそうについては、大型経営体育成のための技術開発として、夏期高温時の遮光技術やかん水方法及び効率的な栽植様式について、普及センター設置のリーディングファームと連携し、検討した。また、カラシナ鋤込みによる萎ちょう病軽減技術や機械収穫に適した品種選定について、新規課題として新たに取り組みを開始した。さらに、県北地域に自生する山菜ウルイについて、促成用母株養成技術や無加

温被覆による半促成栽培技術の確立に取り組んだ。

花きでは、地域基幹研究「中山間地域における産地マーケティングに基づく特産的高付加価値農産物の生産技術」において、中山間地域に適した宿根草・花木の品目組み合わせによる長期継続出荷体系について現地実証（二戸市上斗米）を行った。また、21世紀型農業経営モデル実証試験（一戸町小友）では、秋だしパンジーを中心とした花壇苗の周年生産技術やガーデニング用素材の検討を行った。さらに、グランドカバープランツについては、挿し木による簡易増殖技術、法面保護と景観形成のための種子散播による低コスト法面被覆方法について検討した。

やませ利用研究室

県北地域を対象とした水稲、普通作物（小麦、大豆等）雑穀類の栽培法や品種の選定及び葉たばこの環境保全型栽培技術に関する研究を実施している。

水稲では、12年度に県奨励品種に採用し13年度に栽培法を研究成果とした、県オリジナル新品種「いわてっこ」について、食味向上を主眼においた栽植密度、施肥法、地域別の栽培試験を実施し、技術確立にむけたデータ収集・解析を行った。

小麦、大豆等の普通畑作物では、県北地域に適応する多収・良食味品種の選抜・育成を目標に、国や北海道立農試で育成した系統を導入しての試験を実施し、小麦の製パン特性が優れる「ゆきちから（東北214号）」が有望であることを確認し、奨励品種に採用した。雑穀類では優良系統選抜のため在来種を中心に75系統比較栽培し、その中からヒエの低アミロース系統を見いだし東北の研究成果情報に提出した。

一方、葉たばこに関連する調査研究では、緊急な課題となっている廃プラ処理対策の一つとして、生分解性マルチ新資材の検討を継続し、資材別の特徴を明らかにしたほか、鍬込みなど後処理技術について予備試験を実施した。

3 平成 14 年度試験研究課題

(1) 細目課題分類

推進構想分野 担当部署	総課題数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	R	S	T	U	V	W	X	
		水稲	畑作物	果樹	野菜	花き	酪農	肉畜	草地飼料	作物バイオテック	家畜バイオテック	環境保全	土壌作物	病害虫	農業農村	生産システム	農村整備	地域活性化	やませ利用	生物機能	有機農業	保鮮流通	農産物加工	情報利用	
企画経営情報部	20	1	3	3	1		1	1							1	7			1					1	
農業経営研究室	20	1	3	3	1		1	1							1	7			1					1	
農産部	99	68								14							9	8							
水田作研究室	29	28														1									
水稲育種研究室	39	39																							
応用生物工学研究室	14									14															
生産工学研究室	17	1															8	8							
園芸畑作物部	122		22	43	28	27							2												
果樹研究室	43			43																					
野菜畑作研究室	38		22		16																				
花き研究室	23					23																			
南部園芸研究室	18				12	4							2												
生産環境部	64	1			4	1						8	26			2						6	8	7	1
環境保全研究室	17				1							7	2									6			1
土壌作物栄養研究室	29	1				1						1	24			2									
保鮮流通技術研究室	18				3																		8	7	
病害虫部	23					1								18							4				
病理昆虫研究室	23					1								18							4				
畜産研究所	43	1					7	17	10		5	3													
家畜育種研究室	10							9				1													
家畜飼養研究室	6						6																		
家畜工学研究室	5										5														
飼料生産研究室	13	1				1			9				2												
外山畜産研究室	5							4	1																
種山畜産研究室	4							4																	
県北農業研究所	76	9	16		6	6						5	9	9		5			10					1	
営農技術研究室	33		2									4	9	9		3			5					1	
産地育成研究室	16				6	6										1			3						
やませ利用研究室	27	9	14									1				1			2						
総計	447	80	41	46	39	35	8	18	10	14	5	16	37	28	7	16	8	1	10	4	6	8	7	3	

(2) 試験研究課題一覧

凡例

小課題 No : 小課題の連番、課題毎の固有番号は課題名の先頭に () 表記
 研究分野 : 推進構想の研究分野
 推進構想 : 推進構想分野の中課題コード (小課題分のみ記載)
 研究課題名 : 小課題は太字表示、細目課題は 1000 番代表記、細目 1~4 まで各桁毎の表記
 課題名の末尾 () に実施年度を表記
 担当研究室 : 小課題は主査研究室、細目課題は主担当研究室 (分担研究室名は本一覧では未掲載)
 予算 : 国庫研究; 国庫補助研究、国庫委託: 国庫委託事業、民間委託; 民間委託事業、
 令達; 令達予算研究、県単研究; 県単研究予算、県単採種; 主要農作物採種管理費
 実施区分 : 新; 新規課題、継; 継続課題、終; 終了課題、繰上; 繰上終了 未: 未着手
 実施 No : 予算配分されている実施課題の連番

小課題No	研究分野	推進構想	研究課題名 (課題構成)	担当研究室	実施区分	予算区分	実施No
1	水稲	A-1-1-2	(736)分子マーカーを用いた岩手県水稲奨励品種の識別技術の確立(H13~H14)	水稲育種	終	令達	1
2	水稲	A-1-1-2	(737)分子マーカーを用いた選抜技術の検討(H13~H17)	水稲育種	継	令達	2
3	水稲	A-1-2-1	(5)水稲新規需要等対応品種の育成(H1~H22) (1000)水稲新規需要等対応品種組み合わせ親の特性調査(H1~H22)	水稲育種 水稲育種	継 継	- 令達	3
4	水稲	A-1-2-1	(18)水稲品種特性調査(H7~H22) (1000)東北地域の水稲奨励品種比較試験(H7~H22) (2000)水稲品種保存用品種・系統の展示及び交配母本の養成(S59~H22) (3000)イネ・ゲノムシミュレータの開発(H13~H15)	水稲育種 水稲育種 水稲育種	継 継 継	- 令達 令達	4 5
5	水稲	A-1-2-2	(6)水稲高度耐冷性集積系統の育成(H2~H22)	水稲育種	継	令達	7
6	水稲	A-1-2-2	(7)水稲高度耐病性集積系統の育成(H2~H22)	水稲育種	継	令達	8
7	水稲	A-2-1-0	(19)水稲品種育成交配試験(S59~H22) (1000)水稲交配試験(S59~H22) (2000)水稲初期世代養成試験(S59~H22) (3000)水稲世代促進試験(S59~H22) (4000)水稲個体選抜試験(S62~H22) (5000)水稲単独系統選抜試験(S58~H22)	水稲育種 水稲育種 水稲育種 水稲育種 水稲育種	継 継 継 継 継	- 令達 令達 令達 令達	9 10 11 12 13
8	水稲	A-2-1-1	(20)稲いもち病抵抗性極強品種・系統の育成(H1~H22) (1000)いもち病真性抵抗性遺伝子型の推定(H1~H22) (2000)葉いもち圃場抵抗性検定調査(S48~H22) (3000)穂いもち圃場抵抗性検定調査(S62~H22)	水稲育種 水稲育種 水稲育種	継 継 継	- 令達 令達	14 15 16
9	水稲	A-2-1-5	(15)水稲生産力検定試験(S58~H22) (1000)生産力検定予備調査(S58~H22) (2000)生産力検定予備試験系統群(S58~H22) (3000)生産力検定本試験(S58~H22) (3100)早生品種(H9~H22) (4000)生産力検定本試験系統群(S58~H22)	水稲育種 水稲育種 水稲育種 水稲育種 水稲育種	継 継 継 継 継	- 令達 令達 令達 令達	17 18 19 20 21
10	水稲	A-2-1-5	(16)水稲系統適応性検定試験(S39~H22) (1000)水稲系統適応性検定試験(国公立育成成分)(S39~H22)	水稲育種 水稲育種	継 継	- 国庫委託	22
11	水稲	A-2-1-5	(21)極良食味水稲品種・系統の育成(S60~H22) (1000)食味官能調査(S60~H22) (2000)食味成分調査(H2~H22) (3000)炊飯米外部構造調査(H13~H22)	水稲育種 水稲育種 水稲育種	継 継 継	- 令達 令達	23 24 25
12	水稲	A-2-2-1	(22)高度耐冷性水稲品種・系統の育成(H2~H22) (1000)高度耐冷性を有する系統の探索(H2~H22) (2000)障害型耐冷性検定調査(S59~H22)	水稲育種 水稲育種 水稲育種	継 継 継	- 令達 令達	26 27
13	水稲	A-2-2-1	(23)不良環境地帯向け水稲品種の育成(現地試験)(S59~H22)	水稲育種	継	令達	28
14	水稲	A-2-2-1	(24)育成地間相互交換水稲系統適応性検定試験(S52~H22) (1000)中・晩生水稲系統(S52~H22) (2000)早生水稲系統(H9~H22)	水稲育種 水稲育種 水稲育種	継 継 継	- 令達 令達	29 30
15	水稲	A-2-2-2	(25)低温登熟性に優れる水稲品種・系統の育成(H2~H22)	水稲育種	継	令達	31
16	水稲	A-2-2-3	(26)難穂発芽性水稲品種・系統の育成(S62~H22) (1000)穂発芽性検定調査(S62~H22)	水稲育種 水稲育種	継 継	- 令達	32
17	水稲	A-2-3-0	(27)直播適応性水稲品種・系統の育成(H13~H22) (1000)直播関連適性検定法の検討(H13~H22) (2000)直播生産力検定試験(H3~H22)	水稲育種 水稲育種 水稲育種	継 継 継	- 令達 令達	33 34
18	水稲	A-2-4-1	(28)超多収水稲品種・系統の育成(H2~H22) (1000)育成系統の施肥反応試験(H2~H22)	水稲育種 水稲育種	継 継	- 令達	35
19	水稲	A-2-4-2	(29)醸造用水稲品種・系統の育成(S63~H22)	水稲育種	継	令達	36

小課題No	研究分野	推進構想	研究課題名(課題構成)	担当研究室	実施区分	予算区分	実施No
36	水稲	A-4-2-2	(802)籾の加水率に着目した水稲の刈取り適期診断技術の開発(H14~H16)	水田作	新	県単研究	74
37	水稲	A-5-3-2 H-2-2-2	(740)寒冷地北部における飼料イネ生産給与体系の確立(H13~H15) (1000)省力・低コスト生産技術体系の実証(H13~H15) (2000)ミニマム防除体系の確立(H13~H14) (3000)良質イネホールクroppサイレージ調整技術の確立(H13~H15)	水田作 水田作 飼料生産 飼料生産	継 継 終 継	- 国庫委託 - 国庫委託	75 76
38	水稲	A-6-0-0	(61)水稲原々種生産(S29~H22)	水田作	継	県単採種	77
39	水稲	A-6-0-0	(62)水稲原種生産(S29~H22) (2200)県北地域(H14~H18) (3000)水稲作柄成立要因の解析(H14~H18)	水田作 やませ利用 水田作	継 新 新	県単採種 県単研究 県単研究	78 79 80
40	畑作物	B-1-1-1	(875)大豆の奨励品種決定調査(H14~H18) (1000)基本調査(H14~H18) (2000)現地調査(H14~H18) (3000)県北地域(H14~H18)	野菜畑作 野菜畑作 野菜畑作 やませ利用	新 新 新 新	- 県単採種 県単採種 県単採種	81 82 83
41	畑作物	B-1-1-1	(876)大豆系統適応性検定試験(H14~H18 H14)	やませ利用	繰繰上 ・新	国庫委託	84
42	畑作物	B-1-1-1	(888)麦類の奨励品種決定調査(H14~H18) (1000)県南・県央地域(H14~H18) (2000)県北地域(H14~H18)	野菜畑作 野菜畑作 やませ利用	新 新 新	- 県単採種 県単採種	85 86
43	畑作物	B-1-1-2	(82)普通作物等の多収良質品種の育成(H13~H16) (3000)そば優良系統の選抜(H13~H16)	やませ利用 やませ利用	継 継	- 県単研究	87
44	畑作物	B-1-1-2 Q-1-1-2	(84)ハトムギ優良品種の選定(H11~H15)	野菜畑作	継	令達	88
45	畑作物	B-1-1-2	(754)新規需要・高機能性品種・系統の選定(H13~H15) (3000)高製パン適性小麦品種「ゆきちから」(東北214号)の高品質・安定多収技術(H13~H15)	野菜畑作 野菜畑作	継 継	- 国庫委託	89
46	畑作物	B-1-1-2	(858)高製パン適性小麦品種「ゆきちから」(東北214号)の高品質・安定多収栽培技術(H14~H16)	野菜畑作	新	国庫委託	90
47	畑作物	B-1-1-2	(863)市場性を考慮した雑穀優良系統の選抜(H14~H16)	やませ利用	新	県単研究	91
48	畑作物	B-1-1-2	(H14-04)アマランサスの品種特性評価技術確立(H14~H15)	やませ利用	新	国庫委託	92
49	畑作物	B-1-2-1	(819)あずき系統適応性検定試験(H14~H18)	野菜畑作	新	国庫委託	93
50	畑作物	B-1-2-1	(834)ばれいしょウイルス病抵抗性検定試験(H14~H18 H14)	野菜畑作	繰繰上	国庫委託	94
51	畑作物	B-1-2-1	(835)ばれいしょ系統適応性検定試験(H14~H18)	野菜畑作	新	国庫委託	95
52	畑作物	B-1-2-1	(877)大豆立枯性病害抵抗性検定試験(H14~H18)	野菜畑作	新	国庫委託	96
53	畑作物	B-1-2-1	(889)麦類耐寒性特性検定試験(H14~H18)	野菜畑作	新	国庫委託	97
54	畑作物	B-2-1-2 Q-1-1-2	(96)不耕起・無中耕・無培土栽培を基幹とした大豆の超省力安定栽培技術(H11~H15) (1000)大豆不耕起栽培体系の導入条件と展開方策(H11~H15) (1400)不耕起土壌の理化学性等の把握(H11~H15) (2000)不耕起播種による大豆の高品質・安定生産技術(H12~H15) (2200)不耕起・無中耕・無培土栽培に対応した土壌管理技術の確立(H12~H15) (2300)不耕起・無中耕・無培土栽培に適応した品種、栽培法の検討(H11~H14) (2400)大豆作を中心とした水田利用作付体系の実証(H11~H15) (3000)大豆の高品質安定生産技術確立(H11~H14) (3100)大豆の高品質安定生産技術確立(H11~H14) (3110)不耕起播種機の能率・精度の向上(H11~H14) (4000)高品質・超省力栽培体系の現地実証(H12~H15) (4100)組立技術の経営経済評価(H12~H15) (4200)地域的波及効果の確認(H14~H15)	野菜畑作 野菜畑作 野菜畑作 野菜畑作 野菜畑作 野菜畑作 生産工学 生産工学 生産工学 農業経営 農業経営 農業経営	継 継 継 継 終 継 終 終 終 継 継 継 新	- 国庫助成 - 国庫助成 - 国庫助成 - - - 国庫助成 - 国庫助成 国庫助成 国庫助成	98 99 100 101 102 103 104
55	畑作物	B-2-1-3	(97)小麦の冬期播種栽培技術の確立(H13~H15)	野菜畑作	継	県単研究	105
56	畑作物	B-3-1-1	(866)新資材の実用化(H14~H14) (1000)シルクアミノ酸(H14~H14) (2000)生分解性マルチ(H14~H14)	やませ利用 やませ利用 やませ利用	終・新 終・新 終・新	- 民間委託 民間委託	106 107
57	畑作物	B-3-2-1	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明(H14~H18) (1000)麦類の生育相と気象反応の解明(H14~H18) (1100)県央・県南地域(H14~H18) (1200)県北地域(H14~H18) (2000)大豆の生育相と気象反応の解明(H14~H18) (2100)県央・県南地域(H14~H18) (2200)県北地域(H14~H18)	野菜畑作 野菜畑作 野菜畑作 やませ利用 野菜畑作 野菜畑作 やませ利用	新 新 新 新 新 新 新	- - 県単研究 県単研究 - 県単研究 県単研究	108 109 110 111
58	畑作物	B-3-3-3 S-1-1-2	(753)大規模普通畑作経営体の育成と地域農業に及ぼす効果(H13~H15 H14) (1000)大規模普通畑作物の経営実証(H13~H15 H14)	営農技術 営農技術	繰繰上 繰繰上	- 県単研究	112

小課題No	研究分野	推進構想	研究課題名(課題構成)	担当研究室	実施区分	予算区分	実施No
59	畑作物	B-4-1-2	(727)水田大豆の加工適性向上のための高品質安定化技術(H13～H15 H14)	野菜畑作	終線止	国庫委託	113
60	畑作物	B-4-2-1	(739)寒冷地における立毛間播種機利用による麦・大豆輪作栽培技術の開発(H13～H17) (1000)麦・大豆立毛間播種体系の導入条件と展開方策(H13～H17) (1100)麦・大豆立毛間播種栽培の定着条件の解明(H13～H17) (2000)麦・大豆立毛間播種栽培技術の開発(H13～H15) (2000)麦・大豆立毛間播種栽培技術の開発(H13～H17) (2100)立毛間播種に適応した麦・大豆栽培技術の確立(H13～H17) (2110)県央・県南地域(H13～H17) (2120)県北地域(H13～H17) (2200)麦・大豆立毛間播種に対応した効率的雑草防除技術の確立(H13～H17) (2210)県央・県南地域(H13～H17) (2220)県北地域(H13～H17) (3000)麦・大豆立毛間播種栽培の現地実証(H13～H17) (3100)麦・大豆立毛間播種に対応した肥培管理技術の確立(H13～H17)	生産工学 農業経営 農業経営 生産工学 野菜畑作 野菜畑作 野菜畑作 やませ利用 野菜畑作 野菜畑作 営農技術 生産工学 土壌作物養	継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継	- 国庫助成 - - - 国庫助成 国庫助成 - 国庫助成 国庫助成 国庫助成 国庫助成	114 115 116 117 118 119 120
61	畑作物	B-5-0-0	(891)畑作物原々種・原種生産(S29～H17)	野菜畑作	継	県単採種	121
62	果樹	C-1-1-1	(121)21世紀のリングわい化栽培を担うJM台木の利用技術の開発(H11～H15) (1000)JM台木の現地適応性の解明(H11～H15) (1100)JM7台木利用樹の現地適応性(H11～H15) (3000)優良苗木の短期生産技術の確立(H12～H15) (3100)JM台木を用いた苗木養成苗木の短期生産法(H12～H15) (4000)JM台木と主要品種・県奨励品種との親和性の解明(H11～H15) (4100)JM台木と「ふじ」「きおう」等の親和性(H11～H15) (5000)JM台木利用・栽植様式による低樹高栽培技術の確立(H11～H15) (5100)台木の利用法(H11～H15) (5110)地上部台木長の検討(H11～H15) (5120)JM5台の中間台利用法の検討(H11～H15) (5200)JM7台木の栽植様式の検討(H11～H15)	果樹 果樹 果樹 果樹 果樹 果樹 果樹 果樹 果樹 果樹 果樹	継 継 継 継 継 継 継 継 継 継 継	- 国庫助成 - 国庫助成 - 国庫助成 - - 国庫助成 国庫助成 国庫助成	122 123 124 125 126 127
63	果樹	C-1-1-1	(839)りんご新しい性台木「青台3」の特性解明(H14～H18)	果樹	新	県単研究	128
64	果樹	C-1-1-3	(708)山ぶどう結実安定技術の確立(H13～H17)	果樹	継	県単研究	129
65	果樹	C-1-1-3	(709)ぶどう短梢栽培用平棚を利用した大粒種の栽培法の検討(H13～H17)	果樹	継	県単研究	130
66	果樹	C-1-2-1	(829)キャンベル・紅伊豆にかわる耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜(H14～H18) (1000)寒冷地向きぶどうの系統適応性試験(H14～H18) (1100)第9回系統適応性検定試験(H14～H18) (1200)第10回系統適応性検定試験(H14～H18) (2000)国内外育成の寒冷地向き品種の選抜(生食用・醸造・兼用種等品種の選抜)(H14～H18) (3000)耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜(H14～H18)	果樹 果樹 果樹 果樹 果樹	新 新 新 新 新	- 国庫委託 国庫委託 令達 令達	131 132 133 134
67	果樹	C-1-2-1	(850)果樹に対する植調剤等の利用法(H14～H18) (1000)果樹園用除草剤の効果的使用法(H14～H18) (2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法(H14～H18)	果樹 果樹 果樹	新 新 新	- 民間委託 民間委託	135 136
68	果樹	C-1-2-1	(894)良品質・高品質生産を目的としたウイルスフリー樹の作出(H14～H18)	果樹	新	令達	137
69	果樹	C-2-1-1	(128)需要拡大のための省力的食味本位リンゴの生産・流通技術の確立(H13～H16) (1000)食味本位リンゴの均質化栽培技術の確立(H13～H14) (1100)食味本位リンゴの樹体構成法及び光センサー等を利用した均質化栽培法の確立(H13～H14) (1110)食味本位リンゴの樹相診断技術の確立(H13～H14) (1113)食味本位リンゴの樹相診断技術の確立(H13～H14) (1120)良食味・均質化のための樹体構成法(H12～H14) (1122)受光条件と果実品質の関係解明(H12～H14) (1123)葉面積指数と果実品質の関係解明(H12～H14) (1124)適正な側枝配置法の解明(H14～H16) (1130)各種資材利用による内部品質向上・均質化技術の確立(H12～H16) (1131)光センサーによる内部品質評価法の検討(H12～H16) (1132)各種資材を利用した内部品質向上・均質化技術の検討(H12～H16)	果樹 果樹 果樹 果樹 果樹 果樹 果樹 果樹 果樹 果樹	継 終 終 終 終 終 終 終 終 終 終	- - - 国庫助成 - 国庫助成 国庫助成 国庫助成 国庫助成 - 国庫助成 国庫助成	138 139 140 141 142 143

小課題No	研究分野	推進構想	研究課題名(課題構成)	担当研究室	実施区分	予算区分	実施No
69 (続)	果樹	C-2-1-1	(2000)食味本位リンゴの省力・低コスト・平易化栽培技術の確立(H12~H14)	果樹	終	-	
			(2100)新植調剤の実用化による摘果作業の削減技術の確立(H12~H14)	果樹	終	-	
			(2110)「ふじ」「さんさ」「ジョナゴールド」などへの新摘花・摘果剤利用技術の確立(H12~H14)	果樹	終	-	
			(2111)新規摘花剤の効果確認(H12~H14)	果樹	終	国庫助成	144
			(2112)「さんさ」「ふじ」などへの品種適応性の検討(H12~H14)	果樹	終	国庫助成	145
			(2113)摘果剤の効果安定法(H12~H14)	果樹	終	国庫助成	146
			(2114)体系処理法の開発と省力効果の確認(H13~H14)	果樹	終	国庫助成	147
			(2200)新摘葉剤の実用化及び着色系統の利用等による着色管理の大幅削減技術の開発(H12~H16)	果樹	継	-	
			(2210)「ふじ」「さんさ」「ジョナゴールド」など新摘葉剤利用技術の確立(H12~H16)	果樹	継	-	
			(2211)摘葉剤の実用性及び効果安定法の検討(H12~H16)	果樹	継	国庫助成	148
			(2212)摘葉剤処理が樹体生理に及ぼす影響(H12~H16)	果樹	継	国庫助成	149
			(2213)着色評価のための非破壊センシング利用技術の開発(H12~H16)	果樹	継	国庫助成	150
			(2220)着色系統利用及び着色管理の省力化技術の確立(H12~H16)	果樹	継	国庫助成	151
			(3000)食味本位リンゴの鮮度保持・流通技術の確立(H12~H16)	保鮮流通支研	継	-	
			(3100)食味本位リンゴの冷温高湿貯蔵技術の確立(H12~H16)	保鮮流通支研	継	国庫助成	152
			(4000)食味本位のリンゴ新素材の省力的生産体系の実証と消費流通評価(H14~H16)	果樹	新	-	
			(4100)省力・均質化生産体系の実証(H14~H16)	果樹	新	-	
			(4110)高品質均質化技術の実証(H14~H16)	果樹	新	国庫助成	153
			(4200)食味本位リンゴの消費流通調査(H14~H16)	農業経営	新	国庫助成	154
			(5000)食味本位リンゴの省力的生産技術導入による経営基盤強化方策の解明(H12~H14)	農業経営	終	-	
(5100)食味本位りんごの省力的生産技術導入による経営基盤強化方策(H12~H14)	農業経営	終	-				
(5110)現行光センサー選果機の活用上の問題点の把握と改善方策(H12~H14)	農業経営	終	国庫助成	155			
(5120)食味本位リンゴの生産体制及び流通機構の実態解析と改善方策(H12~H14)	農業経営	終	国庫助成	156			
70	果樹	C-2-1-1	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明(H14~H18)	果樹	新	-	
			(1000)りんごの生育・生態の把握(H14~H18)	果樹	新	県単研究	157
			(2000)ぶどうの生育・生態の把握(H14~H18)	果樹	新	県単研究	158
71	果樹	C-3-2-1	(131)果樹類の低樹高品種の育成等による省力・軽作業栽培技術の開発(H9~H16)	果樹	継	-	
			(1000)りんごのカラムナータイプ等に適合する新栽培方式・防除法の開発(H9~H16)	果樹	継	-	
			(1100)摘花・摘果の省力技術の開発(H9~H16)	果樹	継	国庫委託	160
72	果樹	C-4-1-1	(830)ジョナゴールド、ふじ等に優るりんご中・晩生種の開発(H14~H18)	果樹	新	-	
			(1000)国育成系統適応性(盛岡58~65号)(H14~H18)	果樹	新	令達	163
			(2000)国内外導入品種の選抜(H14~H18)	果樹	新	令達	164
73	果樹	C-4-3-1	(837)ラ・フランスに優る西洋なし品種の開発(H14~H18)	果樹	新	-	
			(1000)国内外導入品種の選抜(H14~H18)	果樹	新	令達	166
			(826)おうとう、もも等の優良品種の選抜(H14~H18)	果樹	新	-	
74	果樹	C-4-4-1	(1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜(H14~H18)	果樹	新	令達	167
			(827)おうとう、もも等の優良品種の選抜(H14~H18)	果樹	新	-	
			(2000)ブルーベリーの優良品種の選抜(H14~H18)	果樹	新	県単研究	168
76	野菜	D-1-1-1	(747)いちご栽培における省力技術の導入による高度生産化(H13~H15)	南部園芸	継	-	
77	野菜	D-1-1-1	(878)短日処理によるいちご促成栽培適応品種の選抜(H14~H16)	南部園芸	新	県単研究	169
78	野菜	D-1-1-2	(711)いちご低温カット栽培における高設栽培技術の確立(H13~H15)	南部園芸	継	県単研究	170
79	野菜	D-1-1-2	(849)果菜類における低コスト・安定生産のための新露地栽培体系の確立(H14~H16)	野菜畑作	新	-	
			(1000)夏秋キュウリの長期安定生産技術の確立(H14~H16)	野菜畑作	新	県単研究	171
			(2000)トマト簡易雨よけ栽培の安定化技術の確立(H14~H16)	野菜畑作	新	県単研究	172
80	野菜	D-1-1-2 S-2-2-1 D-3-1-2	(853)寒冷地における夏秋イチゴの低コスト生産・安定供給技術の確立(H14~H16)	野菜畑作	新	-	
			(1000)県央地域(H14~H16)	野菜畑作	新	県単研究	173
			(2000)沿岸南部地域(H14~H16)	南部園芸	新	県単研究	174

小課題No	研究分野	推進構想	研究課題名(課題構成)	担当研究室	実施区分	予算区分	実施No
81	野菜	D-1-1-3	(156)大規模野菜経営に対応した新作型栽培技術の開発(H12~H15) (4000)夏秋きゅうり大規模野菜生産技術の確立(H12~H15) (4100)急性萎凋症状の耕種発生要因の解明(H12~H15)	南部園芸 南部園芸 南部園芸	継 継 継	- - 単研究	175
82	野菜	D-1-1-3	(712)トマト養液栽培による周年栽培技術の確立・実証(H13~H15)	南部園芸	継	単研究	176
83	野菜	D-1-1-3	(738)雨よけほうれんそうの大型経営確立による産地拡大(H13~H15) (1000)省力技術の実証(H13~H15) (2000)安定多収技術の実証(H13~H15)	野菜畑作 野菜畑作 野菜畑作	継 継 継	- 単研究 単研究	177 178
84	野菜	D-1-1-3	(748)東磐井地方における園芸省力安定生産モデル経営の実証(H13~H15) (4000)トマト点滴かん水施肥栽培技術の実証・確立(H13~H15)	南部園芸 南部園芸	継 継	- 単研究	179
85	野菜	D-1-1-3	(816)ネギの産地力強化のための低コスト・長期安定供給技術の確立(H14~H16) (1000)ネギの7月穫り作型開発と作型別適品種選定(H14~H15) (2000)ネギの省力機械化体系確立実証(H14~H15) (3000)ネギの高鮮度流通技術の確立(H14~H16) (4000)県中南部におけるねぎ主要害虫の防除体系(H14~H14) (5000)ネギ産地における流通改善方策の解明(H14~H16) (5100)流通コストの改善可能性と条件解明(H14~H16)	野菜畑作 野菜畑作 生産工学 保鲜流通技術 病理昆虫 農業経営 農業経営	新 新 新 終・新 新 新	- 令達 令達 令達 令達 令達	180 181 182 183 184
86	野菜	D-1-1-4	(157)園芸作物における養液土耕等の施設に対応した生産技術(H12~H15) (1000)いちごのベンチアップ栽培の確立(H12~H15) (1200)培養液濃度の検討(H12~H15) (1300)適品種の検討(H12~H15) (1400)栽培ベッドの保温(H14~H15) (1500)培養土の検討(H14~H15) (2000)トマトの少量土壌培地耕栽培技術の確立(H12~H15) (2100)適品種の検討(H12~H14) (2200)各種培地における栽培管理方法の検討(H12~H14) (3000)地床利用によるトマトの点滴灌水同時施肥栽培技術の開発実証(H12~H14) (4000)点滴かん水による養・水分供給技術の確立(H12~H14) (5000)養液土耕栽培での高品質生産条件の解明(H11~H14)	野菜畑作 南部園芸 南部園芸 南部園芸 南部園芸 南部園芸 南部園芸 南部園芸 野菜畑作 土壌作物養 保鲜流通技術	継 継 継 新 新 継 終 終 終	- - 単研究 単研究 単研究 単研究 - 単研究 単研究 単研究	185 186 187 188 189 190 191 192 193
87	野菜	D-1-2-3 L-1-2-1	(871)新肥料の肥効試験(H14~H16)	野菜畑作	新	民間委託	194
88	野菜	D-2-1-1	(163)ニューなばな「はるの輝」の前進作型の開発(H7~H14) (1000)ワカス中生優良系統の選抜(H7~H14)	野菜畑作 野菜畑作	終 終	- 令達	195
89	野菜	D-2-1-1	(744)水田を活用した持続的作付体系及び優良種苗の安定確保によるサトイモ産地強化の実証(H13~H15) (1000)優良種苗決定のための現地調査(H13~H15) (2000)連作障害対策を中心とした水田活用体系の実証(H13~H15) (3000)優良系統の培養苗利用による栽培実証(H13~H15)	野菜畑作 野菜畑作 野菜畑作 応用生物学	継 継 継 継	- 単研究 単研究 単研究	196 197 198
90	野菜	D-2-1-1	(848)果菜類における新形質品種の特性評価と利用技術の確立(H14~H16) (1000)キュウリ優良品種の選定と栽培法(H14~H16) (2000)トマト優良品種の選定と栽培法(H14~H16) (3000)ピーマン優良品種の選定と栽培法(H14~H16)	野菜畑作 野菜畑作 野菜畑作 野菜畑作	新 新 新 新	- 単研究 単研究 単研究	199 200 201
91	野菜	D-2-1-1	(880)地域適応性に優れた品種の選定(H14~H16) (1000)ホウレンソウの品種選定(H14~H16) (2000)キャベツの品種選定(H14~H16) (3000)ダイコン優良品種の選定(H14~H16)	産地育成 産地育成 産地育成 産地育成	新 新 新 新	- 単研究 単研究 単研究	202 203 204
92	野菜	D-2-1-2 I-2-1-1	(165)野菜の優良栄養繁殖系品種の育成(H10~H15) (1000)サトイモの優良系統の選抜(H10~H15)	野菜畑作 野菜畑作	継 継	- 令達	205
93	野菜	D-2-1-3 L-2-1-3	(825)ウリ科作物中のダイオキシン類の吸収移行に及ぼす栽培管理方法等の影響解析(H14~H16 H14)	環境保全	終(繰上) ・新	単研究	206
94	野菜	D-2-1-3 V-2-3-2	(H14-02)トマト・ピーマンの一晚予冷技術の開発(H14~H15)	保鲜流通技術	新	令達	207
95	野菜	D-2-2-1 S-2-2-1	(828)カラシナによるほうれんそう萎凋病軽減技術の開発(H14~H16)	産地育成	新	単研究	208
96	野菜	D-4-0-0	(174)えだまめ等オリジナル品種優良種苗の維持・増殖(H8~H18)	野菜畑作	継	令達	209
97	花き	E-1-1-2 I-1-2-1	(884)突然変異等を利用した新形質りんどうの特性評価(H14~H17) (1000)わい性「ポラーノホワイト」の生育特性の解明(H14~H17)	花き 花き	新 新	- 単研究	210
98	花き	E-1-2-1	(840)りんどうF1品種の親株維持・増殖技術の確立(H14~H18) (1000)種子による親株維持技術の確立(H14~H18) (2000)培養系親系統の特性検定及びF1品種の組合せ検定(H14~H18)	花き 花き 花き	新 新 新	- 単研究 単研究	211 212
99	花き	E-1-2-2 I-2-1-1	(191)りんどうの品種育成(S49~H15)	花き	継	令達	213

小課題No	研究分野	推進構想	研究課題名(課題構成)	担当研究室	実施区分	予算区分	実施No
100	花き	E-1-3-1 I-2-2-1	(192)スターチス類の品種育成(H11~H15)	花き	継	令達	214
101	花き	E-1-3-1 I-2-2-1	(831)スターチス有望育成系統の栽培管理技術の確立(H14~H18)	花き	新	県単研究	215
102	花き	E-1-4-1	(832)ニュータイプ小ぎくの品種育成(H14~H18)	花き	新	令達	216
103	花き	E-1-5-1 I-2-2-1	(195)ゆりの品種育成(H5~H15)	花き	継	令達	217
104	花き	E-2-1-3	(196)寒冷地における枝物花木類の栽培技術体系の確立(H12~H16) (1000)枝物花木の寒冷地向け適品目の選定及び栽培技術の確立(H12~H16)	花き 花き	継 継	- -	
			(1100)品目選定と栽培特性(H12~H16)	花き	継	国庫助成	218
			(1200)効率的増殖法及び育苗技術の確立(H12~H16)	花き	継	国庫助成	219
			(1300)栽植方式及び早期株養成技術の解明(H12~H16)	花き	継	-	
			(1310)栽植様式と生育反応 根域制限と生育反応 株養成技術の開発(H12~H16)	花き	継	国庫助成	220
			(1320)花芽着生技術の開発(H13~H15)	花き	継	国庫助成	221
			(1400)整枝及び仕立て法の確立(H13~H15)	花き	継	-	
			(1410)越冬前の整枝法が次年度の生育に及ぼす影響 仕立て方法及び仕立て本数が切り枝品質に及ぼす影響(H13~H15)	花き 花き	継 継	国庫助成	222
			(1500)休眠特性の解明と休眠打破法、促成栽培技術の確立(H13~H15)	花き	継	-	
			(1510)切り枝類の休眠特性解明 休眠打破方法の開発(H13~H15)	花き	継	国庫助成	223
(2000)切り枝の品質保持技術の確立(H13~H16)	保鮮流通技術	継	-				
(2100)鮮度保持剤等の利用による品質保持技術の確立(H13~H16)	保鮮流通技術	継	国庫助成	224			
(2200)促成時の水揚げ改善技術の確立(H14~H15)	保鮮流通技術	新	国庫助成	225			
105	花き	E-2-1-4	(197)寒冷地型鉢花・花壇苗物生産技術の確立(H10~H14) (1000)宿根草等の鉢物化技術の確立(H10~H14) (2000)秋出荷花壇苗の生産体系の確立(H10~H14)	花き 花き 南部園芸	終 終 終	- 県単研究 県単研究	226 227
106	花き	E-2-1-4	(845)りんどう切り花用品種の鉢物化技術の確立(H14~H16)	花き	新	県単研究	228
107	花き	E-2-1-5 R-2-4-1	(199)寒冷地における法面の省力的管理・景観形成に適した植物種の選定及び低コスト増殖(H12~H14)	産地育成	終	県単研究	229
108	花き	E-2-2-1	(710)太陽光発電を利用した栽培技術の確立(H13~H17) (1000)温度管理等による花きの周年栽培体系の確立(H13~H17)	南部園芸 南部園芸	継 継	- 県単研究	230
109	花き	E-2-2-1 S-2-2-1	(820)アネモネの年内穫り作型における高品質栽培法の確立(H14~H16)	南部園芸	新	県単研究	231
110	花き	E-2-2-5 S-1-1-3	(484)県北中山間地域における花き品目導入による農業経営の確立実証(一戸町小友地区)(H9~H14)	産地育成	終	-	
			(3000)花壇苗周年生産技術の確立(H9~H14)	産地育成	終	県単研究	232
111	花き	E-3-1-1	(844)りんどう栄養系品種の栽培技術の確立(H14~H16)	花き	新	県単研究	233
112	花き	E-3-1-3 L-2-2-1	(822)アレンジメントアスターの高品質安定生産の確立(H14~H16)	南部園芸	新	県単研究	234
113	花き	E-3-1-4	(841)りんどうコブ症の発生実態と原因の解明(H14~H18) (1000)発生実態と栽培条件による原因解明(H14~H18)	花き 花き	新 新	- 県単研究	235
			(2000)発生圃場の土壌及びりんどう養分吸収特性の解明(H14~H16)	土壌作物栄養	新	県単研究	236
			(3000)コブ症発現に関連する微生物・線虫及び土壌昆虫の検索(H14~H16)	病理昆虫	新	県単研究	237
114	花き	E-3-2-1	(843)りんどうの生育・生態調査(H14~H18)	花き	新	県単研究	238
115	花き	E-3-2-3	(211)りんどうの高品質促成栽培技術の確立(H10~H14)	花き	終	県単研究	239
116	花き	E-3-2-3	(865)小ぎくの作期拡大技術の確立(H14~H18)	花き	新	県単研究	240
117	花き	E-5-1-1	(746)沿岸中山間地域における花き周年生産モデルの確立(H13~H15)	花き	継	県単研究	241
118	花き	E-6-0-0	(214)りんどう優良系統の維持増殖(S49~H17)	花き	継	令達	242
119	酪農	F-1-1-1	(230)高泌乳・高蛋白牛群に適応した飼養管理技術の確立(H10~H16)	家畜飼養	継	県単研究	243
120	酪農	F-1-2-1	(721)発育効果及び生涯生産性を高める乳用雌育成牛の飼養管理技術の確立(H13~H17)	家畜飼養	継	県単研究	244
121	酪農	F-1-2-2	(846)ロボット多回搾乳が乳用牛の繁殖機能に及ぼす影響の解明と繁殖管理技術の確立(H14~H16)	家畜飼養	新	県単研究	245
122	酪農	F-1-2-3	(232)時間制限集約放牧を組み入れた高能力牛群飼養管理技術の確立(H10~H14)	家畜飼養	終	県単研究	246
123	酪農	F-3-1-1 K-2-2-3	(879)地域資源活用による乳牛の生涯生産性向上に向けた飼養技術の確立(H14~H16) (1000)県内酪農地帯における地域資源を活用した資源循環型酪農経営の定着方策(H14~H16)	飼料生産 農業経営	新 新	- -	
			(1100)主要酪農地帯における粗飼料生産給与と家畜飼養管理技術の実態把握(H14~H16)	農業経営	新	国庫助成	247

小課題No	研究分野	推進構想	研究課題名(課題構成)	担当研究室	実施区分	予算区分	実施No
123 (続)	酪農	F-3-1-1 K-2-2-3	(2000)畑地における堆肥を高度に利用した一年生飼料作物の資源循環型粗飼料生産技術の開発(H14～H17)	飼料生産	新	-	
			(2100)一年生飼料作物の生育特性と生産性の解明(H14～H17)	飼料生産	新	国庫助成	248
			(3000)一年生飼料作物の給与と効率的な放牧を組み入れた高能力牛群飼養管理技術の確立(H14～H18)	家畜飼養	新	国庫助成	249
124	酪農	F-3-2-2	(722)ロボット搾乳とパーラー搾乳が乳腺細胞に及ぼす影響と乳房炎発生との関係(H13～H15)	家畜飼養	継	国庫助成	250
125	肉畜	G-1-1-1	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)(S62～H17)	種山畜産	継	国庫助成	251
126	肉畜	G-1-1-1	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)(H1～H17)	種山畜産	継	国庫助成	252
127	肉畜	G-1-1-2	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)(S45～H17)	家畜育種	継	国庫助成	253
128	肉畜	G-1-1-2	(237)日本短角種産肉能力検定(間接法)(S48～H17)	家畜育種	継	国庫助成	254
129	肉畜	G-1-1-4	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査(H14～H18)	種山畜産	新	国庫助成	255
130	肉畜	G-1-2-3 J-1-1-3	(859)黒毛和種における分割胚移植技術を活用した高能力種雄牛の作出(H14～H18)	種山畜産	新	国庫助成	256
131	肉畜	G-2-1-1	(882)超早期母子分離と放牧を取り入れた黒毛和種飼養方式の確立(H14～H16)	家畜育種	新	国庫助成	257
132	肉畜	G-2-1-2 H-4-1-3	(242)北上山地における公共放牧地の高度利用による黒毛和種肥育素牛の放牧管理技術の確立(H11～H15)	外山畜産	継	-	
			(2000)集約放牧を取り入れた黒毛和種肥育素牛の発育向上技術の開発(H11～H15)	外山畜産	継	-	
			(2100)草種構成と緩効性肥料の組み合わせによる草地生産平準化技術(H11～H15)	外山畜産	継	国庫助成	258
			(2200)適正輪換放牧方式による発育向上技術(H11～H15)	外山畜産	継	国庫助成	259
			(2300)放牧草の栄養特性に対応した補助飼料給与技術(H11～H15)	外山畜産	継	国庫助成	260
			(2400)放牧育成肥育素牛の肥育特性の解明(H12～H15)	家畜育種	継	国庫助成	261
			(3000)北上山地における黒毛和種肥育素牛育成技術の現地実証(H14～H15)	外山畜産	新	-	
(3100)黒毛和種肥育素牛の集約放牧技術の現地実証と経営経済評価(H14～H15)	外山畜産	新	国庫助成	262			
(3200)黒毛和種肥育素牛の放牧育成システムの経営的評価(H13～H15)	農業経営	継	国庫助成	263			
133	肉畜	G-3-1-2	(246)「いわて短角牛」適正出荷のための肥育技術の確立(H13～H14)	家畜育種	終	国庫助成	264
134	肉畜	G-3-2-3	(248)ビタミンA制限による肥育技術の確立(H10～H15)	家畜育種	継	国庫助成	265
135	肉畜	G-4-1-5	(854)環境・安全に配慮した岩手型豚肉生産技術の確立(H14～H18)	家畜育種	新	国庫助成	266
136	肉畜	G-5-1-1	(833)ニワトリ始原生殖細胞(PGCs)の利用に関する研究(H14～H15)	家畜育種	新	-	
				(1000)岩手地鶏PGCsの白色レグホーンへ移植した生殖系列キメラ鶏及び後代鶏調査(H14～H15)	家畜育種	新	国庫助成
137	肉畜	G-5-1-2	(720)岩手独自の交雑種鶏を活用した組み合わせ検定(H13～H15)	家畜育種	継	国庫助成	268
138	草地飼料	H-1-1-1	(253)とうもろこし市販品種の特性比較(S54～H17)	飼料生産	継	国庫助成	269
139	草地飼料	H-1-1-1	(254)とうもろこし系統適応性検定試験(S55～H17)	飼料生産	継	国庫助成	270
140	草地飼料	H-1-1-2	(725)ソルガム市販品種の特性比較(H13～H15)	飼料生産	継	国庫助成	271
141	草地飼料	H-1-2-3	(726)採草用牧草の播種基準の策定(H13～H15)	飼料生産	継	国庫助成	272
142	草地飼料	H-2-2-1	(257)糞尿施用とうもろこし畑の簡易診断技術の確立(H10～H14)	飼料生産	終	国庫助成	273
143	草地飼料	H-2-2-1	(861)細断型ローラーによる飼料作物の収穫調製技術(H14～H15)	飼料生産	新	国庫助成	274
144	草地飼料	H-2-2-1	(892)牧草の気象感応試験(H14～H18)	飼料生産	新	国庫助成	275
145	草地飼料	H-2-2-2	(743)ソルガムラップサイレージ調製技術(H13～H15)	飼料生産	継	国庫助成	276
146	草地飼料	H-2-4-0	(724)被覆植物を活用した飼料畑の雑草抑制技術の確立(H13～H15)	飼料生産	継	国庫助成	277
147	草地飼料	H-4-2-1	(262)広葉樹林帯を活用した肉用牛放牧における水土保全機能の解明(H11～H15)	外山畜産	継	国庫助成	278
148	作物ハイク	I-1-1-4 C-3-1-1	(280)りんごの有望品種及び有望台木の再分化技術の確立(H12～H14)	応用生物学	終	国庫助成	279
149	作物ハイク	I-1-2-1 A-1-2-1	(801)遺伝子導入稲の耐病性評価(H14～H16)	応用生物学	新	国庫助成	280
150	作物ハイク	I-1-2-1	(809)耐病性関連遺伝子導入りんごの耐病性評価(H14～H16)	応用生物学	新	国庫助成	281
151	作物ハイク	I-2-1-1 E-1-2-1	(812)りんごの組織培養による種間雑種等の作出法(H14～H18)	応用生物学	新	国庫助成	282
152	作物ハイク	I-2-1-2 E-1-2-2	(810)りんごF1優良個体の大量増殖技術開発(H14～H18)	応用生物学	新	国庫助成	283
153	作物ハイク	I-2-1-2 E-6-0-0	(814)えぞりんごの組織培養における維持・増殖システムの確立(H14～H18)	応用生物学	新	国庫助成	284
154	作物ハイク	I-2-2-2 E-1-3-1	(813)スターチスの低コスト培養システムの確立(H14～H16)	応用生物学	新	国庫助成	285

小課題No	研究分野	推進構想	研究課題名(課題構成)	担当研究室	実施区分	予算区分	実施No
155	作物ハ'イテ	I-3-1-1 E-1-1-2	(811)りんどうの突然変異体の作出法(H14~H18)	応用生物学	新	県単研究	286
156	作物ハ'イテ	I-3-2-1 A-1-1-2	(288)DNAマーカー利用による稲優良形質の探索及び選抜法の確立(H9~H14)	応用生物学	終	県単研究	287
157	作物ハ'イテ	I-3-2-3	(818)各種病原の検出・診断技術(H14~H16)	応用生物学	新	県単研究	288
158	作物ハ'イテ	I-3-2-4 E-3-1-4	(293)小ぎくのウィルスフリー化技術の確立(H12~H16)	応用生物学	継	県単研究	289
159	作物ハ'イテ	I-3-2-4 C-3-3-1	(808)りんごのウィルスフリー樹の作出及び検定法の確立(H14~H16)	応用生物学	新	県単研究	290
160	作物ハ'イテ	I-3-2-4 E-1-1-3 E-6-0-0	(815)りんごのウィルスフリー化技術の確立(H14~H16)	応用生物学	新	県単研究	291
161	家畜ハ'イテ	J-1-1-2 G	(864)受胎率向上のための受精卵の凍結・融解方法の比較検討(H14~H16)	家畜工学	新	令達	292
162	家畜ハ'イテ	J-1-1-3 G-2-1-5	(824)ウシ胚移植を活用した効率的双子生産技術の確立(H14~H16)	家畜工学	新	県単研究	293
163	家畜ハ'イテ	J-1-3-4 F-1-1-1	(302)雌雄判別技術を利用した乳用牛群改良技術の確立(H11~H15)	家畜工学	継	県単研究	294
164	家畜ハ'イテ	J-2-1-0 G-1-2-4	(303)核移植技術による優良種畜の大量生産技術の開発(H10~H15)	家畜工学	継	国庫助成	295
165	家畜ハ'イテ	J-3-1-0 G-1-2-4	(304)肉用牛における経済形質とDNAマーカーとの連鎖解析(H7~H17)	家畜工学	継	令達	296
166	環境保全	K-1-1-1	(310)施肥窒素溶脱抑制技術の確立(H3~H14) (1000)ライシメーター試験(H3~H14)	環境保全 環境保全	終 終	- 国庫助成	297
167	環境保全	K-1-2-1 A-3-3-1	(313)農薬安全使用等啓発事業(H12~H14) (1000)防除農薬散布層の安全性確認調査(H12~H14) (1100)キュウリ及びキャベツにおける残留実態(H12~H14)	環境保全 環境保全 環境保全	終 終 終	- - 国庫助成	298
168	環境保全	K-1-2-1 A-3-3-1	(887)農薬残留対策調査(作物残留)(H14~H14) (1000)水稲におけるフェノキサニルの残留(H14~H14)	環境保全 環境保全	終・新 終・新	- 民間委託	299
169	環境保全	K-1-2-3	(315)農薬水質影響調査(H10~H15) (1000)水質影響低減技術の開発(H10~H14) (1200)種子消毒廃液処理対策技術の確立(H10~H14) (2000)育苗箱施薬による水田生態系への影響(H13~H15)	環境保全 環境保全 環境保全 環境保全	継 終 終 継	- - 国庫助成 国庫助成	300 301
170	環境保全	K-1-3-1 B-3-1-1	(316)葉たばこ栽培における還元型マルチ資材処理システムの検証(H14~H16) (3000)生分解性マルチ資材の実用性と後処理技術の確立(H14~H16)	やませ利用 やませ利用	新 新	- 令達	302
171	環境保全	K-2-1-2	(318)ロックウール脱臭装置の高機能化とドレインの環境保全的循環技術(H12~H14)	飼料生産	終	国庫委託	303
172	環境保全	K-2-1-4 A-3-3-2 L-3-2-2	(320)環境保全型有機質資源施用基準設定調査(H10~H14) (1000)有機物連用試験(H10~H14) (1100)水稲の有機物施用基準設定調査(H10~H14) (1110)県央・県南地域(H10~H14) (1120)県北地域(H9~H14) (1200)畑地の有機物施用基準設定調査(H10~H14) (1210)県央・県南地域(H10~H14) (1220)県北地域(H9~H14) (2000)土壌機能実態モニタリング調査(H10~H14) (3000)要素反応と施肥改善(H10~H14) (3100)3要素試験(H10~H14)	土壌作物栄養 土壌作物栄養 土壌作物栄養 土壌作物栄養 営農技術 土壌作物栄養 土壌作物栄養 営農技術 土壌作物栄養 営農技術 土壌作物栄養 営農技術	終 終 終 終 終 終 終 終 終 終 終	- - - 国庫助成 国庫助成 - 国庫助成 国庫助成 - 国庫助成 - 国庫助成	304 305 306 307 308 309
173	環境保全	K-2-2-1 F-2-1-2	(847)奥中山地域における液状コンポスト調整利用システムの確立(H14~H15) (1000)乳牛ふん尿の液状コンポスト好氣的調整システムの確立(H14~H15) (2000)草地や飼料作物を対象とした液状コンポスト利用技術の確立(H14~H16)	飼料生産 飼料生産 営農技術	新 新 新	- 県単研究 県単研究	310 311
174	環境保全	K-2-3-2	(723)戻し堆肥等の敷き料利用システムの確立(H13~H14)	家畜育種	終	県単研究	312
175	環境保全	K-3-1-2	(522)家畜排泄物等の有機質資源を活用した特別栽培農産物生産技術体系の確立(H14~H18) (1000)農業分野における窒素収支の推定と解析(H14~H14) (2000)特別栽培農産物栽培管理方式の策定(H14~H16) (3000)有機農産物の生産条件の解明(H14~H15) (4000)岩手県内生産主要堆肥の成分特性にもとづく化学肥料代替技術の確立(H14~H16) (5000)マニユアスプレッダー利用による地域内有機物の急速堆肥化技術(H14~H15)	環境保全 環境保全 環境保全 土壌作物栄養 土壌作物栄養	終・新 新 新 新 新	県単研究 県単研究 県単研究 県単研究 県単研究	313 314 315 316 317

小課題No	研究分野	推進構想	研究課題名(課題構成)	担当研究室	実施区分	予算区分	実施No
175 (続)	環境保全	K-3-1-2	(6000)東北地域の水稲栽培における有機質資材の化学肥料代替利用法の確立(H14～H18)	営農技術	新	県単研究	318
176	環境保全	K-3-2-3 A-3-3-1	(872)水田の機能を活用した生物多様性保全技術の確立(H14～H16) (1000)水生生物を指標とした水田環境モニタリング(H14～H16)	環境保全 環境保全	新 新	- 県単研究	319
177	土壌作物	L-1-1-1 A-4-1-3	(340)農作物の要素欠乏及び過剰対策の確立(S38～H14) (1000)要素反応と施肥改善(施肥反応と気象)(S38～H14) (2000)微量要素欠乏対策(S54～H14) (2100)りんどうの栄養・吸収モデルの作成(S54～H14)	土壌作物栄養 土壌作物栄養 土壌作物栄養 土壌作物栄養	終 終 終 終	- 国庫助成 - 国庫助成	320 321
178	土壌作物	L-1-1-2 C-2-1-2	(341)りんごの生育予測、栄養診断技術の確立(H9～H14) (1000)りんごわい性樹の栄養診断法(H9～H14)	土壌作物栄養 土壌作物栄養	終 終	- 国庫助成	322
179	土壌作物	L-1-1-2 E-3-1-3	(342)野菜、花き、畑作物の生育予測、栄養診断技術の確立(H11～H15) (1000)野菜・花きの栄養診断手法の確立(H11～H15)	土壌作物栄養 土壌作物栄養	継 継	- 県単研究	323
180	土壌作物	L-1-1-2 A-4-2-1	(343)水稲の生育予測、栄養診断に基づく対応技術の確立(H13～H15) (2000)水稲作物栄養モデルの作成(H13～H15) (2300)いわてっこの生育栄養診断指標(H13～H15)	営農技術 営農技術 営農技術	継 継 継	- - 県単研究	324
181	土壌作物	L-1-1-3 D-1-1-3 V-1-2-2	(856)県内主要葉菜類の内部品質向上栽培技術の確立(H14～H16) (1000)葉菜類の内部品質実態調査(H14～H15) (2000)塩基バランス制御によるホウレンソウ、キャベツの硝酸濃度低減化(H14～H16) (3000)キャベツの栄養成分の簡易品質評価法の開発(H15～H16) (4000)キャベツの栄養成分変動要因の解明(H15～H16) (5000)施設ホウレンソウの体内硝酸濃度とオガクズ牛ふん堆肥施用量(H15～H16)	土壌作物栄養 土壌作物栄養 土壌作物栄養 保健衛生支 保健衛生支 土壌作物栄養	新 新 新 未 未 未	- 県単研究 国庫委託 - - -	325 326
182	土壌作物	L-1-2-1 E-2-2-2	(345)新肥料の実用化(H12～H15) (1000)転作麦専用肥料の肥効(H13～H15) (2000)プール育苗における緩効行性肥料が苗の生育に及ぼす効果(H14～H15) (3000)減化学栽培対応有機配合肥料の効果(H12～H14) (4000)集落排水処理施設で発生する汚泥を有機性資源として農地還元するための品質確認(H14～H15) (5000)寒冷地水田での肥効調節型肥料を用いた春施肥の実用化(H13～H15) (6000)寒冷地水田での肥効調節型肥料を用いた秋施肥の実用化(H13～H15) (7000)雨よけほうれんそうにおける肥効(H13～H15) (8000)水田土壌における可給態ケイ酸評価法の確立試験(H13～H15) (9000)新ケイ酸肥料の効果確認(H13～H15) (a000)水田における鶏糞の安全利用技術の確立(H13～H15)	土壌作物栄養 土壌作物栄養 土壌作物栄養 土壌作物栄養 営農技術 営農技術 営農技術 営農技術 営農技術 営農技術	継 継 新 終 新 継 継 継 継 継 継	- 民間委託 民間委託 民間委託 民間委託 民間委託 民間委託 民間委託 民間委託 民間委託	327 328 329 330 331 332 333 334 335 336
183	土壌作物	L-1-2-1	(868)新肥料の肥効検定他(H13～H15) (1000)果菜類に対する肥効確認(H13～H15) (1100)微量要素入り肥料が生育及び品質等に及ぼす効果確認(H13～H15) (2000)花きに対する肥効確認(H13～H15) (2100)微量要素入りトルコギキョウ肥料の肥効確認(H13～H15)	南部園芸 南部園芸 南部園芸 南部園芸 南部園芸	継 継 継 継 継	- - 民間委託 - 民間委託	337 338
184	土壌作物	L-1-2-1 K-2-1-4 A-3-3-2	(870)水田における鶏糞の安全利用技術の確立(H13～H15)	営農技術	継	民間委託	339
185	土壌作物	L-1-2-3 D-1-1-1	(347)肥効調節型肥料の導入技術の確立(H10～H14) (1000)野菜類の全量育苗時施肥技術の確立(H10～H14)	土壌作物栄養 土壌作物栄養	終 終	- 令達	340
186	土壌作物	L-2-1-3	(325)水田地力富化の実態と適正施肥量指針策定(H7～H14)	環境保全	終	令達	341
187	土壌作物	L-2-1-2 E-3-1-3	(348)露地野菜・花き等の土壌管理技術の確立(H10～H14) (2000)りんどうの土壌管理指針策定(H10～H14) (2100)りんどう生産環境実態調査(H10～H14) (2200)りんどう土壌管理指針策定(H10～H14)	土壌作物栄養 土壌作物栄養 土壌作物栄養 土壌作物栄養	終 終 終 終	- - 国庫助成 国庫助成	342 343
188	土壌作物	L-2-1-3 C-2-1-2	(349)果樹桑等の永年作物の土壌管理技術(H10～H14) (1000)りんご園の土壌管理・有機物施用指針策定(H10～H14)	土壌作物栄養 土壌作物栄養	終 終	- 国庫助成	344
189	土壌作物	L-2-1-3 D-1-1-2	(350)施設野菜栽培土壌の塩類集積予防対策と土壌管理技術の確立(H5～H14) (1000)施設栽培における有機物施用基準の策定(H5～H14)	土壌作物栄養 土壌作物栄養	終 終	- 国庫助成	345
190	土壌作物	L-2-2-1	(862)作付け体系及び土壌管理と土壌生態系の関係の解明(H14～H18)	環境保全	新	県単研究	346

小課題No	研究分野	推進構想	研究課題名(課題構成)	担当研究室	実施区分	予算区分	実施No
191	土壌作物	L-2-2-3 K-2-2-2	(324)良質堆肥の有効利用技術の確立(H9~H14) (1000)畜産由来資源の特性解明と有効活用技術の確立(H9~H14) (1300)家畜ふん堆肥のデータベース作成(H9~H14)	土壌作物栄養 土壌作物栄養 土壌作物栄養	終 終 終	- - 令達	347
192	土壌作物	L-2-3-1	(873)水田蓄積養分利用による減肥技術(H14~H15) (1000)乾土効果による土壌窒素無機化量の推定(H14~H15) (2000)土壌の可給態ケイ酸の評価法の適応性検討(H14~H15)	土壌作物栄養 土壌作物栄養 土壌作物栄養	新 新 新	- 国庫助成 国庫助成	348 349
193	病害虫	M-1-1-1	(372)新奇侵入病害虫の診断法と発生生態の解明(H9~H17) (1000)O(H9~H17)	病理昆虫 病理昆虫	継 継	国庫助成 -	350
194	病害虫	M-1-1-1 A-3-2-3	(373)斑点米カメムシの発生生態解明と防除法の確立(H12~H14)	病理昆虫	終	国庫助成	351
195	病害虫	M-1-1-1 D-1-2-2	(716)中山間地域特産物及び花き類の新奇病害虫の生態把握及び防除法技術の開発(H13~H15) (1000)レタスにおけるナモグリバエの発生生態と防除法の確立(H13~H15)	営農技術 営農技術	継 継	- 県単研究	352
196	病害虫	M-1-1-2 D-1-2-2	(731)なす科野菜における青枯病総合防除法技術の確立(H13~H15)	病理昆虫	継	国庫助成	353
197	病害虫	M-1-1-2 C-1-2-3	(733)リング根頭がんしゅ病の発生生態と診断技術(H13~H15)	病理昆虫	継	県単研究	354
198	病害虫	M-1-1-2 E-3-1-4	(734)キク矮化ウイルスの遺伝子診断法の確立(H13~H14)	病理昆虫	終	県単研究	355
199	病害虫	M-1-1-3 A-3-2-3	(382)薬剤耐性菌検定(H12~H15) (1000)イネもみ枯細菌病菌(H12~H15)	病理昆虫 病理昆虫	継 継	- 国庫助成	356
200	病害虫	M-1-1-3 C-1-2-3	(893)薬剤抵抗性発現害虫の実態と対策(H13~H15) (1000)りんごのハダニ類(H13~H15)	病理昆虫 病理昆虫	継 継	- 国庫助成	357
201	病害虫	M-1-2-1 C-1-2-3	(735)リング炭そ病の発生予察技術の開発(H13~H15)	病理昆虫	継	国庫助成	358
202	病害虫	M-1-2-2 A-3-2-3 X-1-3-2	(388)イネいもち病の省力的予察法の確立及び広域の実証(H12~H15 H14)	病理昆虫	終線上	国庫助成	359
203	病害虫	M-1-2-2 E-3-1-4 X-1-3-2	(389)野菜花き病害虫の発生・防除時期予測システムの開発と実証(H10~H14) (1000)りんどう病害虫防除体系の確立と実証(H10~H14)	病理昆虫 病理昆虫	終 終	- 国庫助成	360
204	病害虫	M-1-2-2 X-1-2-1 X-1-2-2	(752)害虫発生予察支援システムの開発(H13~H17)	営農技術	継	県単研究	361
205	病害虫	M-2-1-1 B-2-2-2	(392)あずきウイルス病抵抗性検定試験(S53~H17)	病理昆虫	継	国庫委託	362
206	病害虫	M-2-1-3 D-1-2-2	(398)東北北部中山間畑作地帯におけるキャベツの環境保全型栽培技術の確立(H10~H14) (1000)キャベツ根こぶ病菌密度の推移と発病度の実態解析(H10~H14) (2000)土壌評価に基づく対抗植物を利用したキャベツ根こぶ病発病抑制効果の評価(H10~H14) (3000)キャベツのコナガ寄生蜂導入条件の策定(H10~H14) (4000)検定植物を用いた根こぶ病の簡易菌密度推定法の確立(H10~H14) (5000)CRダイコンを組み込んだ転作体系による減農薬栽培技術の実証(H10~H14) (6000)エンバクを組み込んだ輪作体系による減農薬栽培技術の実証(H10~H14) (7000)短期輪作による環境保全型根こぶ病発生抑止技術の実証と経営的評価(H14~H14)	営農技術 営農技術 営農技術 営農技術 営農技術 営農技術 農業経営	終 終 終 終 終 終 終・新	- 国庫助成 国庫助成 国庫助成 国庫助成 国庫助成 国庫助成	363 364 365 366 367 368 369
207	病害虫	M-3-1-1 C-1-2-3	(838)りんご紫紋羽病の発生実態と新たな防除法の開発(H14~H16) (1000)県内における紫紋羽病の発生実態と病菌の特性解明(H14~H16)	病理昆虫 病理昆虫	新 新	- 県単研究	370
208	病害虫	M-3-1-2	(402)新農薬の効果検定と防除基準作成(H13~H14) (1000)水稲種子消毒剤の大量種子消毒適用性試験(H13~H14) (1100)テクリード水和剤(H13~H14) (2000)県北地域(H9~H17)	病理昆虫 病理昆虫 病理昆虫 営農技術	終 終 終 継	- 民間委託 民間委託	371 372
209	病害虫	M-3-1-2 E-3-1-4	(842)りんどうの萎縮症状の原因解明(H14~H16)	病理昆虫	新	県単研究	373
210	病害虫	M-3-2-1 A-3-2-3	(715)病害虫総合防除法技術の開発(H13~H17) (1000)水稲初期害虫の隔年防除法技術の確立(H13~H17)	病理昆虫 病理昆虫	継 継	- 国庫助成	374
211	病害虫	M-3-2-1 D-1-2-2	(730)きゅうりにおける総合的病害防除法技術の確立(H13~H15)	病理昆虫	継	国庫助成	375

小課題No	研究分野	推進構想	研究課題名(課題構成)	担当研究室	実施区分	予算区分	実施No
221 (続)	生産システム	O-2-2-1 A-3-1-1 N-4-2-2	(2120)ロングマット苗移植圃場における病害虫発生調査(H11～H14)	病理昆虫	終	-	
			(2200)ロングマット苗の貯留・運搬・補給技術の開発(H11～H14)	生産工学 水田作	終 終	国庫助成 国庫助成	406 407
			(2300)ロングマット苗の移植精度向上技術と初期栽培管理技術の開発(H11～H14)	生産工学	終	-	
			(2310)ロングマット水耕苗の初期生育管理技術(H11～H14)	病理昆虫	終	-	
			(3000)大区画圃場におけるロングマット苗移植技術の総合実証(H11～H14)	生産工学	終	-	
			(3100)大区画圃場におけるロングマット苗移植技術の組立実証(H11～H14)	生産工学	終	国庫助成	408
222	農村整備	P-2-1-2	(462)重機の走行がほ場整備後の土壌の均一性に与える影響の解明(H11～H15)	生産工学	継	令達	409
223	農村整備	P-2-1-2	(732)傾斜地畑の土壌流亡防止工法の確立(H13～H15)	生産工学	継	令達	410
224	農村整備	P-2-2-1 A-3-1-3	(895)輪換畑ほ場における暗渠排水管を利用した地下かんがい及び排水技術の確立(H14～H16)	生産工学	新	令達	411
225	農村整備	P-2-2-2 A-3-1-3	(465)北東北重粘土地帯における暗渠排水技術の確立(H12～H14)	生産工学	終	-	
			(1000)簡易で効果的な暗渠排水技術の確立(H12～H14)	生産工学	終	国庫助成	412
			(2000)新暗渠疎水材の実用化(H12～H14)	生産工学	終	国庫助成	413
			(3000)現地実証による効果測定(H12～H14)	生産工学	終	国庫助成	414
226	農村整備	P-3-1-1 A-3-3-1	(800)環境に配慮した農村整備手法の確立(H14～H16)	生産工学	新	県単研究	415
227	農村整備	P-3-1-1 A-3-1-2	(852)寒冷地におけるグラウンドカバープランツの動力吹付緑化工法の実証(H14～H16)	生産工学	新	令達	416
228	地域活性化	R-2-2-2	(702)中山間地域等直接支払制度の活用方策の解明(H13～H15 H14)	農業経営	終線上	県単研究	417
229	やませ利用	S-1-1-2 D-3-1-2 L-2-2-2	(171)大規模畑作における輪作を基本とした園芸作物の普代型安定生産技術体系の確立(H13～H15)	やませ利用	継	-	
			(1000)継続実施可能な有機物施用方法の検索(H13～H15)	やませ利用	継	-	
			(1100)畜産由来有機物利用低コスト土壌改良効果の確認(H13～H15)	やませ利用	継	-	418
			(1200)緑肥を組み入れた普代型モデル輪作体系の実証(H13～H15)	やませ利用	継	-	419
230	やませ利用	S-1-1-2	(482)畑地かんがい地帯における野菜・花き等を組み入れた高収益モデル実証(H13～H15)	営農技術	継	県単研究	420
231	やませ利用	S-2-2-1 D-3-1-2	(713)雨よけほうれんそう大型経営育成のための技術確立(H10～H14)	営農技術	終	-	
			(1000)ほうれんそう収穫機械の開発改良(H10～H14)	営農技術	終	-	
			(1100)遮光方法の検討(H13～H15)	産地育成	継	県単研究	421
			(1200)かん水方法の検討(H13～H15)	産地育成	継	県単研究	422
			(1300)効率的生産のための栽培技術検討(H13～H15)	産地育成	継	県単研究	423
			(2000)省力低コスト化技術体系の組み立て(H13～H15)	営農技術	継	県単研究	424
232	生物機能	T-1-1-3	(499)天蚕の優良系統育成(H1～H17 H14)	病理昆虫	終線上	令達	425
233	生物機能	T-2-1-2	(415)土着天敵群の実態解明とその利用技術(H12～H15)	病理昆虫	継	-	
			(2000)ピーマン害虫に対する総合防除技術の確立(H12～H15)	病理昆虫	継	県単研究	426
234	生物機能	T-2-1-2	(502)人工飼育昆虫の利用技術(H12～H14)	病理昆虫	終	県単研究	427
235	生物機能	T-3-1-3	(742)有用拮抗微生物の探索と評価(H13～H15)	病理昆虫	継	-	
			(2000)昆虫病原ウィルスの利用技術(H13～H15)	病理昆虫	継	県単研究	428
236	有機農業	U-1-2-2 D-2-1-3	(714)キャベツにおける無農薬・無化学肥料栽培技術(H13～H15)	環境保全	継	令達	429
237	有機農業	U-1-2-3 D-1-2-2 M-3-2-1	(521)環境保全型農業の総合組立(H12～H14)	環境保全	終	-	
			(1000)機能水による野菜の病害に対する抑制効果の実証(H12～H14)	環境保全	終	国庫委託	430
238	有機農業	U-1-3-2 A-3-3-1	(523)水稲における環境保全型農業の総合組立(H13～H15)	環境保全	継	-	
			(2000)水稲の減農薬栽培技術の確立(H13～H15)	環境保全	継	-	
			(2100)育苗期における減農薬体系の組立(H13～H15)	環境保全	継	国庫助成	431
			(2200)本田における減農薬栽培の組立(H13～H15)	環境保全	継	国庫助成	432
239	保鮮流通	V-1-2-1 D-3-1-1	(530)各種農産物の品質評価指標の解明(H13～H15)	保鮮流通技術	継	-	
			(2000)寒締め菜っぱの簡易品質評価法(H13～H15)	保鮮流通技術	継	県単研究	433
240	保鮮流通	V-1-2-2 D-2-1-3 L-1-1-3	(531)農産物の各種栄養成分含量と土壌環境条件との関係の解明(H10～H14)	保鮮流通技術	終	-	
			(1000)ほうれんそう内部品質向上のための有機物施用等土壌管理技術の確立(H10～H14)	保鮮流通技術	終	-	
			(1100)肥培管理条件・気象条件等によるほうれんそう内部品質の変化(H10～H14)	保鮮流通技術	終	国庫助成	434

小課題No	研究分野	推進構想	研究課題名(課題構成)	担当研究室	実施区分	予算区分	実施No
241	保鮮流通	V-2-1-1 D-2-1-1	(745)枝豆新品種の鮮度保持技術の確立(H13～H15)	保鮮流通技術	継	令達	435
242	保鮮流通	V-2-1-2 C-2-3-2	(874)西洋なし早期出荷のための予冷・追熟技術の開発(H14～H16)	保鮮流通技術	新	県単研究	436
243	保鮮流通	V-2-3-1	(883)通いコンテナ利用における高鮮度保持技術の確立(H14～H16)	保鮮流通技術	新	県単研究	437
244	農産物加工	W-1-2-2 C-2-3-1	(881)地域特産物加工品による沢ごとオリジナル商品の開発(H14～H16) (1000)「小枝柿」の脱渋技術の確立(H14～H16) (2000)特産作物ハトムギを利用した新規加工品の開発(H14～H16)	保鮮流通技術 保鮮流通技術 保鮮流通技術	新 新 新	- 県単研究 県単研究	438 439
245	農産物加工	W-1-2-2	(996)餅加工品の硬化抑制技術の開発(H14～H14)	保鮮流通技術	終・新	令達	440
246	農産物加工	W-2-1-0	(886)農産物加工品の品質評価法の確立(H13～H14) (1000)地域推奨品流通適正化調査分析(H13～H14)	保鮮流通技術 保鮮流通技術	終	- 令達	441
247	農産物加工	W-3-0-0	(548)加工工房指導業務	保鮮流通技術	継	県単公園	442
248	情報利用	X-1-1-1 B-3-2-3	(855)気象情報を活用した麦収穫適期判定システムの開発(H14～H16)	営農技術	新	県単研究	443
249	情報利用	X-1-1-1	(885)農業気象情報の管理と活用技術の開発(H14～H16) (1000)農業気象観測及び微気象の降霜、地温等の推測手法の開発(H14～H16)	環境保全 環境保全	新 新	- 県単研究	444
250	情報利用	X-3-2-1 N-1-1-0	(751)生産及び流通経済環境の変化に対応した農業経営設計システムの開発(H13～H15) (1000)生産及び流通経済環境の変化に対応した農業経営設計システムの開発(H13～H15) (2000)作物生育適地評価システム開発(H13～H15) (3000)土壌水分予測に基づく効率的かん水技術の開発(H13～H15)	農業経営 農業経営 土壌作物栄養 営農技術	継 継 継 継	- 国庫委託 国庫委託 国庫委託	445 446 447

(3) 要望課題の措置

平成 15 年度に実施を要望する試験研究課題の検討結果

措置区分 A=平成 15 年度実施
B=現在実施中
C=既知見あり
D=次年度実施できない

検討部会	要望 No	要望課題名	要望機関名	要望課題の内容	措置区分	担当研究室
農産 01	39	水稻種子の病害保菌	種苗センター	(1) 水稻種子が病原菌を保菌している場合の育苗期、本田での発病関係の解明(いもち病)	C	病理昆虫 水田作
				(2) その防除対策効果の解明	B C	
農産 02	51	いもち病菌の保菌初率と育苗期・本田での発病の関係の解明	農産園芸課	(1) 検査合格種子におけるいもち病保菌程度と、育苗期、本田におけるいもち病発病との関係を明らかにする	B C	病理昆虫 水田作
農産 03	40	水稻種子の比重選別機械の能力と塩水選の有無	種苗センター	(1) 比重選別機械で精選精度を向上させた種子モミでの塩水選実施の有無 (2) 特に消毒種子を塩水選した場合の効果と薬剤流失の解明	C	病理昆虫 水田作
農産 04	52	水稻消毒済み種子における塩水選の要否の判断指標の確立	農産園芸課	比重選別機精選種子における塩水選の必要性の検討	C	病理昆虫 水田作
園芸畑作 01	28	甲子柿の収穫前落果の発生軽減技術の確立	釜石農業改良普及センター	(1) 収穫 1 ヶ月前から発生する落果の発生原因の解明および発生軽減技術の開発	D	果樹
園芸畑作 02	38	おうとうにおける安定生産技術の開発	二戸農業改良普及センター	(1) 佐藤錦(コルト台木)の樹勢調節対策の検討	C	果樹
				(2) 実用性のあるおうとうわい性台木の検索	A	
園芸畑作 03	41	ラ・フランスの樹上追熟の現地実証試験	石鳥谷認定農業者連絡協議会	ラ・フランスの樹上追熟のための散布薬剤・散布時期・散布濃度が当地域の気象条件に適合した樹上追熟技術の確立	D	果樹
園芸畑作 04	22	耐水性の強い土地利用型農作物の検索・検討	一関農業改良普及センター	一関遊水地内での作付けに適した湿潤且つ冠水被害に耐性ある土地利用型農作物の検索・検討	D	野菜畑作
園芸畑作 05	34	雨よけトマトのかん水施肥技術の高度省力化	二戸農業改良普及センター	雨よけトマト栽培の点滴かん水装置の利用によるかん水施肥技術の確立と全自動化	D	野菜畑作
園芸畑作 06	42	大豆の新品種及び奨励品種の拡大	前沢町認定農業者協議会	(1) 機械体系の対応出来る品種 (2) 脱粒の少ない品種 (3) 何に加工すれば適しているか判る品種 (4) 他県の奨励品種でも良いものは奨励品種に出来ないものか	B	野菜畑作
園芸畑作 07	18	りんどうの除草体系の確立	花巻農業改良普及センター	(1) 除草剤のりんどうへの適用拡大に向けた取り組みと茎葉処理剤と土壌処理剤の組み合わせによる省力的除草体系の確立	A	花き
				(2) 除草剤以外の除草技術(例えばシート類による通路被覆)の開発	D	
園芸畑作 08	24	小ぎくの「白さび病」防除対策の確立と開花調節技術の開発	千厩農業改良普及センター	(1) 「白さび病」抵抗性品種の開発	D	花き
				(2) 「白さび病」防除対策	C	
				ア 耕種的な「白さび病」軽減技術の開発	D	
				イ 「白さび病」に効果の高い粒剤の開発・普及	D	
(1) 開花調節技術の開発・普及	D	花き				
ア 開花促進剤の開発・普及	D					
イ 耕種的な開花調節技術(エスレル処理、電照以外)の開発	B					

検討部会	要望No	要望課題名	要望機関名	要望課題の内容	措置区分	担当研究室
園芸畑作 09	27	トルコギキョウの開花調節技術	遠野農業改良普及センター	トルコギキョウの開花調節技術として短日処理技術があるが、トンネル被覆による高温ロゼットの問題が発生している。簡易な開花調節技術として植調剤(GABA、エスレル等)利用技術について検討して欲しい。	B D	花き
園芸畑作 10	29	りんどうの花芽分化及び開花期と積算温度の関係解明	宮古農業改良普及センター	「イーハトーヴォ」以外の品種での有効積算温度と開花期の関係及び、花芽分化期と積算温度の関係解明	D	花き
園芸畑作 11	57	りんどう・小ぎくの県オリジナル品種の栽培体系の確立	農産園芸課	(1) りんどうの県オリジナル品種別養分吸収特性の把握 (2) 小ぎくの県オリジナル品種別養分吸収特性の把握 (3) りんどう及び小ぎくの県オリジナル品種別病害虫罹病特性の把握 (4) りんどう及び小ぎくの県オリジナル品種の作期ごとの適正な施肥体系及び病害虫防除体系の確立 (5) りんどうの作期ごとの病害虫防除体系の確立 (6) 小ぎくの作期ごとの病害虫防除体系の確立	A C C D C B	土壌作物栄養 専門技術員室 病理昆虫 土壌作物栄養 病理昆虫 病理昆虫 病理昆虫
園芸畑作 12	48	きゅうりハウス半促成、抑制用品種の選抜	全農岩手県本部	(1) 主枝雌花着生率、低温伸長性の優れるもの (2) A品率の高いもの (3) 耐病性のあるもの (4) 良食味のもの	B	野菜畑作
園芸畑作 13	21	電解水による減農薬栽培体系の研究	北上農業改良普及センター	(1) 電解水を利用して殺菌剤の散布回数を減らす体系の確立。 (2) 複合交信攪乱剤との組み合わせによる、総散布回数を減らした防除体系の確立。	D	環境保全
園芸畑作 14	35	野菜生産における化学農薬散布回数の基準化	二戸農業改良普及センター	各品目毎の農薬散布回数の県基準の明確化	B	環境保全
園芸畑作 15	49	雨よけほうれんそうの硝酸態窒素含量の低減栽培法	全農岩手県本部	土壌残存窒素量と施肥法 有機質肥料の施用、化学肥料低減	B	土壌作物栄養
園芸畑作 16	56	消費者ニーズに対応した野菜の内部品質向上技術の確立	農産園芸課	(1) 重点推進品目の内部品質の分析(硝酸態窒素等) (2) 内部品質と栽培技術の関連分析 (3) 内部品質向上のための栽培技術の確立	B A A	保鮮流通技術 土壌作物栄養
園芸畑作 17	15	葉菜類の収穫物に残留する硝酸態窒素抑制栽培法の確立	盛岡農業改良普及センター	(1) ほうれんそう、キャベツの作期別残留硝酸態窒素の状況把握 (2) 作物体の残留硝酸態窒素調査方法(時期・部位)の統一と基準作成 (3) 硝酸態窒素を基準以下で栽培する施肥法の確立	B B B	土壌作物栄養 保鮮流通技術 土壌作物栄養
園芸畑作 18	16	りんどうの容器栽培に適する培養土の組成検索	盛岡農業改良普及センター	りんどう容器栽培に適した生育良好、軽量、安価な培養土の検索	A	土壌作物栄養
園芸畑作 19	17	果樹における施肥体系の改訂	盛岡農業改良普及センター	(1) 現在の春基肥体型と異なる福島山形等の秋施肥体型の確立 (2) 土壌富化成分(リン酸、石灰等)に応じた減肥基準	A D	土壌作物栄養
園芸畑作 20	20	たい肥の投入による大豆の豆腐加工適性への影響	花巻農業改良普及センター	(1) たい肥の連用が大豆のタンパク質含量、脂肪分、灰分、糖含量に与える影響 (2) 栽培条件(追肥の有無、土壌条件等)の違いが豆腐加工適性に与える影響	B	野菜畑作

検討部会	要望No	要望課題名	要望機関名	要望課題の内容	措置区分	担当研究室
園芸畑作 21	31	液状コンポストの土地利用型野菜畑への施用技術の確立	二戸農業改良普及センター	液状コンポストの土地利用型野菜（レタス、キャベツ、スイートコーン）への肥効、作物・作型別適正施用量、環境負荷軽減施用技術等を確立すること	D	営農技術 産地育成 土壌作物栄養
園芸畑作 22	26	ヤーコンの長期貯蔵法の開発	大船渡農業改良普及センター	(1) 貯蔵中の腐敗発生原因の解明・貯蔵法、貯蔵温度等の条件と腐敗発生の関係 (2) 貯蔵法の開発・洗浄、キアリング方法の解明・栽培条件と貯蔵性の解明	A	保鮮流通技術
園芸畑作 23	5	りんごカメムシ類の発生生態と効率的防除法の確立	農業普及技術課	重点加害（防除）時期の解明 「さんさ」を好む原因の解明 生産現場でできる防除時期および防除要否判断基準の確立	A	病理昆虫
園芸畑作 24	23	果樹園で働く女性に優しい病虫害防除指針の作成	一関農業改良普及センター	りんご園で働く作業者が、より快適に管理作業に従事できるような農薬や剤型の選択指針の作成 (1) 安全な農薬（毒性）の選定 (2) りんご植物体との接触による人体付着量や吸入量 (3) 管理作業者の安全作業方法	A C D	病理昆虫
園芸畑作 25	32	リンドウ褐斑病の発生生態と防除対策	二戸農業改良普及センター	(1) リンドウ褐斑病の発生生態の解明 (2) 発生生態に基づいた効果的な防除対策の確立	C D	病理昆虫
園芸畑作 26	33	岩手県におけるトマト重要害虫、アザミウマ類の薬剤抵抗性と感受性	二戸農業改良普及センター	(1) 重要害虫であるアザミウマ類の薬剤抵抗性と感受性 (2) 各生育ステージにおける主要薬剤の薬剤感受性試験	D	病理昆虫
園芸畑作 27	36	環境に優しいトマト栽培技術の確立	二戸農業改良普及センター	葉かび病抵抗性品種を利用した総合的減農薬栽培技術体系の確立	C	病理昆虫
園芸畑作 28	47	夏どりレタスの生産安定技術の確立	全農岩手県本部	(1) 優良品種の選定 良食味、耐病性、高単収の7月どり品種の早急な選定 (2) 高冷地レタス7月どり作型安定生産技術の開発 腐敗病の防除法、栽培法(マルチ、成畦、栽植距離等)の総合的技術の検討	A	産地育成 営農技術 病理昆虫
園芸畑作 29	37	レタス腐敗病に対する総合防除技術の確立	二戸農業改良普及センター	(1) 腐敗病に強い品種の選定 商品性のある耐病性品種の選定 19年度まで (2) 腐敗病に対する効率的な薬剤防除体系の確立 最も効果の高い薬剤防除体系確立 18年度まで (3) 腐敗病に対する抗菌マルチの効果判定 耕種の防除技術として検討 16年度まで (4) 雨よけによる腐敗病の発病抑制実証と簡易雨よけシステムの開発 降雨防止対策による発病抑制効果の実証と簡易降雨防止システムの開発 18年度まで	A	産地育成 営農技術 病理昆虫
園芸畑作 30	55	レタス腐敗病対策技術の確立	農産園芸課	(1) 腐敗病の発生要因の解明 病原菌、土壌条件、栽培条件等 16年度まで (2) 腐敗病防止対策技術の実証試験 品種比較、土壌改良、防除、排水対策 16年度まで (3) 腐敗病対策技術の確立 16年度まで	A	産地育成 営農技術 病理昆虫

検討部会	要望No	要望課題名	要望機関名	要望課題の内容	措置区分	担当研究室
園芸畑作 31	53	ホップ灰色かび病防除薬剤の農薬登録促進に向けた試験の実施	農産園芸課	ホップ灰色かび病防除薬剤の農薬登録促進を図るための効果・残留試験	A	病理昆虫 環境保全
園芸畑作 32	19	雑穀（ヒエ、アワ、キビ）の品種及び栽培条件の違いが機能性成分量に与える影響	花巻農業改良普及センター	(1) ヒエ、アワ、イナキビの機能性成分量の品種間差の解明 (2) 畑作と水田作等栽培法の違いがヒエとイナキビの機能性成分量に与える影響の解明	A B	保鮮流通技術 やませ利用
園芸畑作 33	14	りんごの散水氷結法と多目的かん水技術の確立について	二戸農村整備事務所	(1) 散水氷結法による防霜の確立 (2) 多目的かん水技術の確立 (3) 揺動方式スプリンクラーによる防霜技術の検討と開発	C	専門技術員室
畜産 01	1	食品廃棄物の再生利用における技術的課題の解決	流通課	食品廃棄物の肥料化・飼料化及びその利用技術の開発	A B C	家畜育種 専門技術員室 保鮮流通技術
畜産 02	10	ほ乳ロボットの活用方法及び多回ほ乳による育成方法の検討	畜産課	(1) ほ乳ロボットの活用方法の確立 (2) ほ乳ロボットを活用した多回ほ乳による育成方法の確立	A	家畜飼養
畜産 03	46	ほ乳ロボットを応用した省力管理技術の確立	全農岩手県本部	(1) ほ乳ロボット活用技術の確立と実証展示 (2) 搾乳ロボット、自動給餌システムに加え省力化システムの一環としてほ乳作業の省力化に取り組む	A	家畜飼養
畜産 04	9	自給飼料を基幹とした生産技術体系の確立	畜産課	(1) 寒冷地における省力飼料生産技術体系の確立 (2) 自給飼料多給型家畜飼養技術体系の確立	A B	飼料生産 家畜育種 農業経営
畜産 05	12	たい肥腐熟促進剤等の効果の検討	久慈地方振興局農政部	微生物資材等各種たい肥添加資材の効果検討（施用効果の整理と経費、効果発行条件の把握） シリカブラックの添加効果検討（たい肥の物性等の変化、作物生産への効果、珪酸濃度の変化とその効果）	D	営農技術 飼料生産 土壌作物栄養
総合 01	44	過去に県内で発生した農業気象災害と技術対応のデータベース化	岩手県農業共済組合連合会	過去に発生した農業気象災害発生状況、技術対策、優良事例等のデータベース化	D	企画情報室 専門技術員室
総合 02	45	航空写真を利用したほ場情報等の整備	岩手県農業共済組合連合会	航空写真を利用したほ場別の作物作付情報、災害発生等のマップ化と関係機関・団体での情報共有化	D	企画情報室 土壌作物栄養 病理昆虫
総合 03	2	地域ぐるみ農業推進のための収益配分モデルの開発	農業振興課	(1) 特定農業法人等、地域ぐるみ農業組織における収益配分方式の解明 (2) 地域ぐるみ農業組織における収益配分モデルの開発	B	農業経営
総合 04	3	農家民宿開業の条件	農業振興課	(1) 都市住民のニーズ調査・民泊の実態分析 (2) 先進地に見る農家民宿成功の要因分析 (3) 農家民宿の経営指標	D (財政課 査定による)	農業経営
総合 05	4	農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針に掲げる指標の点検について	農業振興課	(1) 今後の農業情勢の展望を踏まえた基本方針に掲げる所得目標、営農類型、生産方式等のあり方の検討。 (2) 基本方針に掲げる所得目標確保のための営農類型として農産加工部門の位置付けの検討	D	農業経営
総合 06	8	IT（情報技術）活用による新たな生産流通システムの導入手法の確立	農業普及技術課	産地直売施設を対象にIT活用による生産流通システムのモデル実証を行いこのシステムの県内普及性について検討する。	A	農業経営

検討部会	要望No	要望課題名	要望機関名	要望課題の内容	措置区分	担当研究室
総合07	54	野菜作経営における労力支援体制の確立	農産園芸課	(1) 農協等の関係機関が果たすべき役割等の解明、ヘルパーを導入するための経営条件と導入効果 (2) 被雇用者・雇用者双方の求める条件、品目別条件等の解明 (3) ヘルパーの導入による経営拡大モデル、労力支援マニュアル等の作成	B	農業経営
総合08	50	岩手県内農耕地土壌のカドミウム含量の精査と農作物によるカドミウム吸収の実態及びその吸収軽減対策の確立	全農岩手県本部	(1) 県独自に県内耕地土壌のカドミウム濃度の精査 (2) 各作物に対する実用性の高いカドミウム吸収軽減対策の確立	A	環境保全
総合09	7	農作物中カドミウム濃度の低減化技術の確立	農業普及技術課	(1) 玄米中カドミウム濃度の耕種的低減技術の確立 (2) 水稲以外の食用農産物中のカドミウム濃度の実態把握と低減化技術の確立	A	環境保全
総合10	11	病害の発生から見た畑かん用水の安全性について	農村振興課	畑地帯総合整備事業等で整備した畑かん用水の病害の発生から見た安全性について確認する。対象地区、用水は(略)	C D	病理昆虫 環境保全
総合11	13	富栄養化が懸念されるダム等の水質汚濁防止対策と水質浄化法の確立について	二戸農村整備事務所	(1) ダム湖における栄養塩類収支の把握 (2) 土壌流出対策の確立 (3) ダム湖水を作物に散布した場合の影響調査	B B C A	環境保全 生産工学 病理昆虫 環境保全技術
総合12	25	畑地かんがい整備事業地区におけるかんがい水の利用について	千厩農業改良普及センター	(1) 使用の可否の検討 (2) 使用不可の際の対処法 ア 野菜へのかん水 イ 葉面散布 ウ 薬剤散布用水 エ 菌床しいたけへの散水 オ 家畜の飲用	C D C	病理昆虫 企画情報室 専門技術員室 飼料生産
総合13	6	内分泌攪乱作用を有する疑いのある農薬代替技術の確立	農業普及技術課	内分泌攪乱作用を有する疑いのある農薬代替技術の確立	A B D	病理昆虫
総合14	30	岩泉町、田野畑村の堆肥工場生産された堆肥の使用方法について	宮古農業改良普及センター岩泉地域普及所	(1) 外部機関の指導による堆肥施用量について実証・検討が必要である。 (2) 上記に関連して、全面施用、溝施用等の作物ごとの検討が必要である。	C	専門技術員室
総合15	45	「とまと」の粕漬けの開発	九戸村認定農業者連絡協議会	生食用「とまと」の粕漬け方法の開発	C	専門技術員室

4 共同研究の推進

(1) 地域基幹農業技術体系化促進研究

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	主査研究室
東北地域における環境保全型農業を基幹とした重要野菜の安定生産技術	福島農試	10～14	キャベツ根こぶ病を対象とした耕種的対策を含めた総合防除による栽培管理技術の確立	営農技術
寒冷地北部地域における超省力水稲生産技術と地域営農システム	青森農試 秋田農試 宮城農セ	11～14	寒冷地北部地域の気象条件下での水稲の直播栽培技術及び同技術を導入した地域営農システムの確立	水田作
ロングマット苗移植・不耕起乾田直播を導入した省力・低コスト生産技術	長野農総試 埼玉農総研 茨城農総セ	11～14	水稲のロングマット苗移植・不耕起乾田直播技術を導入した低コスト高生産性水田営農体系を確立	生産工学
不耕起・無中耕・無培土栽培を基幹とした大豆の超省力安定栽培技術	栃木農試 愛知農総試	11～15	不耕起・無中耕・無培土技術を中心とした超省力栽培体系の確立による転換畑大豆作の規模拡大	野菜畑作
中山間地域における産地マーケティングに基づく特産的高付加価値農産物生産技術	青森畑園試 秋田農試	11～15	地域資源を活用した高付加価値農産物の生産・流通システムの確立	農業経営
市場評価向上を目指した黒毛和種肥育素牛の集約放牧技術	北海道畜試 青森畜試 福島畜試	11～15	放牧肥育素牛の発育改善、肥育成績向上のための技術対策	外山畜産
新素材新省力技術を基幹とした高品質・値頃感りんごの生産技術	青森りんご試 山形園試 長野果樹試	12～16	食味本位の果実を安定して省力的に生産・供給する技術の確立	果樹
寒冷地における立毛間播種機利用による麦・大豆輪作技術の確立	宮城古川農試 山形農試	13～17	東北部地域での立毛間播種機利用による小麦・大豆輪作技術の確立	生産工学
地域資源活用による乳牛の生涯生産性向上に向けた飼養技術の確立	北海道畜試 青森畜試 秋田畜試 宮城畜試 福島畜試	14～18	資源循環型の高品質な自給粗飼料生産技術、高能力牛の飼養管理技術の確立	飼料生産

(2) 先端技術等地域実用化研究促進事業

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
優良種畜の安定的大量生産技術の開発	北海道畜試 山梨酪農試 兵庫中央農セ 広島畜技セ 鳥根畜試 徳島畜試 熊本農研セ	10～15	高能力牛胚の大量生産や家畜改良における世代間隔短縮のための核移植技術の開発	家畜工学
りんごわい化栽培における省力・安定生産のためのJM台木利用・早期成園化技術の開発	秋田果樹試 宮城農・園総合研 福島果樹試 長野果樹試	11～15	挿し木繁殖性に優れ、高品質果実生産が期待できるJM系わい性台木を利用した低樹高栽培法の確立	果樹
寒冷地における枝物花木類の栽培技術体系の確立	山形園試 福島農試 鳥取園試	12～16	寒冷地に適した露地向け花き品目である枝物花木類の栽培技術の確立	花き
大区画水田における低コスト・効果的暗渠排水による汎用化技術の確立	千葉農試 茨城農業総合セ 埼玉農試	12～14	北東部地方における汎用化水田のための簡易で効果的な暗渠排水技術の確立	生産工学

(3) 21世紀型農業経営モデル実証試験

課 題 名	振興局 (市町村名)	研 究 期 間	実 証 研 究 課 題	担 当 研 究 室
畑地かんがい地域における野菜、花き等の高収益モデル実証	盛岡 (岩手町)	13～15	(1)有機質資源の活用指針の作成 (2)効率の高い稲作・転作営農技術の確立 (3)土壌水分予測に基づく効率的かん水技術の開発	営農技術
水田を活用した持続的作付体系及び優良種苗の安定確保によるサトイモ産地強化の実証	北上 (北上市)	13～15	(1)根腐病対策を中心とした水田活用による持続型作付体系の実証 (2)優良種苗の現地選抜	野菜畑作 応用生物 病理昆虫
大規模ほ場整備地区におけるほ場畦畔の雑草抑制と景観形成技術確立	水沢 (胆沢町)	13～15	(1)町委託事業への参画による有望 GCP の検討 (2)有望 GCP の増殖管理技術の検討	水田作 生産工学
水田地帯における園芸生産の高度・安定化「いちご栽培における省力技術の導入による高度生産化」	一関 (花泉町)	13～15	(1)新品種導入に際する技術支援 (2)短日処理技術実証に係る技術支援 (3)導入技術に対する経営モデル確立	南部園芸
東磐井地区における園芸省力安定生産モデル経営の実証	千厩 (大東町)	13～15	(1)トマト点滴かん水施肥栽培技術の実証確立	南部園芸
ほ場整備地区における園芸団地形成に向けた農業経営の確立	大船渡 (陸前高田市)	13～15	(1)農業経営モデルの分析・評価	農業経営
雨よけほうれんそうの大型経営確立による産地拡大	遠野 (遠野市)	13～15	(1)ほうれんそう大型経営の栽培技術実証	野菜畑作 産地育成
沿岸中山間地域における花き周年生産モデルの確立	宮古 (宮古市)	13～15	(1)トルコギキョウの良品生産技術の指導 (2)スプレーギクの日長管理技術の指導 (3)オリエンタル系ゆりの良品生産技術の指導 (4)ストックの良品生産技術の指導 (5)花き周年栽培モデル体系の確立	花き
大規模畑作における輪作を基本とした園芸作物の普及型安定生産技術体系の確立	久慈 (普代村)	13～15	(1)野菜・緑肥を中心とした輪作体系の確立 (2)灌漑施設を利用した野菜安定栽培技術の確立 (3)新規開発畑における土壌管理・輪作マニュアルの策定 (4)経営感覚に優れた主業型農家の育成	やませ利用 農業経営 営農技術
県北中山間地域における花き品目導入による農業経営の確立実証	二戸 (一戸町)	12～14	(1)秋だしパンジー栽培技術の確立 (2)花壇苗周年生産技術の確立 (3)花き栽培施設を有効活用した山菜促成栽培の実証	産地育成

(4) 岩手県生物工学研究所との共同研究

課 題 名	担当研究室
いもち病抵抗性関連遺伝子を導入した水稻の耐病性評価	応用生物工学
DNA マーカーを用いた水稻特性検定法の確立	水稻育種 応用生物工学
りんどう病原ウイルス (CMV 等) の検出・診断技術の利用	応用生物工学
トマト黄化えそウイルス (TSWV) の検出・診断技術の確立及び利用	応用生物工学
アグロバクテリウム・リゾジェネス A4 菌を用いた矮化リンドウの特性評価	応用生物工学 花き
耐病性関連遺伝子を導入したりんごの糸状菌病抵抗性評価	応用生物工学
リンゴ根頭がんしゅ病菌の検出・診断技術の確立と利用	病理昆虫 応用生物工学
ピーマン病原ウイルス (PMMoV) の検出・診断技術及び系統解析技術の利用	応用生物工学
ナス科作物青枯病菌の検出・診断技術の利用	応用生物工学

(5) 大学との共同研究

課 題 名	相手方	研究期間	研 究 の 内 容	担当研究室
カイコ及び野蚕からの新規機能性物質の利用開発	岩手大学	12～	カイコの抗カビ性物質や天蚕の休眠制御物質、天蚕フィブロインからの化粧水等の新機能性物質と関連化合物を農業生産場面で効率的に利用する方法と医療場面で有効に活用する方法を開発する。	病理昆虫
イネ・ゲノムシミュレータの開発	京都大学 岩手大学	13～15	(独)農業生物資源研究所を中心に組み込まれている「イネ・ゲノムシミュレータの開発」において、多地点品種比較試験を分担し、シミュレータ開発及び遺伝子・環境相互作用解析のためのデータを得る。	水稻育種

(6) AFR研究会

ア 研究会

名 称	構 成	研究期間	担当研究室
花卉育種研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	10～	花き 応用生物工学 産地育成
昆虫機能利用研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター、岩手医大、生物工学研究所	10～	病理昆虫 病害虫防除課 営農技術
植物育種研究会	岩手大学農学部、教育学部、生物工学研究所、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター	10～	水稻育種
農作物ウイルス病診断防除研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	10～	病理昆虫
機能性食品研究会A(雑穀)	岩手大学農学部、大学院連合農学研究科、工業技術センター、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、二戸農業、浄法寺農業、カナン牧場、(株)ミッシェル、花巻起業化支援センター	10～	やませ利用
機能性食品研究会B(豆腐)	岩手大学農学部、工業技術センター、岩手県農業研究センター、黒川食品(株)、花巻起業化支援センター	10～	野菜畑作
農作業システム自動化研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	10～	生産工学
家畜人工授精技術促進研究会	岩手大学農学部、岩手県家畜人工授精士協会、岩手県農業研究センター畜産研究所	10～	家畜工学
乳牛の周産期疾患研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター畜産研究所、小岩井農牧、日本金葉工業	10～	家畜飼養
水稻栽培研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	11～	水田作 やませ利用
果樹栽培研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	11～	果樹
リンドウ研究会	岩手大学農学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、安代町花き開発センター	11～	応用生物工学
植物耐冷性研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター、生物工学研究所	12～	水稻育種 水田作
雑穀の病害虫に関する研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	12～	病害虫防除課 病理昆虫 営農技術
ホップの機能性研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	11～	所長
有機質資源循環利用研究会	岩手大学農学部、工業技術センター、岩手県農業研究センター	12～	飼料生産 生産工学 土壌作物栄養
始原生殖細胞(PGCs)利用研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター畜産研究所、小岩井農牧	13～	家畜育種

名 称	構 成	研究期間	担当研究室
里地・里山生物多様性研究会	岩手大学人文社会科学部、県立博物館、(社)岩手県植物防疫協会、環境保健研究センター、岩手県農業研究センター	14～	環境保全 病理昆虫
硝酸性窒素動態研究会	岩手大学農学部、岩手県立大学総合政策学部、環境保健研究センター、農業普及技術課、岩手県農業研究センター	14～	環境保全 土壌作物栄養 専門技術員室
食品廃棄物の飼料化研究会	岩手大学農学部、東北農業研究センター、工業技術センター、岩手県農業研究センター-畜産研究所	14～	家畜育種 飼料生産

イ AFR協議会等の開催

開催月日	場 所	内 容
14. 8. 2	農業研究センター	(1) AFR 協議会 現状評価、今後の活動予定、報告事項 (2) 成果報告会 60名出席 5成果を報告 (3) 交流会 25名出席
14.11.29	岩手大学	シンポジウム 「農業分野における産学官連携のあり方」 「イネの自然変異 - ポストゲノム時代の新たな研究資源 - 」

(7) その他の共同研究

課 題 名	相手方	研究期間	研 究 の 内 容	担当研究室
野菜の内部品質向上対策のための品質評価に関する研究	全農岩手県本部	13～15	(1) 野菜の内部品質評価のための簡易分析法開発及び成分変動要因の解析 (2) 化学分析による成分評価及び県産野菜の成分実態調査	保鮮流通技術
黒毛和種及び日本短角種における経済形質に関わるゲノム解析研究	(社)畜産技術協会	13～	岩手県種雄牛の半兄弟家系を作成し、DNA マーカーによる連鎖解析を行い、経済形質遺伝子座を明らかにする。また、劣性遺伝病について、発病牛家系の DNA マーカーによる連鎖解析を行い、原因となる遺伝子座を明らかにする。	家畜工学
ダイオキシン類の植物における吸収移行特性の解明	農業環境技術研究所	14	(1) ウリ科作物中のダイオキシン類濃度の分析とリスク評価に関する研究 (2) ウリ科作物中のダイオキシン類の吸収移行に及ぼす栽培管理方法等の影響解析に関する研究	環境保全
降霜予測手法の開発	横河電子機器(株)	14～16	(1) 降霜現象を気象因子から解析し、降霜推定式を開発する。 (2) 降霜現象を客観的に自動でモニタリングする手法を開発する。	環境保全
重イオンビーム照射による新品種(水稲、タネ)の育成 (夢県土いわて創造研究事業) 可能性調査研究	(財)岩手生物工学研究センター	14	(1) 重イオンビームにおける情報収集 (2) 重イオンビームの照射におけるスターチス及び水稲への供試条件の調査	応用生物学
食品製造過程における動植物残渣の有効利用技術に関する調査 (夢県土いわて創造研究事業) 可能性調査研究	工業技術センター 水産技術センター 岩手県食品産業協議会	14	(1) 食品製造過程における動植物性残渣のリサイクル技術の抱える課題のリストアップ (2) 製造・加工業の再利用技術事例調査 (3) 残渣のリサイクル技術の課題解決に向けた開発研究の可能性調査	保鮮流通技術
生物遺伝資源交換に関する研究協定	(独)農業生物資源研究所	14～24	(1) 植物、動物、微生物の生物遺伝資源及び DNA の相互交換	-

(8) その他産学官連携行事

名称	開催月日	場 所	内 容
産学官フォーラム in 東和	14.11.27	東和町	(1) 産学官連携強化支援機関の紹介（農研センターほか） (2) 企業講演会「企業の人づくり」盛岡地域職業訓練センター (3) 交流会
産学官フォーラム in 花巻	15. 1.17	花巻市	(1) 講演「岩手大学が取り組む産学官連携について」岩手大学長 (2) パネルディスカッション「花巻地域産業の将来像を語る」 (3) 交流会
産学官フォーラム in 滝沢	15. 2. 7	盛岡市	(1) 基調講演「産学連携による農業分野の地域振興」 (2) パネルディスカッション「産学官連携による地域振興」 (3) 各産業支援機関の紹介（農研センターほか） (4) 意見交換会

5 現地試験の実施

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 研 究 室
県南沿岸地域の小規模農業地域における地域農業再編モデルの策定	大船渡市	浜田川	企画経営情報部 農業経営研究室
奨励品種決定現地調査 (水稲)	雫石町	上野	農産部 水田作研究室
〃	紫波町	星山	〃
〃	西根町	大更	〃
〃	花巻市	矢沢	〃
〃	沢内村	前郷	〃
〃	胆沢町	小山	〃
〃	江刺市	稲瀬	〃
〃	花泉町	花泉	〃
〃	千厩町	千厩	〃
〃	遠野市	青笹	〃
〃	山田町	豊間根	〃
〃	陸前高田市	竹駒町	〃
〃	種市町	宿戸	〃
〃	浄法寺町	浄法寺	〃
〃	紫波町	南日詰	〃
〃	一関市	巖美町	〃
水稲糯品種の高品質安定生産技術の確立 (糯新品種「岩南糯 19 号」の栽培法)	紫波町	南日詰	水田作研究室
〃	紫波町	平沢	〃
〃	紫波町	彦部	〃
県産米の品質・食味レベルアップ現地栽培実証 (純情米総合実証展示ほ)	前沢町	古城要害	水田作研究室
〃	一関市	中里	〃
〃	水沢市	佐倉河	〃
〃	江刺市	稲瀬	〃
〃	東和町	前田	〃
〃	花巻市	西宮野目	〃
〃	北上市	飯豊	〃
〃	胆沢町	北大畑	〃
〃	雫石町	西安庭	〃
〃	石鳥谷町	中寺林	〃
〃	西根町	田頭	〃
〃	金ヶ崎町	永栄林崎	〃
〃	矢巾町	東徳田	〃
〃	九戸村	荒屋	〃
〃	遠野市	青笹	〃
寒冷地北部におけるホールクロップサイレージ用イネの栽培実証 (21世紀プロ3系)	紫波町	片寄	水田作研究室、 飼料作物研究室
北上川流域地帯における水稲湛水点播直播機栽培技術の確立	花巻市	宮野目	水田作研究室 生産工学研究室 土壌作物栄養研究室

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 研 究 室
大区画水田整備圃場における圃場畦畔の雑草抑制と景観形成技術の確立	胆沢町		水田作研究室 生産工学研究室
不良環境地帯向け水稻品種の育成	沢内村	高下	水稻育種研究室
ドレンレイヤー工法現地実証試験	花巻市	鍋倉	生産工学研究室
重機の走行がほ場整備後の土壌均一性に与える影響の解明	宮守村	宮守川上流	生産工学研究室
〃	江刺市	袖野	〃
〃	胆沢町	いさわ南部	〃
ロングマット水耕苗現地実証試験	北上市	滑田	生産工学研究室
〃	石鳥谷町	新堀	
麦・大豆立毛間播種栽培の現地実証	北上市	和賀町	生産工学研究室
ネギの省力機械化体系確立実証	花巻市	太田	生産工学研究室
J M台木の現地適応性試験	二戸市		園芸畑作部 果樹研究室
〃	宮古市		〃
〃	矢巾町		〃
〃	江刺市		〃
〃	花泉町		〃
リンゴ育種系統の現地適応性試験	二戸市		果樹研究室
〃	宮古市		〃
〃	矢巾町		〃
〃	江刺市		〃
〃	花泉町		〃
食味本位リンゴ栽培体系化実証試験	紫波町		果樹研究室
麦類奨励品種決定現地調査	紫波町	水分	野菜畑作研究室
〃	東山町	長坂	〃
大豆奨励品種決定現地調査	前沢町	古城	野菜畑作研究室
〃	藤沢町	要害	〃
不耕起大豆の超省力安定栽培技術の確立	玉山村	門前寺	野菜畑作研究室
〃	北上市	相去	〃
はとむぎの優良品種選定現地試験	東和町	南川目	野菜畑作研究室
〃	衣川村	八地	〃
水田を活用した持続的体系及び優良種苗の確保によるサトイモ産地強化の実証	北上市	二子	野菜畑作研究室
雨よけほうれんそうの大型経営確立による産地拡大	遠野市	小友	野菜畑作研究室

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 研 究 室
沿岸中山間における花き周年生産モデルの確立	宮古市	老木	花き研究室
りんどう品種育成に係る現地調査	石鳥谷町	北寺林	花き研究室
小ぎく品種育成に係る現地調査	北上市	江釣子	花き研究室
鉢物りんどうの栽培試験に係る現地調査	北上市	稲瀬	花き研究室
りんどうこぶ症の発生要因の解明	石鳥谷町	戸塚	花き研究室
水田地帯における園芸生産の高度安定化 「イチゴ栽培における省力技術導入による高度生産化」 東磐井地方における園芸省力安定生産モデル経営の実証 「トマト点滴かん水施肥栽培技術の実証」	花泉町	永井	南部園芸研究室
	大東町	大原	南部園芸研究室
有機農業栽培実態調査 (有機農産物生産条件の解明)	胆沢町	若菜	生産環境部 環境保全研究室
〃	矢巾町	広宮沢	〃
〃	松尾村	松尾	〃
水稻栽培における減農薬栽培の組立実証 (水稻の減農薬栽培技術の確立)	江刺市	稲瀬	環境保全研究室
リンゴ炭疽病の感染時期の検討および防除試験 (リンゴ炭疽病の発生予察技術の確立)	一関市	蔵美	病害虫部 病理昆虫研究室
リンドウ褐斑病の感染時期の検討および防除試験 (リンドウ病害虫防除体系の確立と実証)	花巻市	湯口	病理昆虫研究室
リンゴ紫紋羽病の防除試験 (リンゴ紫紋羽病の発生実態と新たな防除技術の開発)	江刺市	米里	病理昆虫研究室
〃	花泉町	金沢	〃
〃	岩泉町	乙茂	〃
〃	二戸市	米沢	〃
〃	久慈市	広野	〃
〃	藤沢町		〃
トマト青枯病防除試験 (なす科野菜青枯病の総合防除技術の確立)	江刺市	愛宕	病理昆虫研究室
複合交信攪乱剤利用りんご園における散布回数削減病害虫防除体系の確立と実証	江刺市	小倉沢	病理昆虫研究室
寒冷地北部におけるホールクroppサイレージ用イネの栽培実証	紫波町	志和	畜産研究所 飼料生産研究室
奥中山地域における液状コンポスト調製利用システムの確立	一戸町	奥中山	飼料生産研究室
北上山地における黒毛和種肥育素牛育成技術の現地実証	遠野市	貞任	外山畜産研究室
いわてっこの生育診断指標	岩手町	一方井	県北農業研究所 営農技術研究室
〃	一戸町	小鳥谷	〃
〃	軽米町	山内	〃
大規模普通畑作物の経営実証	軽米町	晴山	営農技術研究室
土壌水分予測に基づく効率的かん水技術の開発	岩手町	一方井	営農技術研究室
ほうれんそう収穫・調製機械の開発・改良	西根町	田頭	営農技術研究室

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 研 究 室
奥中山地域における液状コンポストの調製利用システムの確立	一戸町	奥中山	営農技術研究室
新肥料の実用化	軽米町	晴山	営農技術研究室
〃	軽米町	山内	〃
〃	九戸村	伊保内	〃
東北北部中山間畑作地帯におけるキャベツの環境保全型栽培技術の確立	西根町	上坊	営農技術研究室
ヒエ・アワの乾燥調製法	軽米町	軽米	営農技術研究室
県北地域の水稲栽培における有機質資材の化学肥料代替利用法の確立	軽米町	山内	営農技術研究室
畑地かんがい地域における野菜、花き等の高収益モデル実証	岩手町	一方井	営農技術研究室
ダイコンの品種選定	大野村	帯島	産地育成研究室
レタスの品種選定(予備試験)	一戸町	奥中山	産地育成研究室
県北中山間地域における花き品目導入による農業経営の確立実証	一戸町	小友	産地育成研究室
地域資源を活用した高付加価値農産物の生産・流通システムの確立	二戸市	上斗米	産地育成研究室
新肥料の実用化(リンドウ)	軽米町	山内	産地育成研究室
いわてっこの栽培法検討	久慈市	小久慈	やませ利用研究室
〃	遠野市	青笹	〃
ヒエの水田移植栽培実証	軽米町	軽米	やませ利用研究室
大規模畑作における輪作を基本とした園芸作物の普代型安定生産技術体系の確立	普代村	和野山	やませ利用研究室

III 試験研究の成果

1 試験研究成果

成果区分	水稲	畑作物	果樹	野菜	花き	畜産	総合	総計
普及	7	4	4	6	4	4	1	30
指導	12	1	3	7	2	11	2	38
行政	5			1		6	2	14
研究	6	2	6	9	3	5	4	35
計	30	7	13	23	9	26	9	117

試験研究成果の区分

- 1 普及（普及に移しうる成果）
農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果。
- 2 指導（技術指導に参考となる成果）
普及員等指導者の技術指導上の参考として適当と認められる成果。
- 3 行政（行政施策等に反映すべき成果）
行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの。
- 4 研究（技術開発に有効な成果）
新しい技術の試みで、今後の試験研究により技術に仕上げられる可能性のあるもの及び技術の基礎的知見、研究手法等に関するもの。

(1) 成果区分別一覧

〔普及（普及に移しうる成果）〕

分野	成果 No.	成 果 名
水稲	1	水稲オリジナル品種「もち美人」の栽培法
	2	代かき同時打ち込み点播機を用いた水稲湛水直播栽培法
	3	平成 15 年度雑草防除基準に採用した水稲除草剤
	4	代かき同時打ち込み点播機の播種ロール改良による作業性向上効果
	5	発酵鶏糞主体の有機配合肥料による水稲減化学肥料栽培に対応した施肥法
	6	生物農薬「シュードモナス CAB-02 水和剤」の特性と使用上の留意点（追補）
	7	イブコナゾール水和剤による水稲種子の大量消毒法
畑作	8	だいず不耕起播種機の作業特性
	9	品種 小麦 製パン適性が高く耐病性に優れる「ゆきちから」
	10	品種 大麦 精麦品質が優れ早生・良質の「ファイバースノウ」
	11	ひえの乾燥・調製技術
果樹	12	品種 りんご 9月下旬に成熟する省力的な黄色品種「岩手6号」
	13	りんごわい性台木「JM1」,「JM7」の挿し木繁殖安定技術
	14	「JM1」,「JM7」台木の接ぎ木挿しによるりんごわい性苗木の短期育成法
	15	落花期～6月下旬におけるりんご褐斑病の防除

分野	成果 No.	成 果 名
野菜	16	雨よけトマトの点滴灌水施肥栽培における施肥量低減
	17	トマトの翌日出荷のための予冷方法
	18	MA包装で、えだまめ品種「ちゃげ丸」の食味の良さが保たれる
	19	交信攪乱剤利用によるキャベツのコナガ防除
	20	ほうれんそう計量・包装機の作業特性と省力効果
	21	収量が多く春・初夏播きに適するほうれんそう品種「プリウス」
花き	22	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM5」(黄色 スプレー咲き)
	23	品種 秋ぎく系小ぎく「CM10」(白色 スプレー咲き)
	24	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM12」(赤紫色 スプレー咲き)
	25	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM15」(白色 スプレー咲き)
畜産	26	肉量・肉質に優れた県産黒毛和種種雄牛「 ^{まぐしげふく} 菊重福」「 ^{ほらしげ} 第3原茂」の作出
	27	発育・肉質に優れた日本短角種優良種雄牛「 ^{かつとみ} 勝富」の作出
	28	品種 乾物収量性に優れた飼料用とうもろこし早生品種「36B08(パイオニア106日)」
	29	品種 乾物収量性(雌穂)に優れた飼料用とうもろこし中生品種「33J24(パイオニア112日)」
総合	30	平成15年度病害虫防除基準に採用した主な殺虫剤、殺菌剤

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果 No.	成 果 名	
水稲	1	「代かき同時打ち込み点播機を用いた水稲湛水直播栽培法」の経営的評価	
	2	平成14年における水稲生育の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	
	3	平成14年7月の台風6号による水稲冠水被害の解析	(1)被害時の気象と冠水の状況
	4		(2)冠水被害によって発生した葉枯れの要因
	5		(3)冠水が収量・品質に及ぼす影響
	6		(4)冠水被害地域に流入した土壌の特徴
	7	水稲ロングマット水耕苗移植技術	
	8	ドレンレイヤー工法による暗渠排水技術	
	9	農薬廃液処理装置による水稲種子消毒剤の廃液処理対策と導入条件	
	10	岩手県の防除体系における米の農薬残留	
	11	温湯浸漬法による水稲種子消毒	
	12	SDS抽出法による土壌可給態窒素量の簡易推定法	
畑作	13	だいず膨化菓子は二段階膨化法で品質が良くなる	
果樹	14	葉取らずりんごの流通段階別評価	
	15	りんごにおける携帯型非破壊品質評価装置の利用法	
	16	りんご苗木に発生した根頭がんしゅ病の発生原因と防除対策	
野菜	17	キュウリべと病急増初期のジメトモルフ水和剤散布は発病増加を抑制できる	
	18	キュウリうどんこ病の増加は炭酸水素塩剤散布により抑制できる	
	19	トマト青枯病は初発株を除去すると被害拡大を回避できる	
	20	いちごの高設栽培における栽培槽の大きさと栽植距離	
	21	雨よけほうれんそう生体中硝酸含量の小型反射式光度計を用いた分析法	
	22	思い切った減肥でほうれんそう中の硝酸含量を減少させる	
	23	県北地域におけるコマツナの冬期安定生産技術	

分野	成果 No.	成 果 名
花き	24	中山間地域の生産に適する宿根草・花木の実需者ニーズ
	25	育苗中のりんどう苗を加害するクロバネキノコバエ類の防除対策
畜産	26	黒毛和種の若齢肥育におけるビタミンAコントロールを用いた効率的肥育技術
	27	0.1Mトレハロース添加 1.8M エチレングリコールを耐凍剤とした凍結胚の生存性
	28	黒毛和種の地域別枝肉成績
	29	日本短角種の育種価評価
	30	日本短角種における早期妊娠鑑定と子宮内薬液注入による受胎率改善
	31	乳用育成牛（育成中期）のペレニアルライグラス草地における集約放牧による発育効果
	32	集約放牧を組み入れた飼養管理技術による高位乳生産ならびに周産期病予防
	33	初乳および子牛血清中免疫グロブリン濃度の検討による初乳の必要給与量について
	34	尿道結石症の陰囊前方切開による治療法
	35	イワテハヤチネを利用した F1 母豚及び三元交雑豚の組み合わせ検定
	36	ロックウール脱臭装置排水のオーチャードグラスに対する液肥施用効果
	総合	37
38		氷雪と真空断熱パネルを利用した利雪型簡易高湿予冷庫の開発

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果 No.	成 果 名
水稲	1	中山間地域等直接支払制度による集落類型別の活動の特徴
	2	平成 15 年度水稲奨励品種決定本調査・現地調査新規供試系統
	3	平成 14 年度水稲奨励品種決定本調査・現地調査結果
	4	平成 15 年度水稲新配布系統（候補系統）
	5	岩手県の水稲栽培における化学合成資材投入の慣行レベル
野菜	6	野菜作経営を対象とした労力支援事業の取り組み状況
畜産	7	黒毛和種放牧子牛に対する県内肥育農家の意識
	8	DNA マーカーによる個体識別法の牛肉への応用
	9	黒毛和種産肉能力検定（直接法）成績
	10	黒毛和種産肉能力検定（間接法）成績
	11	日本短角種産肉能力検定（直接法）成績
	12	日本短角種産肉能力検定（間接法）成績
総合	13	特産品づくりのキー・ポイント
	14	岩手県の農業分野における窒素収支の特徴

【研究(研究開発に有効な成果)】

分野	成果 No.	成 果 名
水稲	1	大型水田作法人経営の機械作業を効率的に行うポイント
	2	水田作を主とする農業生産法人の経営発展に伴う組織形成
	3	湛水深の違いによる水田雑草の発生様相
	4	代かき時期の違いによる水田雑草発生の差異
	5	水稲主要品種の浸種温度の発芽への影響
	6	マイクロサテライトマーカーを利用した水稲奨励品種の識別
	7	DNA マーカー利用による水稲の DNA 解析法の効率化
	8	稲いもち病真性抵抗性遺伝子 <i>Pii</i> に連鎖する DNA マーカーの作出
畑作	9	雑穀に関する技術開発等の視点
	10	ひえ、あわ、きびの精白による成分の変動
果樹	11	生育期後半におけるりんご品種の斑点落葉病の抵抗力の低下
	12	りんご育成系統「岩手10号」の果実特性
	13	有機酸を対象としたりんごの新摘花剤検索
	14	ぶどう育成系統「岩手2号」、「岩手3号」の果実特性
	15	成長調節剤を用いた西洋なし「ラ・フランス」の樹上追熟効果の検討
	16	画像解析によるわい性台りんご樹の栄養診断法
野菜	17	露地きゅうり病害の総合防除
	18	キュウリホモブシス根腐病の発生実態と診断のポイント
	19	弱毒ウイルス接種苗の利用によるキュウリモザイク病の防除効果
	20	露地きゅうり栽培におけるべと病およびうどんこ病に対する酸性電解水の防除効果
	21	施設ピーマンにおけるヒメハナカメムシ製剤の放飼時期の目安
	22	レタス腐敗病に対する数種薬剤の防除効果
	23	県中南部におけるねぎ主要害虫の発生消長と防除モデル
	24	肥効調節型肥料を用いたキャベツの全量基肥畦内局所施肥技術
	25	菌密度 発病度曲線 (DRC) を利用したキャベツ根こぶ病防除要否の判定法
	26	オガクズ牛ふんたい肥を施用すると露地野菜畑 (非アロフェン黒ボク土壌) で化学肥料単用よりも窒素溶脱を軽減できる
	27	非アロフェン質黒ボク土における雨よけほうれんそうでのオガクズ牛ふんたい肥の効果
花き	28	枝物・花木の実需者の仕入特性
	29	越冬芽利用によるえぞりんどうの増殖法
	30	りんどうの新病害「黒斑病」の発生状況
畜産	31	ウシの核移植再構築胚における染色体数
	32	黒毛和種放牧子牛の発育に及ぼす要因について
	33	日本短角種における筋肉肥大 (Double Muscling) 原因遺伝子型と産肉性との関連
	34	ロボット搾乳牛とパーラー搾乳牛における分娩後の繁殖機能に関するパラメーターの比較結果
	35	家畜の未熟堆肥を連年多量施用したとうもろこし畑における土壌及び作物成分の推移

(2) 外部評価結果一覧

【普及（普及に移しうる成果）】

（A:提出可、B:一部修正、C:大幅修正、D:提出不可）

分野	No	成果名	委員数	総合評価				
				A	B	C	D	評価せず
水稲	1	水稲オリジナル品種「もち美人」の栽培法	4	1(25%)	3(75%)			
	2	代かき同時打ち込み点播機を用いた水稲湛水直播栽培法	4	3(75%)	1(25%)			
	3	代かき同時打ち込み点播機の播種ロール改良による作業性向上効果	4	2(50%)	2(50%)			
	4	発酵鶏糞主体の有機配合肥料による水稲減化学肥料栽培に対応した施肥法	4	2(50%)	2(50%)			
	5	生物農薬「シュードモナス CAB-02 水和剤」の特性と使用上の留意点（追補）	4	3(75%)	1(25%)			
畑作	6	だいず不耕起播種機の作業特性	15	2(67%)	1(33%)			
	7	品種 小麦 製パン適性が高く耐病性に優れる「東北214号」	3	3(100%)				
	8	品種 大麦 精麦品質が優れ早生・良質の「ファイバースノウ」	3	1(33%)	2(67%)			
	9	ひえの乾燥・調製技術	3	3(100%)				
果樹	10	品種 りんご 9月下旬に成熟する省力的な黄色品種「岩手6号」	2	1(50%)	1(50%)			
	11	りんごわい性台木「JM1」、「JM7」の挿し木繁殖安定技術	2	1(50%)	1(50%)			
	12	「JM1」、「JM7」台木の接ぎ木挿しによるりんごわい性苗木の短期育成法	2	1(50%)	1(50%)			
	12	落花期～6月下旬におけるリンゴ褐斑病の防除	2	1(50%)	1(50%)			
野菜	14	雨よけトマトの点滴灌水施肥栽培における施肥量低減	3	3(100%)				
	15	トマトの翌日出荷のための予冷方法	3	3(100%)				
	16	MA包装でえだまめ品種「ちゃげ丸」の食味の良さが保たれる	3	3(100%)				
	17	交信攪乱剤利用によるキャベツのコナガ防除	3	3(100%)				
	18	ほうれんそう計量・包装機の作業特性と省力効果	3	3(100%)				
	19	収量が多く春・初夏播きに適するほうれんそう 品種「プリウス」	3	3(100%)				
花き	20	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM5」(黄色 スプレー咲き)	1	1(100%)				
	21	品種 秋ぎく系小ぎく「CM10」(白色 スプレー咲き)	1	1(100%)				
	22	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM12」(赤紫色 スプレー咲き)	1	1(100%)				
	23	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM15」(白色 スプレー咲き)	1	1(100%)				
畜産	24	肉量・肉質に優れた県産黒毛和種種雄牛「菊重福」「第3原茂」の作出	7	6(86%)	1(14%)			
	25	発育・肉質に優れた日本短角種優良種雄牛「勝富」の作出	7	6(86%)	1(14%)			
	26	品種 乾物収量性に優れた飼料用とうもろこし早生品種「36B08(パイオニア106日)」	7	5(71%)	2(29%)			
	27	品種 乾物収量性(雌穂)に優れた飼料用とうもろこし中生品種「33J24(パイオニア112日)」	7	5(71%)	2(29%)			

【指導（技術指導に参考となる成果）】

（A:提出可、B:一部修正、C:大幅修正、D:提出不可）

分野	No	成果名	委員数	総合評価				
				A	B	C	D	評価せず
水稲	1	「代かき同時打ち込み点播機を用いた水稲湛水直播栽培法」の経営的評価	4	2(50%)	1(25%)	1(25%)		
	2	平成14年7月の台風6号による水稲冠水被害の解析	(1) 被害時の気象と冠水の状況	4	2(50%)	1(25%)	1(25%)	
	3		(2) 冠水被害によって発生した葉枯れの要因	4	3(75%)	1(25%)		
	4		(3) 冠水が収量・品質に及ぼす影響	4	3(75%)		1(25%)	
	5		(4) 冠水被害地域に流入した土壌の特徴	4	3(75%)	1(25%)		
	6	水稲ロングマット水耕苗移植技術	4	1(25%)	3(75%)			
	7	ドレンレイヤー工法による暗渠排水技術	4	3(75%)	1(25%)			
	8	農薬廃液処理装置による水稲種子消毒剤の廃液処理対策と導入条件	3	3(100%)				
	9	岩手県の防除体系における米の農薬残留	3	3(100%)				
	10	温湯浸漬法による水稲種子消毒	4	2(50%)		2(50%)		
	11	SDS 抽出法による土壌可給態窒素量の簡易測定法	3	2(67%)	1(33%)			
畑作	12	だいず膨化菓子は二段階膨化法で品質が良くなる	3	2(67%)	1(33%)			
果樹	13	葉取らずりんごの流通段階別評価	3	1(33%)	2(67%)			
	14	りんごにおける携帯型非破壊品質評価装置の利用法	2		2(100%)			
	15	りんご苗木に発生した根頭がんしゅ病の発生原因と防除対策	2	1(50%)	1(50%)			
野菜	16	キュウリバと病急増初期のジメトモルフ水和剤散布は発病増加を抑制できる	3	3(100%)				
	17	キュウリうどんこ病の増加は炭酸水素塩剤散布により抑制できる	3	3(100%)				
	18	トマト青枯病は初発株を除去すると被害拡大を回避できる	3	3(100%)				
	19	いちごの高設栽培における栽培槽の大きさと栽植距離	3	3(100%)				
	20	雨よけほうれんそう生体中硝酸含量の小型反射式光度計を用いた分析法	3	3(100%)				
	21	思い切った減肥でほうれんそう中の硝酸含量を減少させる	3	2(67%)	1(33%)			
	22	岩手県の水稲栽培における化学合成資材投入の慣行レベル	3	3(100%)				
花き	23	中山間地域の生産に適する宿根草・花木の実需者ニーズ	1		1(100%)			
	24	育苗中のりんどう苗を加害するクロパネキノコバエ類の防除対策	1	1				
畜産	25	黒毛和種の若齢肥育におけるビタミンAコントロールを用いた効率的肥育技術	7	6(86%)	1(14%)			
	26	0.1M トレハロース加 1.8M エチレングリコールを耐凍剤としたダイレクト胚の作成方法	7	5(71%)	2(29%)			
	27	黒毛和種の地域別枝肉成績	7	6(86%)	1(14%)			
	28	日本短角種の育種価評価	7	6(86%)	1(14%)			
	29	日本短角種における早期妊娠鑑定と子宮内薬液注入による受胎率改善	7	5(71%)	2(29%)			
	30	乳用育成牛(育成中期)のペレニアルライグラス草地における集約放牧による発育効果	7	6(86%)	1(14%)			
	31	集約放牧を組み入れた飼養管理技術による高位乳生産ならびに周産期病予防	7	5(71%)	2(29%)			
	32	初乳および子牛血清中免疫グロブリン濃度の検討による初乳の必要給与量について	7	6(86%)	1(14%)			
	33	尿道結石症の陰囊前方切開による治療法	7	7(100%)				
	34	イワテハヤチネを利用した F1 母豚及び三元交雑豚の組み合わせ検定	7	6(86%)				1(14%)
	35	ロックウール脱臭装置排水のオーチャードグラスに対する液肥施用効果	7	6(86%)	1(14%)			
総合	36	県内家畜ふん堆肥の成分特性の変化	3	1(33%)	2(67%)			
	37	雪と真空断熱パネルを利用した利雪型簡易高湿予冷庫の開発	3	1(33%)	2(67%)			

【行政（行政施策等に反映すべき成果）】 （A:提出可、B:一部修正、C:大幅修正、D:提出不可）

分野	No	成果名	委員 数	総合評価				
				A	B	C	D	評価せず
水稲	1	岩手県の水稲栽培における化学合成資材投入の慣行レベル	3	3(100%)				
野菜	2	野菜作経営を対象とした労力支援事業の取り組み状況	3	3(100%)				
畜産	3	黒毛和種放牧子牛に対する県内肥育農家の意識	7	4(57%)	3(43%)			
	4	DNA マーカーによる個体識別法の牛肉への応用	7	6(86%)	1(14%)			
総合	5	中山間地域等直接支払制度による集落類型別の活動の特徴	3	2(67%)	1(33%)			
	6	特産品づくりのキー・ポイント	3	1(33%)	2(67%)			
	7	岩手県の農業分野における窒素収支の特徴	3	2(67%)	1(33%)			

2 フォローアップ

<平成11年度研究成果>

回答数 (延べ数)	県庁・出先機関	272
	農業改良普及センター	706
	農業団体	45

(単位：%)

No	研究 成 果 名	この成果を知っているか			実際に活用したか	
		知って いる	他の成果 として	初めて 知った	はい	いいえ
【普及(普及に移しうる成果)】						
1	品種 酒米「岩手酒52号(ぎんおとめ)」	100	0	0	86	14
2	酒造好適米品種「吟ぎんが」の栽培法	100	0	0	56	44
3	平成12年度雑草防除基準に採用した水稻除草剤	94	0	6	94	6
4	水田除草剤ジャンボ剤(バック)による水田雑草の防除法	100	0	0	82	18
5	キャベツ栽培における乗用型野菜移植機の作業特性	83	8	8	9	91
6	平成12年度雑草防除基準に採用した果樹除草剤	94	6	0	75	25
7	りんご「きおう」に対するジクロルクロップ液剤の落果防止効果	100	0	0	100	0
8	簡易な受粉機械によるりんご人工授粉の効率化	100	0	0	88	12
9	品種 えだまめ「滝系C8(ちゃげ丸)」	100	0	0	80	20
10	品種 えだまめ「滝系C11(ぶっくらこ)」	100	0	0	80	20
11	品種 スイートコーン「味来390」	72	17	11	47	53
12	キャベツの早春まき6月どり栽培技術	86	14	0	43	57
13	品種 アマランサス「関東2号(ニューアステカ)」	60	40	0	40	60
14	栄養系鉢物りんどうの品質向上のための挿し穂調整法	100	0	0	100	0
15	安価で使いやすい天蚕採卵容器	100	0	0	0	100
16	家蚕繭層を利用したつむぎ生糸の製造方法	80	0	20	0	100
17	農業経営設計システム「クーボー博士」	93	0	7	58	42
18	土壌蓄積リン酸を活用した水稻のリン酸施肥基準	94	0	6	76	24
19	平成12年度病害虫防除基準に採用した主な殺虫剤、殺菌剤	100	0	0	94	6
20	簡易湿度コントロール装置によるハウスの湿度制御と灰色かび病防除効果	86	0	14	29	71
21	天敵(オンシツツヤコバチ)を利用した施設トマトのオンシツコナジラミ防除	86	0	14	50	50
22	ゆり切り花の貯蔵技術	83	0	17	33	67
23	平成12年度雑草防除基準に採用した飼料用とうもろこし用除草剤「ハロスルフロンメチル水和剤」	83	0	17	80	20
24	品種 飼料用とうもろこし極早生品種「ニューデント90日(LG2290)」	100	0	0	55	45
25	品種 飼料用とうもろこし極早生品種「ニューデント95日(DK405)」	100	0	0	55	45
26	品種 飼料用とうもろこし早生品種「ゴールデンデントDK474」	100	0	0	55	45
27	品種 飼料用とうもろこし晩生品種「32K61(バイオニア122日)」	100	0	0	55	45
28	県有優良種有牛「福利桜」「糸美徳」の作出	94	0	6	56	44
29	ロールベールラップサイレージの簡易品質評価法	100	0	0	13	87

No	研究 成 果 名	この成果を知っているか			活用したいか	
		知って いる	他の成果 として	初めて 知った	は い	いいえ
【 指 導 (技 術 指 導 に 参 考 と な る 成 果) 】						
1	平成 11 年における水稲生育の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	96	0	4	87	13
2	岩手県の農業用水の水温実態	83	0	17	100	0
3	米の品質判定機 (RN-500) の特徴と活用法	89	0	11	93	7
4	米の成分分析計 (AN-800) の特徴と活用法	89	0	11	100	0
5	大区画圃場における流入専用肥料施用法 - 液肥 - (追補)	100	0	0	100	0
6	新しい水稲育苗培土 (中・成苗用) の実用性	93	0	7	79	21
7	転作田での弾丸暗渠と明渠の組合せによる営農排水効果	93	0	7	73	27
8	キャベツ及びびくさい栽培におけるチェーンポット苗全自動移植機の作業特性	67	11	22	13	87
9	りんご「ふじ」に対する摘葉剤の効果	94	6	0	81	19
10	近赤外線利用によるりんご「ふじ」の蜜入りの非破壊判定法	100	0	0	75	25
11	りんごわい化栽培における計画密植栽培の評価	94	0	6	81	19
12	キャベツの 5 ~ 6 月どり越冬栽培技術	71	29	0	14	86
13	雨よけトマトのセル苗直接定植における仕立法	100	0	0	60	40
14	カラーピーマンの品種別特性	80	0	20	60	40
15	野菜畑における地力維持のための大豆緑肥利用	80	0	20	50	50
16	なばな「はるの輝」の簡易低温処理法	100	0	0	67	33
17	春まきダイコン品種の播種早限の推定	75	13	13	100	0
18	キャベツの種子重量が生育に与える影響	83	0	17	64	36
19	アマランサス、キビ、アワを組み入れた普通畑作物の大型機械化体系	80	0	20	89	11
20	醸造用二条大麦の春まき栽培における品種適応性	100	0	0	50	50
21	ハウス小ぎくの不耕起による年 2 回出し作型	67	0	33	67	33
22	沖縄系秋ぎくタイプ小ぎくの作型	67	0	33	0	100
23	県北地域におけるグラウンドカバープランツの有望品目とその特性	100	0	0	75	25
24	土地利用型花木 (ツルウメモドキ、ノイバラ) の栽培方法と出荷時期	88	0	12	81	19
25	桑の発芽・開葉予測プログラム	100	0	0	25	75
26	水田における大規模大豆団地形成のための取り組み	85	8	8	92	8
27	堆きゅう肥利用に関する耕種農家の意向と流通促進方策	69	3	28	96	4
28	農産物直売所に対する利用客の購買行動と意識	77	0	23	92	8
29	平成 11 年の夏期高温が農作物に及ぼした影響	100	0	0	88	12
30	小型反射式光度計による硝酸態窒素の簡易測定	93	0	7	92	8
31	夏穫りほうれんそうにおける萎ちょう症状の産地別発生要因	100	0	0	80	20
32	褐斑病に対するりんご品種の罹病性	100	0	0	100	0
33	アカスジカスミカメによる斑点米被害と水田内ヒエ類との関係	93	0	7	100	0
34	ミカンキイロアザミウマの発生調査法	67	33	0	100	0
35	アマランサスに発生する害虫と防除対策	71	0	29	86	14
36	販売用農産物加工品のラベル作成方法	71	0	29	94	6

No	研 究 成 果 名	この成果を知っているか			活用したいか	
		知って いる	他の成果 として	初めて 知った	は い	いいえ
37	日本短角種産肉能力検定（直接法）成績	100	0	0	71	29
38	日本短角種産肉能力検定（間接法）成績	100	0	0	0	100
39	黒毛和種県有種雄牛「恒菊」産子の産肉能力	63	13	25	43	57
40	バイパス油脂給与が黒毛和種去勢牛の産肉性に及ぼす影響	50	0	50	33	67
41	新ランドレース種系統豚F1母豚の繁殖能力	100	0	0	83	17
42	搾乳ロボットの運用実績	100	0	0	100	0
43	飼料用とうもろこし推奨品種の改廃と早晩性配置	100	0	0	100	0
44	ロックウール脱臭装置における排水対策（排水循環法）	83	0	17	83	17
45	牧草地における炭化鶏糞の利用性	100	0	0	0	100
46	県有種雄牛産子の市場上場時成績	79	3	18	91	9
【行政（行政施策等に反映すべき成果）】						
1	平成11年度水稲奨励品種決定調査本調査・現地調査結果	100	0	0	88	12
2	泥炭水田への客土による均平作業能力	50	33	17	100	0
3	レーザー均平機を用いた均平作業能力	56	22	22	88	12
4	農作業事故の発生実態と防止策	50	11	39	88	12
5	小麦有望系統「東北206号（ネバリゴシ）」の生育特性	100	0	0	100	0
6	平成11年度繭品質評価成績	50	17	33	80	20
7	農産物直売所を対象とした有機農産物等の取り組み実態と消費者の意識	100	0	0	100	0
8	需要拡大に向けたスプレータイプ切り花りんどうの草姿	65	0	35	63	37
9	首都圏と盛岡市におけるリンゴの選好度について	78	0	22	81	19
10	日本短角牛肉に関する県内外食産業・精肉店の意向	75	0	25	78	22
11	農業労働力推計フォーム	58	0	42	83	17
12	なばな「はるの輝」の購買決定要素	61	0	39	69	31
13	新規参入就農者の就農動機	50	0	50	93	7
14	栄養繁殖系りんどうのウイルスフリー化及び選抜	100	0	0	100	0
15	県内主要農産物の農薬残留実態	100	0	0	100	0
16	県北地域における異常高温による露地野菜への影響と畑地かんがいの効果	100	0	0	100	0
17	黒毛和種産肉能力検定（間接法）成績	94	0	6	94	6

小数点以下ラウンドのため、合計が100%にならない場合がある。

3 東北農業試験研究成果

< 研究成果情報 >

(1) 研究成果数

	東北農業研究成果情報	東北地域新しい技術シリーズ	研究成果選シリーズ候補
水稲	2 *	1 *	-
畑作	1	2 *	-
果樹	2 *	1	-
野菜花き	4 *	1	-
畜産	1	1	1
生産環境	9 *	3	-
作業技術	3 *	3 *	1
生物工学	1	1	-
流通・加工	4	1	-
経営	2 *	1	-
計	29	15	2

* 複数部会に共通な成果

ア 水稲 作業技術

(ア) 寒冷地における代かき同時打ち込み式湛水点播直播の播種量

(イ) 代かき同時打ち込み点播機の播種ロール改良による作業性向上効果

イ 畑作 作業技術

(ア) だいず不耕起播種機の作業特性

(イ) ひえの乾燥・調整技術

ウ 野菜 - 作業技術

(ア) ほうれんそう調整・計量・包装体系の作業特性と省力効果

エ 果樹 - 生産環境

(ア) 画像解析によるわい性りんご樹の栄養診断法

オ 花き - 経営

(ア) 中山間地域の露地生産に適する宿根草・花木の実需者ニーズ

(2) 研究成果

部会名	部会 No	区分	成果名 (下段：県の成果名)	分類	主査研究室
水稲	11	主要	水稲の最高分けつ期頃の冠水が生育・収量・品質に及ぼす影響 〔平成14年7月の台風6号による水稲冠水被害の解析〕 (3) 冠水が収量・品質に及ぼす影響	技術・参考 (指)-5	水田作
	12	主要	寒冷地における代かき同時打ち込み式湛水点播直播の播種量 (代かき同時打ち込み点播機を用いた水稲湛水直播栽培法)	技術・普及 (普)-2	水田作
	13	新技術	代かき同時打ち込み点播機の播種ロール改良による作業性向上効果 (代かき同時打ち込み点播機の播種ロール改良による作業性向上効果)	技術・普及 (普)-4	生産工学
畑作	1	主要	だいず不耕起播種機の作業特性 (だいず不耕起播種機の作業特性)	技術・普及 (普)-8	生産工学
	2	新技術	岩手県における高製パン適性小麦新品種「ゆきちから」の採用 (品種 小麦 製パン適性が高く耐病性に優れる「ゆきちから」)	技術・普及 (普)-9	野菜畑作
	3	新技術	ひえの乾燥・調整技術 (ひえの乾燥・調整技術)	技術・普及 (普)-11	営農技術

部 会 名	部 会 No	区 分	成 果 名 (下段：県の成果名)	分 類	主 査 研 究 室
果 樹	3	新技術	リンゴJ M台木の接ぎ木挿におけるマルチ、腋芽処理、追肥の効果 〔「JM1」、「JM7」台木の接ぎ木挿によるりんごわい性苗木の短期育成法〕	技術・普及 (普)-14	果樹
	4	主要	リンゴわい化栽培園における果樹園用局所施肥機の利用性 (果樹園用局所施肥機(試作機)の機能と特徴)	技術・参考 H13(研)-5	果樹
	5	主要	画像解析によるわい性台りんご樹の栄養診断法 (画像解析によるわい性台りんご樹の栄養診断法)	科学・参考 (研)-16	土壌作物栄養
野 菜 ・ 花 き	5	主要	雨よけトマトの点滴灌水施肥栽培における施肥量低減 (雨よけトマトの点滴灌水施肥栽培における施肥量低減)	技術・参考 (普)-16	野菜畑作
	6	主要	こまつなの冬期安定生産技術 (県北地域におけるコマツナの冬期安定生産技術)	技術・参考 (指)-23	産地育成
	7	成果選 新技術	ほうれんそう調整・計量・包装体系の作業特性と省力効果 (ほうれんそう計量・包装機の作業特性と省力効果)	技術・普及 (普)-20	営農技術
	25	新技術	スプレータイプ小ぎく品種「CM系」4品種の育成とその特性 〔品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM5」(黄色 スプレー咲き) 品種 秋ぎく系小ぎく「CM10」(白色 スプレー咲き) 品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM12」(赤紫色 スプレー咲き) 品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM15」(白色 スプレー咲き)〕	技術・普及 (普)-22 (普)-23 (普)-24 (普)-25	花き
	26	主要	中山間地域の露地生産に適する宿根草・花木の実需者ニーズ (中山間地域の生産に適する宿根草・花木の実需者ニーズ)	科学・参考 (指)-24	農業経営
畜 産	4	主要	ロックウール脱臭装置排水のオーチャードグラスに対する液肥施用効果 〔ロックウール脱臭装置排水のオーチャードグラスに対する液肥施用効果〕	技術・参考 (指)-36	飼料生産
	5	成果選 新技術	尿道結石症の陰嚢前方切開による治療法 (尿道結石症の陰嚢前方切開による治療法)	技術・普及 (指)-34	家畜育種
生 産 環 境	5	新技術	水稲防除体系における米の残留農薬は基準値以下で安全である (岩手県の防除体系における米の農薬残留)	行政・参考 (指)-10	環境保全
	6	主要	発酵鶏糞主体の有機配合肥料による水稲減化学肥料栽培に対応した施肥法 〔発酵鶏糞主体の有機配合肥料による水稲減化学肥料栽培に対応した施肥法〕	技術・参考 (普)-5	土壌作物栄養
	7	主要	SDS抽出法による土壌可給態窒素量の簡易推定法の黒ぼく地帯への適用 (SDS抽出法による土壌可給態窒素量の簡易推定法)	技術・参考 (指)-12	土壌作物栄養
	8	主要	岩手県におけるリンドウ褐斑病の発生生態に基づく防除適期 (りんどう褐斑病の発生生態と防除時期)	技術・参考 H13(指)-37	病理昆虫
	9	新技術	りんどう苗を加害するクロバネキノコバエ類の発生様相と防除対策 (育苗中のりんどう苗を加害するクロバネキノコバエ類の防除対策)	技術・普及 (指)-25	病理昆虫
	10	主要	交信攪乱剤利用によるキャベツ殺虫剤散布回数の削減 (交信攪乱剤利用によるキャベツのコナガ防除)	技術・参考 (普)-19	営農技術
	11	主要	農薬廃液処理装置による水稲種子消毒剤の除去性能と導入条件 (農薬廃液処理装置による水稲種子消毒剤の廃液処理対策と導入条件)	科学・参考 (指)-9	環境保全
	12	新技術	岩手県における水稲主要病害虫の被害発生の地域性とリスク (岩手県の水稲栽培における化学合成資材投入の慣行レベル)	技術・参考 (行)-5	環境保全
	13	主要	露地きゅうり栽培におけるべと病およびうどんこ病に対する酸性電解水の防除効果 〔露地きゅうり栽培におけるべと病およびうどんこ病に対する酸性電解水の防除効果〕	科学・参考 (研)-20	環境保全
	14	主要	画像解析によるわい性台りんご樹の栄養診断法 (画像解析によるわい性台りんご樹の栄養診断法)	科学・参考 (研)-16	土壌作物栄養
	15	主要	雨よけほうれんそうでのオガクズ牛ふんたい肥の効果 〔オガクズ牛ふんたい肥を施用すると露地野菜畑(非アロフェン黒ボク土壌)で化学肥料単用よりも窒素溶脱を軽減できる〕	科学・参考 (研)-26	土壌作物栄養

部 会 名	部 会 No	区 分	成 果 名 (下段：県の成果名)	分 類	主 査 研 究 室
	16	主要	根こぶ病の発病度とキャベツ調整重の関係 (菌密度 発病度曲線(DRC)を利用したキャベツ根こぶ病防除要否の判定法)	技術・参考 (研)-25	営農技術
作 業 技 術	3	新技術	代かき同時打ち込み点播機の播種ロール改良による作業性向上効果 (代かき同時打ち込み点播機の播種ロール改良による作業性向上効果)	技術・普及 (普)-4	生産工学
	4	主要	寒冷地における水稲ロングマット水耕苗育苗・移植技術 (水稲ロングマット水耕苗移植技術)	技術・普及 (指)-7	生産工学
	5	主要	だいでず不耕起播種機の作業特性 (だいでず不耕起播種機の作業特性)	技術・普及 (普)-8	生産工学
	6	新技術	ひえの乾燥・調製技術 (ひえの乾燥・調製技術)	技術・普及 (普)-11	営農技術
	7	成果選 新技術	ほうれんそう計量・包装機の作業特性と省力効果 (ほうれんそう計量・包装機の作業特性と省力効果)	技術・普及 (普)-20	営農技術
	8	主要	重粘土地帯におけるドレンレイヤー工法の施工コストと効果 (ドレンレイヤー工法による暗渠排水技術)	行政・普及 (指)-8	生産工学
生 物 工 学	1	新技術	イネいもち病真性抵抗性遺伝子 <i>Pii</i> に連鎖するDNAマーカーの作出 (稲いもち病真性抵抗性遺伝子 <i>Pii</i> に連鎖するDNAマーカーの作出)	科学・普及 (研)-8	生物工学
	2	主要	越冬芽利用によるえぞりんどうの増殖法 (越冬芽利用によるえぞりんどうの増殖法)	技術・普及 (研)-29	生物工学
流 通 ・ 加 工	3	主要	だいでず膨化菓子は二段階膨化法で品質が良くなる (だいでず膨化菓子は二段階膨化法で品質が良くなる)	技術・普及 (指)-13	保鮮流通技術
	4	主要	ひえ、あわ、きびの精白によるミネラル及びポリフェノール含量の変動 (ひえ、あわ、きびの精白による成分の変動)	科学・参考 (研)-10	保鮮流通技術
	5	主要	氷雪と真空断熱パネルを利用した利雪型簡易高湿予冷庫の開発 (氷雪と真空断熱パネルを利用した利雪型簡易高湿予冷庫の開発)	技術・参考 (指)-38	保鮮流通技術
	6	新技術	雨よけほうれんそう生体中硝酸含量の小型反射式光度計を用いた分析法 (雨よけほうれんそう生体中硝酸含量の小型反射式光度計を用いた分析法)	技術・参考 (指)-21	保鮮流通技術
	7	主要	アミロース含量が低いひえ系統のデンプン糊化特性 (ひえ、あわ、きびのでんぷん特性)	科学・参考 H13(研)-2	保鮮流通技術
経 営	4	新技術	特産品づくりのキー・ポイント (特産品づくりのキー・ポイント)	行政・参考 (行)-13	農業経営
	5	主要	中山間地域の露地生産に適する宿根草・枝物花木の実需者ニーズ (中山間地域の生産に適する宿根草・花木の実需者ニーズ)	技術・参考 (指)-24	農業経営
	6	主要	中山間地域等直接支払制度による集落活動の特徴 (中山間地域等直接支払制度による集落類型別の活動の特徴)	行政・参考 (行)-1	農業経営

主 要：「主要研究成果情報」
 新技術：「新しい技術シリーズ」
 成果選：「研究成果選シリーズ」

IV 試験研究成果の発表

1 試験成績書等刊行物

資料番号	表題名	発行年月	ページ数
I S S N 1346 - 4035	岩手県農業研究センター研究報告 第3号	15. 3	136
企画経営 14 - No. 1	特定研究開発促進事業地域基幹農業技術体系化促進研究 中山間地域における産地マーケティングに基づく特産の高付加 価値農産物の生産技術 平成 13 年度試験研究成績書	14.10	178
企画経営 14 - No. 2	平成 14 年度岩手県農業研究センター試験研究成果	14. 2	256
企画経営 14 - No. 3	平成 14 年度 21 世紀型農業経営モデル実証試験地事業 現地支援実証試験成績	14. 4	85
園芸 13 - No. 1	平成 13 年度 試験成績書 (果樹研究室)	14.10	225
園芸 13 - No. 3	平成 13 年度 試験成績書 (花き研究室)	15. 3	76
園芸 9 - No. 5	平成 9 年度 試験成績書 (南部園芸研究室)	15. 3	76
園芸 10 - No. 5	平成 10 年度 試験成績書 (南部園芸研究室)	15. 3	71
園芸 11 - No. 5	平成 11 年度 試験成績書 (南部園芸研究室)	15. 3	91
園芸 12 - No. 5	平成 12 年度 試験成績書 (南部園芸研究室)	15. 3	92
園芸 13 - No. 5	平成 13 年度 試験成績書 (南部園芸研究室)	15. 3	69
	果菜類長期安定出荷マニュアル「いちご」	15. 3	30
環境 14 - No. 1	平成 14 年度 試験成績書 (環境保全研究室)	15. 3	200
環境 14 - No. 2	平成 10・11・12 年度 試験成績書 (土壌作物栄養研究室)	15. 3	270
環境 13 - No. 2	農産物加工による起業	14. 3	126
	平成 11 年度 病害虫研究室試験成績書	15. 3	154
畜産 14 - No. 1	平成 14 年度 試験成績書 (畜産研究所)	15. 3	127
農産 14 - No. 1	平成 14 年度 水稻除草剤試験成績書	14.10	43
農産 14 - No. 2	平成 13 年度 試験成績書 (水田作研究室)	14.11	193
農産 14 - No. 3	平成 13 年度 水稻品種育成試験成績書 (水稻育種研究室)	15. 3	191
農産 14 - No. 4	平成 15 年度 水稻新配布系統成績書	15. 3	17

2 学会等研究報告

部 所 研究室名	発表者 氏 名	学 会 研究会名	開 催 年月日	発 表 課 題 名	発表誌,巻(号) 掲載ページ,発行年月
企画経営情報部 農業経営研究室	菅原 豊司 他 1 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	地域資源の特産品化に対する担 当者の意識と評価項目	東北農業研究第 55 号, 285-286,14.12
	佐藤 嘉彦	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	葉とらずリンゴ販売成立条件	東北農業研究第 55 号, 301-302,14.12
	菅原 豊司	第 38 回東北農 業経済学会	14. 8.22	岩手県産ウルイの試食による嗜 好の変化	口頭発表
	細田 耕平	第 30 回東北農 村生活研究大 会	14. 9. 6	主業型農家経営実態調査 - 農業改良普及センターが支 援対象としている主業型農家の 姿 -	ポスターセッション
農産部 水田作研究室	尾形 茂 他 2 名	東北雑草研究 会	14. 9. 3	水稲湛水直播栽培におけるノビ エ・イヌホタルイの葉齢進展モ デル	口頭発表
水稲育種研究室	仲條 真介 他 1 2 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	水稲新奨励品種「もち美人」の 特性	東北農業研究第 55 号, 3-4,14.12
応用生物学 研究室	星 伸枝 他 1 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	スターチス・シヌアータ「アイ スター」シリーズの種苗増殖技 術	東北農業研究第 55 号, 255-256,14.12
	星 伸枝 他 1 名	北日本病害虫 研究会	15. 2.13	生育期後半におけるリンゴ品種 の斑点落葉病の抵抗力の低下	口頭発表
生産工学研究室	八重樫 耕一 他 1 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	水稲湛水直播におけるラジコン ヘリの作業性能	東北農業研究第 55 号, 25-26,14.12
	大里 達朗 他 4 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	野菜収穫運搬車によるキャベツ 収穫作業の軽労化と機械の導入 基準	東北農業研究第 55 号, 227-228,14.12
	小野寺 健一	農業土木学会 東北支部	14.11. 8	環境に配慮した農村整備手法に 関する研究	農業土木学会東北支部 第 46 回研究発表会要 旨,81-84,14.11
園芸畑作部 果樹研究室	河田 道子 他 3 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	リンゴわい性台木 JM1 ,JM7 の 利用法	東北農業研究第 55 号, 153-154,14.12
	奥平 麻里子 他 2 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	リンゴ‘きおう’の収穫後の表 面色の変化	東北農業研究第 55 号, 155-156,14.12
	鈴木 哲	平成 14 年度寒 冷地果樹現地 研究会	14. 8.26	リンゴポット養成苗利用による 早期多収技術の確立	平成 14 年度寒冷地果樹 現地研究会資料

部 所 研究室名	発表者 氏 名	学 会 研究会名	開 催 年月日	発 表 課 題 名	発表誌, 巻(号) 掲載ページ, 発行年月
果樹研究室	佐々木 仁	平成 14 年度寒冷地果樹研究会	15.2.4~5	JM 台木利用の方向と課題	平成 14 年度寒冷地果樹研究会資料
	佐々木 仁	りんごわい化栽培における早期成圃化技術体系検討会	15. 3. 6	大苗利用による早期成圃化技術の開発について	検討会資料
野菜畑作研究室	門間 剛 他 2 名	第 45 回東北農業試験研究発表会	14. 7. 30	岩手県における大豆奨励品種「東北 141 号」の特性	東北農業研究第 55 号, 63-64, 14.12
	荻内 謙吾 他 1 名	第 45 回東北農業試験研究発表会	14. 7. 30	岩手県における小麦新品種「ネバリゴシ」の目標生育量と栽培法	東北農業研究第 55 号, 81-82, 14.12
	荻内 謙吾 他 1 名	第 45 回東北農業試験研究発表会	14. 7. 30	秋播性小麦の冬期播種栽培技術	東北農業研究第 55 号, 85-86, 14.12
	山田 修 他 1 名	第 45 回東北農業試験研究発表会	14. 7. 30	キュウリ全自動機械接ぎ木に対応した苗貯蔵による接ぎ木適期苗の生育調整技術	東北農業研究第 55 号, 201-202, 14.12
生産環境部 環境保全研究室	菅 千穂子 他 2 名	北日本病害虫研究会	14. 2. 13	数種農薬のトンボ幼虫羽化率に及ぼす影響	北日本病害虫研究会報第 53 号, 155-157, 14.11
	平賀 昌晃 他 4 名	日本土壌肥料学会	14. 4. 3	植物 - 3 材系水路(バイオジオフィルター)によるパラロックウール栽培排液の浄化	口頭発表
	菅 千穂子 他 1 名	農業土木学会東北支部研究発表会	14.11. 8	環境に配慮した農村整備手法に関する研究 第 1 報 水路整備地区における水生生物相	口頭発表
土壌作物栄養 研究室	小田島ルミ子	第 19 回新農耕法研究会	15. 2. 15	岩手県における雨よけほうれんそうの低硝酸化技術の研究	口頭発表
病害虫部 病理昆虫研究室	猫塚 修一	日本植物病理学会大会	14. 4. 5	リンドウ茎枯病菌の室内接種法	日本植物病理学会報第 68 巻(2), 199-200, 14.8
	猫塚 修一	日本植物病理学会東北部会	14. 9. 26	<i>Alternaria alternata</i> (Fries) Keissler によるリンドウ黒斑病の発生(新称)	日本植物病理学会報第 69 巻(1), 27, 15.2
	勝部 和則	日本植物病理学会東北部会	14. 9. 26	岩手県に発生したピーマンうどんこ病について	日本植物病理学会報第 69 巻(1), 28, 15.2
	猫塚 修一	北日本病害虫研究発表会	15. 2. 13	リンドウ褐斑病の感染時期と潜伏期間	口頭発表
	勝部 和則	北日本病害虫研究発表会	15. 2. 13	キュウリベと病増加期におけるジメチル剤による病勢進展抑制	口頭発表

部 所 研究室名	発表者 氏 名	学 会 研究会名	開 催 年月日	発 表 課 題 名	発表誌, 巻(号) 掲載ページ, 発行年月
病理昆虫研究室	後藤 純子 藤沢 巧	北日本病害虫 研究発表会	15. 2.13	クロバネキノコバエ類幼虫による リンドウ苗の食害と防除対策	口頭発表
	後藤 純子 大友 令史 飯村 茂之	第 52 回北陸病 害虫研究発表 会	15. 2.20	岩手県における水稲初期害虫の 隔年防除技術の検討	口頭発表
	後藤 純子 大友 令史	第 47 回日本応 用動物昆虫学 会大会発表	15. 3.26	昆虫寄生性糸状菌によるアカス ジカスミカメの感染事例	口頭発表
	猫塚 修一	日本植物病理 学会大会	15. 3.28	リンゴ樹上における炭疽病菌 <i>C.acutatum</i> の分子形成と感染 時期	口頭発表
	勝部 和則	日本植物病理 学会大会	15. 3.28	キュウリうどんこ病の急増期に おける炭酸水素塩剤による病勢 進展阻止効果	口頭発表
	猫塚 修一			リンゴ幼果に発生した炭疽病の 発生特徴	北日本病害虫研究会報 第 53 号, 311, 14.11
	勝部 和則			ヒドロキシイソキサゾール粉剤 によるほうれんそう立枯病およ び根腐病の同時防除	北日本病害虫研究会報 第 53 号, 49-51, 14.11
	勝部 和則 (共著)			水稲無病化種子「玄米種子」に よる種子伝染性病害の防除効果	日本植物病理学会報第 68 巻(1), 28-35, 14.4
	藤沢 巧 漆原 昌二 細川 健			2001 年岩手県でキュウリに発 生したカメムシ類による被害	北日本病害虫研究会報 第 53 号, 315, 14.11
	後藤 純子 他 2 名			畑わさびの新害虫ミドリサルゾ ウムシの発生	北日本病害虫研究会報 第 53 号 251-255, 14.11
畜産研究所 家畜飼養研究室	山口 直己	日本畜産学会 第 101 回大会	15. 3.29	粗飼料のエネルギー価における 実測値および計算値の比較	口頭発表
	大和 貢	第 52 回東北畜 産学会	14. 8.22	初乳の給与量と免疫グロブリン 含有量が子牛血清中免疫グロブ リン濃度に及ぼす影響	東北畜産学会報第 52 巻 2 号, 29, 15.8 予定
	大和 貢	日本家畜管理 学会	15. 3.27	搾乳ロボット牛群とミルクング パーラー牛群における分娩後の 繁殖機能に関するパラメーター の比較	日本家畜管理学会誌第 39 巻 1 号
家畜工学研究室	鈴木 暁之	第 52 回東北畜 産学会	14. 8.22	日本短角種におけるウシ筋肉肥 大 (Double Muscling) 原因遺 伝子の同定とその産肉性	東北畜産学会報第 52 巻 2 号, 12-13, 15.8 予定
				学会賞受賞記念総説 同タイトル (総説)	学会賞受賞記念総説 東北畜産学会報第 52 巻 3 号, 49-54, 16.3 予定

部 所 研究室名	発表者 氏 名	学 会 研究会名	開 催 年月日	発 表 課 題 名	発表誌, 巻(号) 掲載ページ, 発行年月
家畜工学研究室	野口 龍生 他 7 名	東北地区日本 産業動物獣医 学会	14.10. 18 ~ 19	黒毛和種去勢牛における尿道結 石の陰嚢前方切開による外科的 治療法	口頭発表
	野口 龍生	H14 年度岩手 県獣医畜産業 績発表会	15. 3.13	黒毛和種去勢牛における尿道結 石症の陰嚢前方切開による外科 的治療例	口頭発表
	野口 龍生 他 4 名	第 101 回日本 畜産学会国際 シンポジウム	15. 3.27	体細胞クローン技術を応用した 黒毛和種種雄牛造成期間短縮の 可能性と経済性	ポスター発表
飼料生産研究室	増田 隆晴 他 2 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	イネ科基幹牧草の草種・品種間 の早晚性を利用した収穫適期幅 の拡大	東北農業研究第 55 号, 109-110,14.12
	佐藤 直人	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	酪農経営における攪拌型堆肥化 施設の導入指針	東北農業研究第 55 号, 115-116,14.12
外山畜産研究室	伊藤 孝浩 他 2 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	パドックの泥濘化改善技術	東北農業研究第 55 号, 113-114,14.12
	谷藤 隆志	平成 14 年度 東北地域農林 水産業研究成 果発表会	14. 7.29	黒毛和種の放牧促進に向けた試 験研究の取り組み	東北農業研究別号 第 15 号,31-38,14.12
県北農業研究所 営農技術研究室	松浦 拓也 他 4 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	生分解性プラスチックマルチの 利用技術の開発 第 2 報 作物栽培への適用性	東北農業研究第 55 号, 209-210,14.12
産地育成研究室	根田 美和子 他 1 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	コマツナの冬期安定生産技術	東北農業研究第 55 号, 185-186,14.12
やませ利用 研究室	長谷川 聡 他 2 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	子実用ヒエの水田移植栽培法 第 1 報 ヒエ「達磨」の水田 移植栽培とその課題	東北農業研究第 55 号, 95-96,14.12
	長谷川 聡 他 2 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	子実用ヒエの水田移植栽培法 第 2 報 育苗法の検討	東北農業研究第 55 号, 96-97,14.12
専門技術員室	高橋 好範 他 3 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	生分解性プラスチックマルチの 利用技術の開発 第 1 報 各資材の特性及び把 握方法	東北農業研究第 55 号, 207-208,14.12
(前)園芸畑作部	佐藤 成利 他 1 名	第 45 回東北農 業試験研究発 表会	14. 7.30	ラークスパーの抑制作型におけ る短日処理の効果	東北農業研究第 55 号, 261-262,14.12

3 雑誌等掲載

部 所 名	執筆者氏名	タ イ ト ル	掲 載 誌 名	掲載年月
副所長	佐々木 忠勝	地球温暖化に思うこと	岩手の畜産	14. 5
農産部	仲谷 房治 星 伸枝	正しい診断で秋に多発するりんご褐斑病を防ぐ	グリーンレポート No.380	14. 5
	阿部 弘	トルコギキョウえそモザイク病の発生とアルミ蒸着マルチによる防除	今月の農業	14. 6
	阿部 潤	オリエンタルユリ系におけるプレルーティング処理球の二度切り栽培特性	施設園芸	14. 7
	神山 芳典	2002年に登録（申請）された注目品種「もち美人」	現代農業	15. 2
	白井 智彦	岩手県オリジナル水稲糯品種「もち美人」の栽培法	農業普及	15. 3
	高橋 政夫 尾形 茂	岩手県における水稲減農薬栽培雑草防除技術体系と課題	日植調東北支部会報 第38号	15. 3
園芸畑作部	児玉 勝雄	ニュータイプ小ぎく「アイマム」シリーズの育成	農業技術「公立農試場 長会ニュースプラザ」	14. 8
	佐々木 仁	除草剤による果樹園雑草防除と樹体への影響	植調	14.11
	作山 一夫	大豆不耕起栽培における雑草防除	日植調東北支部会報 第38号	15. 3
	鈴木 哲	ポット養成苗利用によるリンゴわい化栽培園の早期造成園化技術	果実日本	14.10
	土田 泰輔	岩手県におけるトルコギキョウの春出し栽培技術	農耕と園芸	14. 8
	小野田 和夫	J M台木の特性と利用	農耕と園芸	14. 9
	児玉 勝雄	岩手県における花き育種への取り組み	農耕と園芸	14.12
	内藤 善美	リンドウ 鉢物生産	農業技術体系 花卉編 追録5号	15. 2
	門間 剛	季節の農作業「畑作物」	農業普及	14. 4
		〃	〃	14. 5
		〃	〃	14. 6
		〃	〃	14. 7
		〃	〃	14. 8
		〃	〃	14. 9
		〃	〃	14.10
		〃	〃	14.11
	有馬 宏	季節の農作業「果菜」	農業普及	14. 4
		〃	〃	14. 5
		〃	〃	14. 6

部 所 名	執筆者氏名	タ イ ト ル	掲 載 誌 名	掲載年月
園芸畑作部	有馬 宏	季節の農作業「果菜」	農業普及	14. 7
		”	”	14. 8
		”	”	14. 9
		”	”	14.10
		”	”	14.11
	河田 道子	季節の農作業「西洋なし」	農業普及	15. 2
	土田 泰輔	季節の農作業「きゅうり」	農業普及	15. 3
	河田 道子	りんごの生育予測と栽培管理	JA 果樹だより	14. 4
	河田 道子	果樹園の除草剤の使い方	JA 果樹だより	14. 5
	奥平 麻里子	りんご仕上げ摘果の要点	JA 果樹だより	14. 6
	佐々木 仁	りんご夏期管理の要点	JA 果樹だより	14. 7
	鈴木 哲	ぶどう収穫前の管理	JA 果樹だより	14. 7
	鈴木 哲	早生種の着色管理と落果防止剤の使用法	JA 果樹だより	14. 8
	佐々木 仁	西洋なしの管理と収穫	JA 果樹だより	14. 9
	佐々木 仁	りんご晩生種の着色管理と収穫	JA 果樹だより	14.10
	鈴木 哲	りんご園の秋期樹相診断	JA 果樹だより	14.11
	小野田 和夫	平成 15 年度果樹栽培について	JA 果樹だより	15. 1
	奥平 麻里子	りんごの花芽状況から見た生産予測と栽培管理	JA 果樹だより	15. 2
	佐々木 仁	マメコバチの適正管理	岩手りんごタイムス	14. 4
	果樹研究室	結実確保について	岩手りんごタイムス	14. 4
	河田 道子	摘果剤の利用について	岩手りんごタイムス	14. 5
	小野田 和夫	樹相診断における適正管理	岩手りんごタイムス	14. 6
	佐々木 仁	今後の夏期管理について	岩手りんごタイムス	14. 8
	果樹研究室	特集「JM 台木を利用したリンゴのわい化栽培」	岩手りんごタイムス	14. 9
	鈴木 哲	新・改植の進め方	岩手りんごタイムス	14.12
	佐々木 健治	年頭のあいさつ 「消費者に支持される岩手の果樹生産を」	岩手りんごタイムス	15. 1

部 所 名	執筆者氏名	タ イ ト ル	掲 載 誌 名	掲載年月
園芸畑作部	佐々木 仁	新春座談会 - 中堅リーダーたちが語る 「どう展開する岩手りんご～園地の若返りを スムーズに～」	岩手りんごタイムス	15. 1
生産環境部	築地 邦晃	性フェロモン剤による施設ナバナのコナガの防除	今月の農業	14.10
	高橋 正樹 高橋 良学	家畜ふんたい肥特性評価システムの開発	養牛の友	14. 7
	高橋 正樹 小野 剛志 他 2 名	採花年早生リンドウに対する石灰質資材施用効果	日本土壌肥料科学雑誌	14. 5
	高橋 良学	果樹園の土づくり	JA 果樹だより	14.10
	高橋 良学	りんご園の施肥技術	JA 果樹だより	14.12
病害虫部	勝部 和則	エダマメ 茎疫病	農業総覧防除・資材編 追録第 28 号	14. 8
	藤沢 巧	岩手県のりんごにおけるハダニ類の発生と防除	今月の農業	14. 8
	勝部 和則	レタス軟腐病	野菜・果樹の細菌性病 害（武田薬品工業(株)発 行）	14. 9
	藤沢 巧	岩手県のりんごにおけるハダニ類の防除体系	農業時代	14.10
	藤沢 巧	作物を栽培するということ	農林害虫防除研究会ニ ューズレターNo.10	15. 1
	勝部 和則	微生物農薬の時代が到来!? 岩手県における稲細菌性病害の防除指導	グリーンレポート No.396	15. 2
	勝部 和則	モミゲンキ水和剤の使用法に関する岩手県での指 導事情	農業ガイド No.104	15. 2
	藤沢 巧	技術講座「性フェロモン剤を利用したりんご害虫 防除技術」	農業普及	14.11
	藤沢 巧	今年の果樹病虫害防除の要点	JA 果樹だより	14. 5
	藤沢 巧	今年のダニ剤の使用法	JA 果樹だより	14. 6
	猫塚 修一	りんご斑点落葉病の発生と防除	JA 果樹だより	14. 7
	猫塚 修一	りんご土壌病害の発生と防除法	JA 果樹だより	14.11
	猫塚 修一	平成 15 年度防除基準の主な改正点	JA 果樹だより	15. 1
	猫塚 修一	りんご褐斑病の防除対策	JA 果樹だより	15. 2
	猫塚 修一	斑点落葉病と褐斑病の防除対策	岩手りんごタイムス	14. 6

部 所 名	執筆者氏名	タ イ ト ル	掲 載 誌 名	掲載年月
病害虫部	猫塚 修一	輪紋病と炭そ病の生態と防除対策	岩手りんごタイムス	14. 6
	藤沢 巧	殺ダニ剤の使用法	岩手りんごタイムス	14. 6
	藤沢 巧	病害虫防除基準の改正点	岩手りんごタイムス	15. 1
畜産研究所	増田 隆晴	簡易牧草追藩機利用による簡易草地更新法	牧草と園芸	14. 9
	佐藤 直人	酪農経営における攪拌型堆肥化施設の導入指針	岩手の畜産	15. 2
	山口 直己	乳用雌育成牛の集約放牧による発育効果	岩手の畜産	15. 3
県北農業研究所	飯村 茂之	特集：よみがえる雑穀 - その魅力 3. 雑穀の栽培・調整技術	研究ジャーナル	14.11
	菅原 英範	技術講座「地ばい用品種による調理用トマトの栽培」	農業普及	14. 4

4 新聞等掲載

部所名	記 事 見 出 し (内 容)	掲載紙名	掲載年月日
総務部	貴重な手作り農具ずらり 農業科学博物館で企画展・北上	岩手日日	14. 4.18
	第8講 農業の現場を支えて 今春の退職者が贈るGW 課外授業 田や畑に研究の原点	河北新報	14. 5. 6
	田植え体験しよう 施設利用呼びかけ	読売新聞	14. 5.25
	県農業研究センター高橋所長に聞く 農家に成果還元が基本・循環型確立を目指す	岩手日報	14. 6 27
	事故防止に気を引き締め 県農研センター北上署に誓約書を提出	岩手日日	14.12.12
	「油」にまつわる収蔵品ズラリ 知恵が凝縮 先人の暮らし 北上・農業科学博物館 29日まで企画展	岩手日日	15. 3.20
企画経営情報部	試験研究をわかりやすく 評価ガイドライン策定(県)	岩手日日	14. 4. 9
	15日から一般公開 農業研究センターなど	岩手日日	14. 4. 9
	15日から一般公開 北上の県農研センターなど	岩手日日	14. 4.11
	15日から一般公開 県農研センター 研究成果を発表	日本農業新聞	14. 4.12
	最新の生物工学など紹介 北上・県の研究施設を公開	岩手日報	14. 4.17
	成果、現場に還元へ 8課題の研究披露 県農研センター	岩手日日	14. 4.21
	県研究期間で外部評価 農業など6分野競争力強化を目指す	読売新聞	14. 5. 2
	現場が提起し現場へ還元 県農業研究センターが研究成果発表会	農業共済新聞	14. 5.22
	リンゴを買うポイントは？ 見栄えより甘さ 内容示す情報が効果	日本農業新聞	14. 6.17
	来月2日に蚕の飼育体験 北上・県農業研究センター	岩手日日	14. 7. 7
	一日子供農業研究員を募集	日本農業新聞	14. 7.13
	面白さ肌で感じて 岩大の研究機関も参加 子ども科学教室開催へ 北上で来月17日から	岩手日日	14. 7.30
	あす共同研究成果を公表 岩手農林研究協	日本農業新聞	14. 8. 1
5研究の実用化に期待 岩手農林協議会 昨年度の成果報告	岩手日日	14. 8. 5	
蚕の生態など学ぶ 北上で「一日子供研究員」 児童たちが飼育体験	岩手日日	14. 8. 6	

部所名	記事見出し(内容)	掲載紙名	掲載年月日
企画経営情報部	蚕の飼育に挑戦 「一日子供農業研究員」岩手県農業研究センター	日本農業新聞	14. 8. 6
	最先端の技術紹介 あすから子ども科学教室	岩手日日	14. 8.16
	なぜだろう? そうなんだ! 北上・子ども科学教室「不思議」体験に笑顔	岩手日報	14. 8.18
	最先端技術、肌で感じて	岩手日日	14. 8.18
	子ども科学教室開幕 家族連れでにぎわう 北上	岩手日日	14. 8.19
	きたかみ子ども科学教室 ワクワク、ドキドキ体験コーナーに興味津々	岩手日日	14. 9. 1
	技術相談や収穫体験 県農業研究センター 7 - 8日「参観デー」で多彩な行事	日本農業新聞	14. 9. 6
	本部と県北で参観デー開く 県農業研究センター	岩手日日	14. 9. 7
	今日から参観デー 県生物工学研・農研センター 北上	岩手日日	14. 9. 8
	生物工学研究所 / 農業研究センター 最先端技術分かりやすく 参観デー今日まで施設を一般公開 北上	岩手日報	14. 9. 8
	農の最先端見て触れ理解 北上の県研究機関 参観デーにぎわう	岩手日日	14.12. 2
	来月10日に繭と糸の研究 北上・県農業研究センター	日本農業新聞	14.12. 4
	一日子供農業研究員を募集 岩手県農業研究センター	読売新聞	14.12. 6
	一日子供農業研究員 - 冬休み繭と糸の研究 -	岩手日報	14.12.10
	告知板 子供農業研究員募集	岩手日日	15. 1.11
	生糸の巻き取りにトライ 県農研センター 児童らが「一日研究員」 北上	岩手日報	15. 1.14
	生糸作りを熱心に学ぶ 北上で講座	岩手日日	15. 2.26
	生産者が対応技術学ぶ 生産拡大目指せ減農薬栽培米 県農研センター出張講座 花巻	岩手日報	15. 3. 4
	県内農協の労力支援事業 - 野菜農家の活用進む - 日報アンテナ「外部評価」で前進の手応え	岩手日報	15. 3.13
	農産部	田植えの負担を軽減・ロングマット苗 積み込み回数、1/10に 県農研センター実用化へ試験栽培開始	岩手日日
県内の田植え3分の2終了 早めに推移		岩手日報	14. 5.18
県全体で91%例年より早め 田植え状況		毎日新聞	14. 5.24
泥の感触に児童ら歓声 北上の飯豊小5年生が田植え		岩手日報	14. 6. 1
「ミニ棚田」で田植えに挑戦 北上市の飯豊小		日本農業新聞	14. 6. 7
胆江農業の拠点後世に(江刺) 旧県農業試験場県南分場 きょう石碑除幕式		岩手日日	14. 6.20
県南分場の業績後世に 江刺の県立農試 記念碑の建設祝う		岩手日報	14. 6.22
県農試県南分場の歴史、記念碑に託す		日本農業新聞	14. 6.28
7月15日現在 水稻生育「平年並み」天候回復で分けつ進む		日本農業新聞	14. 7.27
生物工学研、県農業研 生物学会の技術賞受賞		河北新報	14. 7.30
バイテク育種研究で学会賞を共同受賞 北上の農研センター		岩手日日	14. 8. 4
名称は「もち美人」 もち米の本県オリジナル品種		岩手日日	14.10.13
岩手の水稻新品種 「もち美人」に決定 もちまきしてアピール		日本農業新聞	14.10.13
県オリジナルもち水稻 「もち美人」と命名		岩手日報	14.10.13
米直播き栽培 岩手型技術を確立 県農業研究センター 点播機を改良高率収量実現		岩手日報	15. 3. 6
ロングマット水耕苗の実用化へ 岩手県農業研究センターが試験		農業共済新聞	15. 3.19
コメ品種DNA鑑定 独自識別法を開発へ 県産米の信頼確保期待 県農業研究センター 03年度から		岩手日報	15. 3.24

部所名	記事見出し(内容)	掲載紙名	掲載年月日	
園芸畑作部	果樹の低温対策指示 県農業研究センター	岩手日日	14. 4.26	
	リングJM台木安定増殖へ 早めの挿し木が重要	日本農業新聞	14. 6.11	
	秋の味覚に大喜び 県農研センター 成田小児童がリンゴ収穫 北上	岩手日日	14.10.26	
	9日に親子豆腐作り教室 いわて普及推進協花巻市と北上市で	日本農業新聞	14.11. 8	
	北上 県産大豆で豆腐作りに挑戦 各地から15組の親子が参加	岩手日日	14.11.10	
	農家の悩み解決 秋まき小麦を冬にまく 県農業研究センター 荻内謙吾専門研究員	朝日新聞	14.12. 5	
	「岩手6号」奨励品種に 県オリジナルのりんごで審査委 300%普及目指す	岩手日報	15. 2.11	
生産環境部	家畜のたい肥評価システム東北で初めて開発 有機資源の循環利用促進 商品価値高める	岩手日報	14. 4.10	
	家畜のたい肥成分 化学肥料との比較簡単に 県農業研究センター評価システムを開発	岩手日日	14. 4.10	
	循環利用に新システム 家畜ふんたい肥 電算機で特性分析 県が開発 化学肥料の節約にも	毎日新聞	14. 4.10	
	堆肥を性質評価 岩手県がシステム 家畜ふん利用を促進 有機栽培普及にも一役	日本経済新聞	14. 4.10	
	家畜堆肥評価システムを開発 県農研センター パソコンで情報提供	朝日新聞	14. 4.12	
	家畜堆肥流通促進へ 特性評価システム開発 養分バランス判明 使用上の目安や情報も 普及センターで登録	日本農業新聞	14. 4.12	
	女性起業を後押し 農産物加工でマニュアル 岩手県農業研究センターが発行	日本農業新聞	14. 4.20	
	農産物加工の“虎の巻” 北上の県農業研究センター「マニュアル」発行 女性の起業を支援 販売、管理法律知識も	岩手日日	14. 4.20	
	農産物加工の起業手引書を発刊	岩手日報	14. 4.21	
	岩手県農業研究センターが農産加工、販売のマニュアル	農業共済新聞	14. 5.15	
	産直の特産開発を支援	岩手日日	14. 8.29	
	病害虫部	果樹病害虫防除のポイント～りんご編～	全国農業新聞	14. 4.19
畜産研究所	牧場パドックのぬかるみ カキ殻で改善	日本農業新聞	14. 5.21	
	カキ殻の産廃利用法 放牧場のぬかるみ解消	朝日新聞	14. 6. 4	
	やっかい者カキ殻で土壌改良 泥状牧草地固める“ワザ開発” 漁家にも農家にも朗報	河北新報	14. 6.10	
	クローン技術で種牛の肉質検定 県農業研究センターが開発中 期間、コストとも削減	読売新聞	14. 7.11	
	カキ殻に隠れた効果 ぬかるみ解消	盛岡タイムス	14. 9. 1	
	県畜産研の鈴木研究員が東北畜産学会学術賞受賞	河北新報	14. 9.12	
	遺伝子で牛を見分ける 県農業研究センター鈴木暁之主任専門研究員 「農家のため」念頭に	朝日新聞	14. 9.19	
	去勢雄牛の尿道結石症 乳房間切開の手術法開発 術後の長期肥育可能に 県農業研究センター研究グループ	岩手日報	15. 3.30	
	県北農業研究所	ヒエ水田栽培確立 管理、農機は稲作と同じ	日本農業新聞	14. 4.29
		岩手県農業研究センター		

5 テレビ・ラジオ放送

(1) テレビ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日
園芸畑作部	渡辺 愛美	Y u i 「今、『小ぎく』に夢をのせて」	岩手朝日テレビ	14. 8. 24
	鈴木 哲	ブドウ品種開発の状況について	NHK 盛岡放送局	14. 9. 9
東北農業 研究所	長谷川 聡	岩手情報ステーション「雑穀の種類紹介」	テレビ岩手	14. 8. 4

(2) ラジオ 番組名「おはよう今日も元気で」

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日
企画経営情報部	松澤 一志	平成 14 年度春期一般公開の開催について	I B C ラジオ	14. 4. 12
	井村 裕一	中山間地域の農業の役割について	"	14. 4. 26
	菅原 豊司	流通構造の変化に対応した他県野菜産地の動き	"	14. 7. 5
	細田 耕平	野菜作経営における機械化体系の省力効果	"	14. 7. 26
	松澤 一志	参観デーの開催について	"	14. 8. 23
	村上 和史	水稲作民間農法の経営的特徴	"	14. 11. 8
農産部	長谷川 義孝	水稲の初期管理について	"	14. 5. 17
	仲條 眞介	いもち病に強い稲について	"	14. 6. 14
	白井 智彦	水稲の生育状況と追肥について	"	14. 7. 12
	大志田 建男	水管理施設の管理について	"	14. 8. 30
	阿部 弘	ピーマンウィルス病の簡易診断技術について	"	14. 9. 20
	大里 達朗	ロングマット苗で楽々田植え	"	14. 11. 15
	阿部 潤	遺伝子組換え植物の開発状況について	"	14. 12. 20
	田村 和彦	米の食味について	"	15. 1. 24
	尾形 茂	水稲の種子準備と育苗管理について	"	15. 2. 21
	小野寺 健一	水田の環境を守る働きについて	"	15. 3. 21
園芸畑作部	小田島 雅	りんどうの春期管理について	"	14. 4. 5
	奥平 麻里子	りんごの仕上げ摘花について	"	14. 5. 24
	有馬 宏	雨よけトマトの収穫期拡大技術	"	14. 6. 21
	渡辺 愛美	小ぎく「アイマムシリーズ」の栽培管理について	"	14. 8. 2
	河田 道子	りんご早生種の収穫と中生種の管理	"	14. 9. 6
	荻内 謙吾	小麦の冬期播種栽培技術	"	14. 10. 11
	葛巻 美知子	りんどうの促成・半促成栽培について	"	14. 11. 22
	奥平 麻里子	りんごの作柄予想と冬期管理	"	14. 12. 27
	門間 剛	緑色の濃い豆腐向け特産大豆「東北 141 号」	"	15. 2. 7
	内藤 善美	りんどうの春期作業管理について	"	15. 3. 7
生産環境部	平賀 昌晃	植物による窒素リンの浄化	"	14. 5. 10
	高橋 正樹	家畜ふんたい肥を利用した減化学肥料栽培	"	14. 7. 19
	平淵 英利	農産物加工への取り組み	"	14. 10. 25
	菅 千穂子	農業生態系の生物について	"	14. 12. 13
	小田島 ルミ子	「家畜ふんたい肥特性評価システム」の活用	"	15. 1. 17
	菊地 淑子	食品の機能性について	"	15. 3. 14

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日
病害虫部	猫塚 修一	りんご炭そ病の発生について	"	14. 6. 7
	藤沢 巧	りんごのハダニ類防除について	"	14. 8.16
	勝部 和則	生物農薬と減農薬	"	14.11. 1
畜産研究所	大和 貢	乳牛の暑熱対策における換気効果	"	14. 4.19
	伊藤 孝浩	黒毛和種集約放牧のための草地管理	"	14. 5.31
	小梨 茂	日本短角種における黒毛和種胚移植技術の効果	"	14. 6.28
	増田 隆晴	ソルガムラップサイレージ調整技術	"	14. 8. 9
	高畑 博志	岩手の和牛改良の現状	"	14. 9.13
	濱戸 もえぎ	堆肥施用について	"	14.10.19
	鈴木 暁之	牛の遺伝性疾患の発生予防	"	14.12. 6
	山口 直己	乳用雌育成牛の集約放牧による発育効果について	"	15. 1. 3
	児玉 英樹	胚移植技術の最新の話題	"	15. 1.31
	藤原 哲雄	イワテハヤチネL2を活用した肉豚生産技術	"	15. 2.28
	鈴木 賢	日本短角種の育種価評価	"	15. 3.28
県北農業研究所	長谷川 聡	雑穀ヒエの水田移植栽培	"	14. 5. 3
	藤井 伸行	秋の花壇苗と鉢花の栽培について	"	14. 9.27
	高橋 昭喜	ほうれんそう栽培の機械化について	"	14.10. 4
	菅原 英範	キャベツ栽培のこつ	"	14.11.29
	松浦 拓也	畜産由来有機物の有効活用	"	15. 1.10
	寺田 道一	平成 14 年度の県北部における水稻の作柄	"	15. 2.14

6 指導資料等掲載

部所・研究室名	執筆者氏名	タ イ ト ル	掲載資料名	発行年月	
農産部	水田作研究室	吉田 宏 他	水稻栽培指導技術資料	平成 15 年度稲作指導指針	15. 2
	水稻育種研究室	中野央子 他	"	"	"
	生産工学研究室	大里達朗 他	"	"	"
園芸畑作部	果樹研究室	佐々木 仁	岩手県におけるブルーベリーの試験研究	2002 ブルーベリーinいわて シンポジウム資料	14. 7
		野菜畑作研究室	有馬 宏	品目別栽培技術指針 トマト	平成 15 年度野菜栽培技術指針
花き研究室	花き研究室	山田 修	品目別栽培技術指針 きゅうり	"	"
		高橋 典子	品目別栽培技術指針 ピーマン	"	"
		門間 剛	品目別栽培技術指針 ばれいしょ	"	"
		内藤 善美	品目別栽培技術指針 りんどう	平成 15 年度花き栽培技術指針	"
		葛巻 美知子	品目別栽培技術指針 きんぎょそう	"	"
		渡辺 愛美	品目別栽培技術指針 小ぎく	"	"
小田島 雅	品目別栽培技術指針 鉢物りんどう	"	"		

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
南部園芸研究室	志田 たつ子	品目別栽培技術指針 アスター	平成 15 年度花き栽培技術指針	〃
	土田 泰輔	品目別栽培技術指針 イチゴ	平成 15 年度野菜栽培技術指針	〃
生産環境部 土壌作物栄養研究室	高橋正樹 他	水稲栽培指導技術資料	平成 15 年度稲作指導指針	15. 2
病害虫部 病理昆虫研究室	藤沢 巧	性フェロモン剤を利用したりんご害虫防除マニュアル	性フェロモン剤を利用したりんご害虫防除マニュアル	14.12
	勝部和則 他	水稲栽培指導技術資料	平成 15 年度稲作指導指針	15. 2
	後藤 純子	主要病害虫の防除（害虫）	〃	〃
	佐々木 直子	主要病害虫の防除（病害）	〃	〃
	勝部 和則	近年話題となっている病害虫（害虫）	平成 15 年度野菜栽培技術指針	15. 3
	藤沢 巧	近年話題となっている病害虫（病害）	〃	〃
	猫塚 修一	近年話題となっている病害虫（害虫）	平成 15 年度花き栽培技術指針	15. 3
	後藤 純子	近年話題となっている病害虫（病害）	〃	〃
畜産研究所 飼料生産研究室	平久保 友美	飼料作物優良品種特性表	牧草・飼料	15. 3
県北農業研究所 産地育成研究室	菅原 英範	品目別栽培技術指針 スイートコーン	平成 15 年度野菜栽培技術指針	15. 3
	根田 美和子	品目別栽培技術指針 だいこん	〃	〃
	藤井 伸行	品目別栽培技術指針 枝物花木	平成 15 年度花き栽培技術指針	15. 3
やませ利用研究室	長谷川 聡 寺田道一 藤田 智美	奨励品種の特徴と栽培法 たかねみのり いわてっこ かけはし ユメコガネ カグヤモチ	平成 15 年度稲作指導指針	15. 2
	寺田 道一	奨励品種 品種特性表 たかねみのり いわてっこ かけはし ユメコガネ カグヤモチ	平成 15 年度農業便利帳	15. 2

7 トライアングル

発行年月日	主 内 容
14. 8. 9	1 巻頭言 「普及に移された新技術のゆくえ」 所長 高橋 壯 2 トピックス 「小学生田植え体験学習」 3 研究紹介 ・リンドウの組織培養による採種用親株の大量増殖技術 応用生物学研究室 ・リング台木「JM1, JM7」の利用法 果樹研究室 ・ラークスパーの抑制作用型における短日処理の効果 南部園芸研究室 ・県北農業研究所の主要研究テーマについて 営農技術研究室 産地育成研究室 やませ利用研究室 4 専門技術員室コーナー 「調製機導入でほうれんそうの省力化進む」 5 岩手県農業研究センターからのお知らせ ・平成 14 年度岩手県農業研究センター参観デーの開催について
15. 3.20	1 巻頭言 - いつも Welcome to IWATE Agricultural Research Center の気持ちで! - 副所長 佐々木 忠勝 2 研究広報 ・平成 14 年度の試験研究成果について 企画情報室 ・「葉取らずりんご」の流通段階別の評価 農業経営研究室 ・代かき同時打ち込み式点播機を用いた水稲湛水直播栽培法 水田作研究室 ・9月下旬に成熟する省力的な黄色リング品種「岩手6号(仮称)」 果樹研究室 ・スプレータイプ小ぎく4品種「アイマム」シリーズ 花き研究室 ・製パン適性が高く耐病性に優れた小麦「ゆきちから(東北214号)」 野菜畑作研究室 ・MA包装で、黒豆のえだまめ「ちゃげ丸」の食味の良さが保たれる 保鮮流通技術研究室 ・- 岩手のコメは安全 - 岩手県の防除体系における米の農薬残留 環境保全研究室 ・落花期～6月下旬におけるリンゴ褐斑病の防除 病理昆虫研究室 ・尿道結石症の陰嚢前方切開による治療法 家畜工学研究室 ・ひえの乾燥・調製技術 営農技術研究室 3 報告 ・平成 14 年度に表彰された職員について ・平成 14 年度に受け入れた海外研修員について

8 図書資料収集・提供

項 目	冊数・人数
総蔵書数	1 8 2 , 1 6 0 冊
平成 14 年度収集図書数	1 , 0 6 4 冊
図書館利用者数(延べ)	5 7 7 名
同貸し出し冊数	1 , 2 9 4 冊

総蔵書数には畜産研究所及び県北農業研究所分を含む

9 ホームページ

項 目	件 数	
入力件数	研究レポート	2 3 4
	試験研究成果	4 3 7
	トライアングル	2
	行事予定	7
	各種資料	5 9
	トピックス、その他	1 3
アクセス件数	1 4 , 9 0 0	

トップページへの来訪者数

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等の実施

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
企画経営情報部	14. 4.24	県北農業研究所	中山間特産物の生産技術向上とマーケティング手法の研究報告会	32名
	15. 1.20	農業研究センター	新技術普及指導検討会（果樹）	15名
	"	生物学研究所	"（経営）	25名
	"	畜産研究所	"（畜産）	30名
農産部	15. 1.20	農業研究センター	新技術普及指導検討会（水稲）	30名
園芸畑作部	14. 6.12	大迫町	ブドウ栽培講習会	50名
	14. 6.20	農業研究センター	リンゴ生産技術研究会	150名
	14. 7.18	農業研究センター	リンゴ生産技術研究会	150名
	14. 8.23	農業研究センター	リンゴ情報交換会	50名
	14. 8.25	農業研究センター	リンゴ情報交換会	50名
	14. 8.30	石鳥谷町	りんどうこぶ症の試験成果等の説明	30名
	14. 9. 4	農業研究センター	西洋ナシ研修会	50名
	14.10.22	農業研究センター	リンゴ品種検討会	40名
	14.12.19	農業研究センター	リンゴ生産技術研修会	130名
	15. 1.20	農業研究センター	リンゴ冬季研修会	100名
	15.1.20-21	農業研究センター	新技術普及指導検討会（花き）	25名
	15. 1.21	農業研究センター	技術セミナー 「ピーマンPMMoV抵抗性品種導入の方向」	45名
	15. 2.21	農業研究センター	新技術セミナー	120名
	15. 2.26	農業研究センター	ブドウ栽培研修会	60名
畜産研究所	14. 9.11	畜産研究所	家畜の飼養管理技術	10名
	15. 1.20	畜産研究所	新技術普及指導検討会（畜産）	30名
	15. 2.28	畜産研究所	日本短角種集団育種推進事業にかかる畜産研究所での取り組みについて	35名
	15. 3	畜産研究所	ビタミンA制限技術を用いた肥育法について	10名
県北農業研究所	14. 4.24	県北農業研究所	中山間特産物の生産技術向上とマーケティング手法の研究報告会	32名
	14. 9.13	県北農業研究所	ほうれんそうセミナー＆ほうれんそう関連機械実演会	230名
	14. 9.13	県北農業研究所	宿根草セミナー	70名

2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
企画経営情報部				
農業経営 細田 耕平	平成 14 年度地域マネージャー講座 TN法の活用方法	14. 6. 25 ～6. 26	岩手県農業会 議	盛岡市繫
菅原 豊司	平成 14 年度新規就農者研修 第 6 回集合研修	14. 9. 27	農業大学校	農業大学校
佐藤 隆	岩手県 J A 営農指導員資格認証試験 「地域農業マネジメント」	14. 11. 25	岩手県農業協 同組合中央会	J A 岩手学園
細田 耕平	岩手県 J A 営農指導員資格認証試験 「農業経済」	14. 11. 26	岩手県農業協 同組合中央会	J A 岩手学園
菅原 豊司	平成 14 年度改良普及員専門技術研修	14. 11. 26	専門技術員室	農業研究センター
農産部				
水田作 高橋 政夫	岩手県 J A 営農指導員資格認証試験講義「農産」	14. 11. 28	岩手県農業協 同組合中央会	J A 岩手学園
高橋 政夫	平成 14 年度岩手県農業経営者セミナー (稲作分科会助言者)	15. 3. 11	岩手県農業会 議	盛岡市繫
尾形 茂	岩手県農薬管理指導士養成研修「雑草防除」	15. 1. 22	農業普及技術 課	県庁
小田中 温美	第 4 回飼料イネ研究会 岩手県内における飼料イネ生産の事例と課題	15. 3. 19	飼料イネ研究 会事務局 (東北農研センター)	東北農業研究センター(盛岡市)
水稻育種 神山 芳典	商品研究セミナー	14. 5. 21	県民生活センター	盛岡市 県民生活センター
中野 央子	岩手県酒造講習会	14. 11. 1	県酒造組合	盛岡市酒造組合
応用生物学 阿部 潤	大東町営農大学講座 バイオテク応用化推進研究の現状	15. 2. 20	大東町	大東町 農業技術センター
生産工学 高橋 修	岩手県農薬管理指導士養成研修 農薬散布技術、防除機等に関する知識	15. 1. 23	農業普及技術 課	県庁
八重樫 耕一	農作業安全研修会	15. 1. 28	農産園芸課	盛岡市
小野寺 健一	農業機械士養成研修	15. 2. 6	農業大学校	農業大学校
大里 達朗	農業機械士養成研修	15. 2. 13	農業大学校	農業大学校
大志田 建男 小野寺 健一	農業農村整備事業技術強化対策事業一般研修	15. 2. 13	土地改良事業 団体連合会	盛岡市繫

担当部署 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
園芸畑作部				
果樹 鈴木 哲	研究成果説明	15. 2.10	一関農業改良 普及センター	一関市
佐々木 仁	西洋ナシの剪定・栽培技術指導	15. 2.19	J A花巻	農業研究センター
野菜畑作 作山 一夫	岩手県産大豆現地研修会	14. 8. 6	岩手県麦・大豆等産地体勢 確立推進協議 会	江刺市
有馬 宏	第4回養液土耕栽培技術研究会・東北北海道支部会	15. 1.24	回養液土耕栽培技術研究会・東北北海道支部会	水沢市
花き				
内藤 善美 葛巻 美知子	りんどう採種技術検討会	14. 6.24	農産園芸課	種苗センター
児玉 勝雄 内藤 善美 葛巻 美知子	りんどう採種技術検討会	14. 7.12	農産園芸課	種苗センター
児玉 勝雄 内藤 善美 小田島 雅	りんどう採種技術検討会	14. 8. 2	農産園芸課	種苗センター
児玉 勝雄 内藤 善美 渡辺 愛美	りんどう採種技術検討会	14. 8.12	農産園芸課	種苗センター
児玉 勝雄 内藤 善美 小田島 雅	りんどう採種技術検討会	14. 8.23	農産園芸課	種苗センター
内藤 善美	りんどう採種技術検討会	14. 9.13	農産園芸課	種苗センター
児玉 勝雄 内藤 善美	りんどう採種技術検討会	14.10. 8	農産園芸課	種苗センター
児玉 勝雄 内藤 善美 小田島 雅	「いわて乙女」巡回指導	14. 6.21 14. 7.19	J A花巻	J A花巻管内
児玉 勝雄	安代町りんどう巡回調査	14. 6.28	J A新しいわて	安代町
児玉 勝雄 内藤 善美 小田島 雅	「こりん」の栽培状況等の調査と指導	14. 8.23	農産園芸課	北上市、農業研究センター
児玉 勝雄 渡辺 愛美 小田島 雅	小ぎく優良品種展示圃の検討	14. 9.17 ~9.18 14.11.19	農産園芸課	北上市、盛岡市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
南部園芸 土田 泰輔	いちご栽培技術研修会	14. 6. 7	JA 陸前高田市	南部園芸研究室
土田 泰輔	なばな栽培研修会	14. 8.27	J Aとおの	大槌町
土田 泰輔	いちご定植指導会	14. 9.10	JA 陸前高田市	住田町
土田 泰輔	経営戦略研修「短日処理によるいちご生産」	15. 2.13	農業大学校	農業大学校
生産環境部 部長	岩手大学大学院農学研究科セミナー	14.11.18	岩大農学部	岩大農学部
環境保全 築地 邦晃	新規就農者集合研修「環境保全型農業」	14. 5.31	農業大学校	農業大学校
築地 邦晃	岩手県農業管理指導士更新研修	15. 1.23	農業普及技術課	盛岡市
土壌作物栄養 高橋 正樹	現地ふれあい農業研究センター（二戸） 畜産由来有機物利用の一般論と岩手県の研究成果	15. 1.16	県北農業研究所	二戸市 光ヶ丘センター
小野 剛志	健康な土づくり推進大会	15. 2.19	遠野振興局	あえりあ遠野
小田島ルミ子	農業集落排水資源循環総合補助事業研修会	15. 3.17	水土里ネット いわて	盛岡市繫 いわて
保鮮流通技術 平淵 英利	東磐井地方ふるさとの味発信講座（第1回）	14. 7.31	千厩農業改良 普及センター	千厩合庁
平淵 英利	東磐井地方ふるさとの味発信講座（第6回）	15. 1.23	千厩農業改良 普及センター	千厩合庁
平淵 英利	甲子柿生産および加工にかかる研修会	14.11.13	釜石農業改良 普及センター	釜石市
及川 一也	宮古下閉伊ものづくりフォーラム	14.11.20	宮古振興局	宮古市
及川 一也	ナンブコムギ加工技術研究会	14.12. 6	盛岡振興局	工業技術センター
及川 一也	農業共済新聞編集委員研修会	14.12.18	NOSAI いわて	盛岡市
平淵 英利	陸前高田市農産加工研究会	15. 3. 5	陸前高田市	陸前高田市総合 営農指導センター
病害虫部 病理昆虫 勝部 和則	キュウリ病害虫の簡単な見分け方と農薬の正しい使い方	15. 2.21	J Aいわい東 組合長	J Aいわい東 南部園芸センター
勝部 和則	キュウリ病害虫の簡単な見分け方 「平成14年度大東町営農大学講座」	15. 2.21	大東町長	大東町 農業技術センター

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
畜産研究所				
家畜育種 小松 繁樹	農業大学校講師「肉用牛の飼養」	14. 7. 5	農業大学校	農業大学校
鈴木 賢	農業大学校講師「肉用牛の飼養」	14. 7.16	農業大学校	農業大学校
鈴木 賢 安田 潤平	農業大学校講師「肉用牛の飼養（超音波肉質診断）」	14. 7.22	農業大学校	農業大学校
鈴木 賢 安田 潤平	超音波肉質診断講習会	14.11.26	岩手県畜産農 業協同組合	滝沢村 全開連素牛センター
鈴木 賢 安田 潤平	超音波肉質診断講習会	14.11.28	久慈家畜畜産 物衛生指導協 会	大野村 大野地区共同利 用模範牧場
家畜飼養				
菊池 文也	農業大学校講師「家畜飼養管理」	14.11. 7	農業大学校	農業大学校
山口 直己	農業大学校講師「周産期病の予防と集約放牧技術」	14.12.19	農業大学校	農業大学校
大和 貢	農業大学校講師「牛の快適性と乳生産」	15. 1.15	農業大学校	農業大学校
大和 貢	酪農プロ養成塾講師 「哺育、育成技術と微量ミネラル」	14. 9. 9	岩手県乳質改 善協議会	畜産研究所
山口 直己	酪農技術研修会講師 「粗飼料のエネルギー価と飼養管理」	14.11. 6	岩手県乳質改 善協議会	畜産研究所
大和 貢	酪農技術研修会講師 「最新ロータリーパーラー事情」	15. 1.23	岩手県乳質改 善協議会	畜産研究所
山口 直己	搾乳ロボットによる省力管理と乳生産について	15. 2.17	畜産会	畜産研究所
家畜工学				
吉川 吉郷	農業大学校講師「牛受精卵移植各論」	14. 5.17 14. 7. 1	農業大学校	農業大学校
野口 龍生	農業大学校講師「体細胞クローン技術」	14.10. 3 14.10. 4 14.10. 7 14.10.22	農業大学校	農業大学校
鈴木 暁之	農業大学校講師「DNA解析と遺伝性疾患」	14.11.11	農業大学校	農業大学校
野口 龍生	獣医師講習会 「黒毛和種去勢牛における尿道結石症の陰囊前方切開による外科的治療例」	15. 3.19	岩手県獣医師 会岩手支会	西根町
飼料生産				
佐藤 直人	環境にやさしい農業技術導入促進交流会講師	14.12.11	盛岡農業改良 普及センター	産業文化センター

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
飼料生産 佐藤 直人	乳用牛等高水分堆肥の効率的処理法の指導	14.12.18	家畜改良センター 岩手牧場	家畜改良センター 岩手牧場
佐藤 直人	認定農業者研修会講師	15. 2.20	岩手町認定農 業者協議会	岩手町
外山畜産 千葉 恒樹	家畜人工授精に関する講習会 「種付け理論」	14.10.28	畜産課	畜産研究所
伊藤 孝浩	平成 14 年度畜産技術地域研修会 「パドックの泥濘化改善技術について」	14.10.30	宮古振興局	岩手宮古農業協 同組合本所
千葉 恒樹	家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習 会 「受精卵の生理及び形態」	15.2.6-7	畜産課	畜産研究所
種山畜産 菊池 雄	農業大学校講師「肉牛の改良増殖」	14.10.10 14.10.17 14.10.24	農業大学校	農業大学校
県北農業研究所 産地育成 藤井 伸行	花壇苗の栽培技術について	14. 5.22 14. 5.28 14. 6.18 14. 7.22	百笑苦楽分	一戸町小友
菅原 英範	レタス等野菜品目の品種選定と栽培技術について	14.11.13	いわて奥中山 農協	一戸町奥中山
藤井 伸行	枝物花木の栽培技術について	15. 2.10	軽米地域普及 所	九戸郡伊保内 所
やませ利用 長谷川 聡	雑穀の栽培法について	14. 6.26	(社)かほ ^ろ ア連 邦ア ^ク ロ振興協 議会	軽米町
飯村 茂之 長谷川 聡	岩手県における雑穀優良系統について ヒエの水田移植栽培と乾燥調製技術について	15. 2.12	農産園芸課	盛岡市
飯村 茂之	いわてっこの栽培法について	15. 2.21	盛岡農業改良 普及センター	産業文化センター

3 視察者、見学者の受入状況(平成14年4月～平成15年3月)

区 分	公式来所者数	非公式来所者数	合 計	備 考
本 部	2,318 人	7,169 人	9,487 人	非公式来所者数には、春期一般公開及び参観デー来所者を含む。
畜産研究所	2,392 人	1,563 人	3,955 人	
県北農業研究所	251 人	882 人	1,133 人	
計	4,961 人	9,614 人	14,575 人	

4 春期一般公開及び参観デー

名 称	開 催 期 日	開 催 場 所	参 集 人 員
農業研究センター 春季一般公開	14. 4.15～19	農業研究センター	398名
”	14. 4.15～19	畜産研究所	99名
”	14. 4.15～19	県北農業研究所	5名
”	14. 4.16～21	農業ふれあい公園「農業科学博物館」	148名
農業研究センター 参観デー	14. 9.7～8	農業研究センター	8,000名
”	14. 8.23～25	畜産研究所	1,464名
”	14. 9.13～14	県北農業研究所	760名

5 現地ふれあい農業研究センター

開催期日	開 催 場 所	主 な 内 容	参集人員
15. 1.16	二戸市 シビックセンター	畜産有機物を活用した資源循環型農業の推進	76名
15. 2.25	花巻農業協同組合 総合営農指導拠点センター	2003年型 水稻の減農薬栽培	285名

6 一日子供農業研究員

名 称	開 催 期 日	内 容	参集人員
一日子供農業研究員 ～夏休み 蚕の研究～	14. 8.2	小学5年生を対象とした蚕の研究 (蚕の観察、飼育体験)	14名
一日子供農業研究員 ～冬休み 繭と生糸の研究～	15. 1.10	小学5年生を対象とした繭と生糸の研究 (繭からの繰糸、繭細工)	25名

7 加工体験

項 目	人 数(件 数)
加工実習	449人 (41件)
特産品試作	385人 (38件)
合 計	834人 (79件)

8 研修生の受入れ

(1) 海外研修員

氏名	所属	研修目的	受入れ部所 (研究室)	期間
【県海外技術研修員】 栗 利元 リッペン	中国山西省農業科学学院 トウモロコシ研究所	水稲栽培	農産部 (水稲育種研究室)	14. 6.14 ~15. 3.14
レニ・ファトミア ・ウタミ (RENNY FATMYAH UTAMY)	インドネシア 南スラウェシ州農業事務所	畜産(繁殖技術)	畜産研究所	14. 6.14 ~15. 3.14
セステ・ネリ・ ガリワン (CELESTE NERI GALLAWAN)	フィリピン 国家酪農局ミンダナオ事務所	畜産(繁殖技術)	畜産研究所	14. 6.14 ~15. 3.14
【JICA 研修員】 リンチャ・アングリア (Lincca ANGGRIA)	インドネシア 農業省 土壌農業気候研究センター	持続型農業における有機物利 用法	生産環境部 (土壌作物栄養 研究室他)	14. 4.15 ~14. 7.12

(2) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受入れ部所 (研究室)	期間
高橋 重整	胆江地域農業共済組合	水稲の栽培技術研修	農産部 (水田作研究室)	14.5.14~11.14 (実15日間)
八木 弘光 平賀 勝哉 及川 満	盛岡地域農業共済組合 岩手中部農業共済組合 胆江地域農業共済組合	果樹の栽培技術研修 " "	園芸畑作部 (果樹研究室)	14. 5.16 ~15. 1.16 (実12日間)
藤岡 洋子	日本獣医畜産大学 獣医畜産学部	家畜の飼養管理 (家畜の飼育・管理体験、 知識及び技術の習得)	畜産研究所	14. 7.29 ~14. 8.11
中村 恵	北里大学 獣医畜産学部	DNA解析による家畜改良増 殖技術開発について	畜産研究所 (家畜工学)	14. 8.26 ~14. 9. 6
小原 陽子	東和町食品加工体験施設 「おためし工房」	・地場産農畜産物の加工に関する 技術と情報の習得 ・有効な加工体験の指導方法の 習得 ・加工品の特産商品化の手法に ついて	生産環境部 (保鮮流通技術)	14. 9.24 ~15. 3.14

(3) 改良普及員

氏名	所属	研修目的	受入れ部所 (研究室)	期間
佐藤 賢 鈴木 隆洋	盛岡農業改良普及センター 盛岡農業改良普及センター	専門技術研修 ~ 期(作物) "	企画経営情報部 (農業経営) 農産部 (水田作) (水稲育種) (応用生物工学)	14.11.26 14.6.24-25 14. 8.22 14.11.20-21 14. 8.21 14.11.25 14.11.22

氏名	所属	研修目的	受入れ部所 (研究室)	期間
江成 京子	花巻農業改良普及センター	専門技術研修(果樹)	園芸畑作部 (野菜畑作)	14. 6.21 14. 8.26 14.11.18
			園芸畑作部 (果樹)	14.5.10-14 14. 6.20 14.6.24-26 14.9.11-13 14.10.8-9 14.10.11 14.12.3-6 15.2.18-21
村上 久代 松浦 貞彦 田替 美佳 川村 武寛 富田 典子 宮川 英幸 筑後 徳子	千厩農業改良普及センター 遠野農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 水沢農業改良普及センター 大船渡農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 岩泉地域普及所 久慈農業改良普及センター	専門技術研修 期(野菜花き)	園芸畑作部 (野菜畑作) (花き)	14.5.27-6.5 "
		専門技術研修 期(野菜)	園芸畑作部 (野菜畑作) (花き)	14.6.24-28 " 病害虫部 (病理昆虫) (病害虫防除課)
高橋 真澄	二戸農業改良普及センター	専門技術研修 期(野菜)	県北農業研究所 (営農技術) (産地育成) (やませ利用)	14.7.29-8.7 " "
		専門技術研修(農産加工)	園芸畑作部 (南部園芸)	14.9.4-6
菊地 直子	盛岡農業改良普及センター	専門技術研修 期(畜産)	生産環境部 (保鮮流通技術)	14.6.3-5 14. 7. 8
工藤 佳徳 吉田 正博 照井 儀明 菅野 史拓 渡邊 麻由子	盛岡農業改良普及センター 盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所 盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所 花巻農業改良普及センター 北上農業改良普及センター	専門技術研修 期(畜産)	畜産研究所 (家畜育種) (家畜工学) (飼料生産) (外山畜産)	14.7.22-8.2 " " "
		技術向上研修(作物)	畜産研究所 (家畜飼養) (飼料生産)	14.9.24-10.4 "
		"	生産環境部 (保鮮流通技術)	14. 9.11
		"		
		"		

氏名	所属	研修目的	受入れ部所 (研究室)	期間
吉田 純子 永富 巨人 福土 敬子 大友 英嗣	遠野農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 岩泉地域普及所	技術向上研修(作物) " " "	生産環境部 (保鮮流通技術)	14. 9.11
畠山 陽子 佐々木 久彦 小原 公則 穴戸 貴洋	久慈農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター 軽米地域普及所	" " " "		
斉藤 理恵 名久井 一樹 小田 豊 阿部 洋 高橋 司 高田 真	盛岡農業改良普及センター 花巻農業改良普及センター 北上農業改良普及センター 水沢農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 岩泉地域普及所	技術向上研修(果樹:りんご) " " " " "	生産環境部 (土壌作物栄養) 園芸畑作部 (果樹) 病害虫部 (病理昆虫) (病害虫防除課)	14. 5.16 14. 5.17 14. 7.29 14. 7.29 14.12.10-11 14.12.10
石川 勝規 井口 歩美	盛岡農業改良普及センター 盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所	技術向上研修(果樹:ぶどう) "	園芸畑作部 (果樹)	14. 5.27 14. 9.18
川守田 真紀 吉田 昌史 阿部 将久 稲森 幹幸	一関農業改良普及センター 大船渡農業改良普及センター 久慈農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター	" " " "	病害虫部 (病害虫防除課)	14. 9.17
佐々木 満 深澤 明子 桑原 政之 千葉 守 櫻田 弘光 小原 善一 佐藤 喬 東海林 豊 長嶺 達也 阿部 亜希子	盛岡農業改良普及センター 盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所 盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所 一関農業改良普及センター 千厩農業改良普及センター 遠野農業改良普及センター 久慈農業改良普及センター 久慈農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター	技術向上研修(野菜) " " " " " " " " " "	病害虫部 (病理昆虫)	14. 9.19
酒井 純子 高橋 史絵 千田 裕 小原 善一 高橋 司 菅原 聡 高橋 拓也	花巻農業改良普及センター 水沢農業改良普及センター 一関農業改良普及センター 遠野農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 久慈農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター 軽米地域普及所	技術向上研修(土壌診断) " " " " " "	生産環境部 (土壌作物栄養)	14.10.22-25

氏名	所属	研修目的	受入れ部所 (研究室)	期間
佐々木 真 石川 勝規 井口 歩美	盛岡農業改良普及センター 盛岡農業改良普及センター 盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所	せん定研修 " "	園芸畑作部 (果樹)	15. 1.21
名久井 一樹 江成 京子 小田 豊 阿部 洋 長崎 優子 川守田 真紀 土屋 淑子 吉田 昌史 藤根 研一 高橋 司 高田 真	花巻農業改良普及センター 花巻農業改良普及センター 北上農業改良普及センター 水沢農業改良普及センター 水沢農業改良普及センター 一関農業改良普及センター 千厩農業改良普及センター 大船渡農業改良普及センター 遠野農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 岩泉地域普及所	" " " " " " " " " " "		
阿部 将久 稲森 幹幸	久慈農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター	" "		
石川 勝規 井口 歩美	盛岡農業改良普及センター 盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所	果樹苗木生産技術向上研修 "	園芸畑作部 (果樹)	15. 3.26
名久井 一樹 江成 京子 小田 豊 長崎 優子 川守田 真紀 土屋 淑子 高橋 司 及川 耳呂 高田 真	花巻農業改良普及センター 花巻農業改良普及センター 北上農業改良普及センター 水沢農業改良普及センター 一関農業改良普及センター 千厩農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 岩泉地域普及所	" " " " " " " " " "		
阿部 将久 稲森 幹幸	久慈農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター	" "		
深澤 明子	盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所	ウイルス診断研修	農産部 (応用生物工学)	14. 6. 7
作山 勉 菅野 史拓 外館 光一 畠山 隆幸 高橋 史絵 座波 幸司 山口 貴之 小原 善一 小野寺 理 阿部 亜希子 千葉 賢一	花巻農業改良普及センター 花巻農業改良普及センター 北上農業改良普及センター 北上農業改良普及センター 水沢農業改良普及センター 千厩農業改良普及センター 大船渡農業改良普及センター 遠野農業改良普及センター 遠野農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター	" " " " " " " " " " "	病害虫部 (病理昆虫) (病害虫防除課)	" "

(4)体験学習受入れ

小中学校及び高等学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

氏名	所属	研修内容	受入れ部所 (研究室)	期間
生徒 6名 引率 教諭 1名	筑波大学付属駒場中学校 3学年	畜産に関する試験研究全般	畜産研究所 (家畜工学 他)	14. 5.22
児童 81名 引率 教諭 4名	滝沢村立滝沢東小学校 4学年	畜産に関する試験研究全般	畜産研究所 (総務課)	14. 5.22
生徒 6名 引率 教諭 5名	玉山村立藪川中学校	「藪川の産業」についての訪問 学習 ・仕事の内容 ・施設見学	畜産研究所 (外山畜産)	14. 5.28
児童 120名 引率 教諭 4名	北上市立飯豊小学校 5学年	棚田の田植え体験	総務部 農産部	14. 5.30
児童 33名	軽米町立山内小学校 2学年	さつまいもの植え付けおよび 収穫	県北農業研究所 (営農技術)	14. 6. 4 14.10. 7
児童 30名	花巻市立湯口小学校 3学年	リンゴはどのようにして作ら れるか	園芸畑作部 (果樹)	14. 6. 6
生徒 85名	花巻市立南城小学校 5学年	縄作り体験 ・ワラ加工の歴史について ・ぞうり作り体験	農業科学博物館	14. 6.11
児童 25名 引率 教諭 1名	陸前高田市立米崎小学校 3学年	南部園芸研究室の仕事につい て	園芸畑作部 (南部園芸)	14. 6.24
生徒 21名 引率 教諭 1名	北上市立飯豊中学校 3学年	園芸的奉仕活動 ・スターチスの収穫 ・とうもろこしの種まき	総務部 園芸畑作部 (花き、野菜畑作)	14. 6.28
生徒 27名 引率 教諭 2名	花巻市立花巻北中学校 3学年	地球圏：農業と地球環境のかか わり ・センター案内、概要説明 ・農業による環境負荷とその 防止 ・実験実演 ・農業の多面的機能	専門技術員室 生産環境部 (環境保全)	14. 7. 5
生徒 1名	花巻市立南城中学校 2学年	農作物の害虫の調査、害虫によ る被害とその防除について	病害虫部 (病理昆虫)	14. 7. 9 14. 8. 1
生徒 6名	盛岡市立北松園中学校 2学年	「岩手探検隊」班別訪問学習 ・仕事の内容、社会人の心構え ・職場見学	総務部 園芸畑作部 (果樹)	14. 7.15
生徒 1名	県立花巻農業高等学校	職業人インタビュー 職場見学	企画経営情報部 (企画情報室)	14. 7.26
生徒 3名	岩手町立川口中学校 2学年	酪農実習	畜産研究所 (家畜飼養 他)	14. 8. 5
生徒 1名	県立盛岡農業高等学校 2学年	インターンシップ ・作物の栽培管理・調査実習	県北農業研究所 (やませ利用)	14.8.5-8

氏名	所属	研修内容	受入れ部所 (研究室)	期間
学生 1名	岩手大学農学部 3年	インターンシップ ・農作物の調査法習得及び栽培管理実習	県北農業研究所 (産地育成)	14.8.26-30
生徒 3名	花巻市立南城中学校 1学年	・イネの肥料成分について ・イネの農薬と効果について ・アガシガミカの体に及ぼす影響	病害虫部 (病理昆虫)	14.9.11
児童 54名	花巻市立成田小学校	施設見学 パン菓子体験	生産環境部 (保鮮流通技術)	14.9.25
生徒 320名 引率教諭20名	埼玉県立川口高等学校 2学年	畜産に関する試験研究全般	畜産研究所 (家畜育種 他)	14.9.25
児童 32名 引率 教諭1名	石鳥谷町立八重畑小学校 5学年	施設見学及び圃場見学	農産部 (水田作)	14.9.30
児童 120名 引率 教諭4名	北上市立飯豊小学校 5学年	棚田の稲刈り体験 餅つき体験 農業科学博物館見学	総務部 農産部 生産環境部	14.9.30
生徒 1名	北上市立北上北中学校 1学年	バイオテクノロジーによる品種改良について	農産部 (応用生物工学)	14.10.4
生徒 1名	花巻市立花巻中学校 2学年	野菜に関すること	園芸畑作部 (野菜畑作)	14.10.10
児童 27名 引率 教諭2名	花巻市立成田小学校 3学年	リンゴ収穫体験	総務部 園芸畑作部 (果樹)	14.10.25
生徒 95名	花巻養護学校	ジュース作り体験	生産環境部 (保鮮流通技術)	14.11.6
親子 40名	親子豆腐作り体験参加者 (流通課主催)	豆腐作り 大豆圃場見学	生産環境部 (保鮮流通技術) 園芸畑作部 (野菜畑作)	14.11.9
児童 82名	花巻市立南城小学校 5学年	縄作り体験	農業科学博物館	14.11.29

9 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
出願品種現地調査員	調査員	園芸畑作部長	農産園芸局種苗課
東北地域水稲安定生産推進連絡協議会	委員	農産部長	東北農政局農産普及課
東北地域水稲安定生産推進協議会ワーキンググループ	グループ員	水田作研究室長	東北農政局農産普及課
東北農業試験研究協議会	理事	所長	(独)東北農業研究センター
東北農業試験研究会議畑作部会	代表場所長	所長	(独)東北農業研究センター
東北農村生活研究会	理事	農業経営研究室長	(独)東北農業研究センター
東日本受精卵移植技術研究会	理事	家畜工学研究室長	(独)畜産草地研究所
肉用牛広域後代検定評価技術検討会	委員	種山畜産研究室 上席専門研究員	(独)畜産改良センター
岩手農林研究協議会（A F R）	副会長 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員	所長 企画経営情報部長 農産部長 園芸畑作部長 生産環境部長 病害虫部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	岩手大学農学部
岩手農林研究協議会（A F R）幹事会	幹事 幹事	企画経営情報部長 農産部長	岩手大学農学部
農業機械学会第 61 回年次大会運営委員会	委員	生産工学研究室長	岩手大学 （日本農業機械学会）
東北草地研究会	副会長	飼料生産研究室長	東北大学農学部
東北農業経済学会	理事	農業経営研究室長	東北大学農学部
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	所長	科学技術課
いわて農業・農村表彰事業審査委員会	審査委員	所長	農林水産企画室
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農林水産企画室
岩手県農業共済保険審査委員会	委員 委員	所長 農産部長	団体指導課
限定純情米販売対策委員会	委員	農産部長	流通課
花の国づくり岩手県協議会	会員	園芸畑作部長	流通課

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
いわて純情米推進協議会	幹事	農産部長	流通課
農業振興地域整備促進連絡会議	構成員	所長	農業振興課
岩手県中山間地域活性化対策検討会議	委員	農業経営研究室長	農業振興課
岩手県農業構造改善事業等推進連絡協議会	委員 中央指導班員	企画経営情報部長 農業経営研究室長	農業振興課
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	企画経営情報部長 首席専門技術員 水田作研究室長 果樹研究室長 環境保全研究室長 飼料生産研究室長 やませ利用研究室長 専門技術員	農業普及技術課
岩手県農業気象協議会冷害防止緊急技術会議	構成員	水田作研究室長	農業普及技術課
岩手県農業士・農村生活アドバイザー選考委員会	委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業賞審査委員会	審査委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業担い手懇談会調査検討部会	委員	農業経営研究室長	農業普及技術課
高度土づくり技術確立推進協議会	構成員 構成員	土壌作物栄養研究室長 営農技術研究室長	農業普及技術課
農村女性起業評価指標作成委員会	委員	農業経営研究室長	農業普及技術課
岩手県農薬管理士認定委員会	委員	環境保全研究室長	農業普及技術課
土地改良事業営農推進対策委員会	副委員長 中央幹事長 中央幹事	所長 首席専門技術員 生産工学研究室長 土壌作物栄養研究室長 飼料生産研究室長 産地育成研究室長	農村計画課
岩手県花き産地づくりコンクール	審査委員長 審査委員 審査委員 審査委員	園芸畑作部長 農業経営研究室長 花き研究室長 専門技術員	農産園芸課
岩手県奨励品種等審査委員会幹事会	幹事 幹事 幹事 幹事	首席専門技術員 農産部長 園芸畑作部長 県北農業研究所長	農産園芸課

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県主要農作物奨励品種審査委員会	委員	所長	農産園芸課
岩手県特産農産物生産振興共進会	審査委員長 審査委員 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 野菜畑作研究室長 やませ利用研究室長	農産園芸課
岩手県農業機械士認定委員会	委員	農産部長	農産園芸課
岩手県農作業安全対策協議会	委員 委員	副所長 畜産研究所長	農産園芸課
岩手県農作業安全対策協議会	幹事 幹事	生産工学研究室長 飼料生産研究室長	農産園芸課
岩手県ふるさと食品コンクール	審査員	生産環境部長	農産園芸課
岩手県りんご産地づくりコンクール	審査委員長 審査委員 審査委員	園芸畑作部長 農業経営研究室長 果樹研究室長	農産園芸課
岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会	委員 委員 委員	園芸畑作部長 首席専門技術員 県北農業研究所長	農産園芸課
同上 麦部会	部会長	首席専門技術員	
同上 大豆部会	部会長	園芸畑作部長	
いわて純情園芸産地づくり推進協議会	委員	所長	農産園芸課
いわて和牛育種改良推進事業県協議会	委員 委員	家畜育種研究室長 種山畜産研究室長	畜産課
畜産環境整備事業農機具導入委員会	委員	飼料生産研究室長	畜産課
岩手県畜産技術協会	世話人	畜産研究所長	畜産課
家畜改良増殖推進協議会	副委員長 委員	畜産研究所長 畜産研究所次長	畜産課
家畜導入事業資金供給事業県協議会	委員	家畜育種研究室長	畜産課
岩手県飼料増産推進協議会	委員	水田作研究室長 飼料作物研究室長 専門技術員	畜産課
盛岡地域公共牧場再編協議会	理事 幹事	外山畜産研究室長 外山畜産研究室長補佐	盛岡地方振興局農政部

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
北上地区行政連絡会議	構成員	所長	北上地方振興局農政部
大船渡地方農業振興協議会	幹事	南部園芸研究室長	大船渡地方振興局 農林水産部
久慈地方農業農村活性化推進協議会	構成員 幹事 専門部会幹事	県北農業研究所長 県北農業研究所次長 県北農業研究所次長	久慈地方振興局農政部
土地改良事業営農対策推進委員会久慈地方幹事会	幹事 幹事	やませ利用研究室長 専門技術員	久慈農業改良普及センター
馬淵川沿岸土地改良事業検討委員会	委員 幹事	県北農業研究所長 県北農業研究所次長	二戸地方振興局農政部
二戸地方農業振興協議会	構成員 幹事 園芸リノ部会幹事	県北農業研究所長 県北農業研究所次長 産地育成研究室長	二戸地方振興局農政部
奥中山地域液状コンポスト利用実証展示検討委員会	委員	飼料生産研究室長	二戸地方振興局農政部
二戸地方農林水産業振興会議	委員 委員	県北農業研究所長 県北農業研究所長次長	二戸地方振興局農政部
二戸地方農林行政連絡会議	構成員 構成員	県北農業研究所長 県北農業研究所長次長	二戸地方振興局農政部
エコファーマー計画認定審査委員会	委員	県北農業研究所次長	二戸地方振興局農政部
カシオペア連邦雑穀生産振興・流通対策協議会	構成員	県北農業研究所長 やませ利用研究室	二戸地方振興局農政部
馬淵川沿岸地区営農改善対策調査委員会	委員	営農技術研究室長	二戸農業改良普及センター
土地改良事業営農対策推進委員会二戸地方幹事会	幹事	県北農業研究所次長 専門技術員	二戸農業改良普及センター
北上市みどりのまちづくり審査会	審査員	園芸畑作部長	北上市
陸前高田市総合農政推進協議会	幹事	南部園芸研究室長	陸前高田市
国営八戸平原総合農地開発事業軽米地区畑地かんがい実証展示圃運営委員会	委員 幹事	県北農業研究所長 県北農業研究所次長	軽米町
八戸平原地域対策協議会	委員 営農推進部会員	県北農業研究室長 産地育成研究室長	三戸農林水産事務所
軽米町農業振興地域整備促進協議会	委員	県北農業研究所長	軽米町

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
軽米町総合農政推進協議会	委員 幹事	東北農業研究所長 東北農業研究所次長	軽米町
軽米町農作物気象災害防止対策本部	幹事	やませ利用研究室長	軽米町
軽米町新需要穀類種子生産振興協議会	幹事	やませ利用研究室長	軽米町
軽米町雑穀・麦大豆等生産振興協議会	構成員	やませ利用研究室長	軽米町
軽米町産業祭実行委員会	委員 幹事	東北農業研究所長 東北農業研究所次長	軽米町
九戸村農林業振興対策会議 園芸支援振興支援センター 新規就農者支援対策事業審議会 農林業技術者連絡会議 農業経営改善支援センター	委員 委員 委員 運営委員 構成員	東北農業研究所長 東北農業研究所長 東北農業研究所次長 東北農業研究所次長 東北農業研究所次長	九戸村
玉山村村営牧野運営委員会	委員	外山畜産研究室長	玉山村
玉山村畜産振興協議会	委員	外山畜産研究室長	玉山村
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 参与 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	副所長 畜産研究所長 首席専門技術員 水田作研究室長 果樹研究室長 野菜畑作研究室長 土壌作物栄養研究室長 飼料生産研究室長 営農技術研究室長	全農岩手
岩手県乳質改善協議会	委員 酪農経営指導団員	畜産研究所長 家畜飼養研究室長	全農岩手
いわて純情米体質強化推進協議会	幹事	農産部長	全農岩手
いわて純情米良質・良食味生産コンクール審査会	審査委員長	農産部長	全農岩手
酪農経営研究会	審査委員	畜産研究所長	全農岩手
和牛改良専門委員会	委員	家畜育種研究室長 種山畜産研究室長 " 上席専門研究員	全農岩手
J A岩手県教育審議会	委員	所長	岩手県農業協同組合中央会
日本農業賞岩手県代表審査委員	委員長	所長	岩手県農業協同組合中央会

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県農業共済組合連合会損害評価会 (農作物) (畑作物) (蚕 繭) (果 樹) (園芸施設) (任 意)	委員 委員 委員 委員 部会長 委員 委員	水田作研究室長 病理昆虫研究室長 野菜畑作研究室長 病理昆虫研究室長 果樹研究室長 南部園芸研究室長 生産工学研究室長	NOSA I岩手
農業共済地域対応強化対策協議会地域集団引受 推進専門部会	委員 委員	水田作研究室長 果樹研究室長 病理昆虫研究室長	NOSA I岩手
北上市小菊生産振興協議会	構成員 推進専門班構成員	花き研究室長 専門研究員	J A北上市、J A和賀中央 北上農業改良普及センター
岩手県牛乳普及協会	行事開催実行委員	家畜飼養研究室長	牛乳普及協会
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員	家畜飼養研究室長 専門技術員	岩手県乳質改善協議会
岩手県経営構造対策推進委員会	委員	副所長	岩手県農業会議
岩手県グリーン・ツーリズム推進協議会	幹事 幹事	農業経営研究室長 専門技術員	岩手県農業会議
農林統計協会二戸支部	会員	県北農業研究所次長	岩手農林統計情報事務所 二戸出張所
東北畜産学会	評議員 評議員	畜産研究所長 畜産研究所次長	東北畜産学会
東北畜産学会学会賞候補者選考委員会	選考委員	畜産研究所長	東北畜産学会
土壤保全調査事業全国協議会	幹事	土壌作物栄養研究室長	日本土壤協会
岩手県植物防疫協会	運営幹事 運営幹事 事業幹事 事業幹事 事業幹事 事業幹事 事業幹事 事業幹事 事業幹事	病害虫部長 農産部長 水田作研究室長 果樹研究室長 野菜畑作研究室長 病理昆虫研究室長 飼料生産研究室長 首席専門技術員 専門技術員	植物防疫協会
日本植物調節剤研究協会東北支部	委員	水田作研究室長	日本植物調節剤研究協会 東北支部

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
イラン国ゴルガン平原かんがい排水及び農業開発計画調査作業監理委員会	委員	土壌作物栄養研究室長	国際協力事業団(JICA)
岩手県農産物改良種苗センター種子価格設定委員会	委員 委員	水田作研究室長 野菜畑作研究室長	農産物改良種苗センター
高性能畜産機械等普及促進協議会	委員	飼料生産研究室長	新農業機械実用促進株
岩手県畜産会	理事幹事 非常勤コンサルタント	畜産研究所長 家畜飼養研究室長 家畜工学研究室長 専門技術員	(社)岩手県畜産会
全国和牛登録協会産肉能力検定委員会	参与 参与	畜産研究所長 種山畜産研究室長	(社)全国和牛登録協会
全国和牛登録協会県支部評議委員会	委員	畜産研究所長	(社)全国和牛登録協会
直接検定に関わる検討委員会	委員	種山畜産研究室 上席専門研究員	(社)全国和牛登録協会
肉用子牛生産者補給金制度岩手県種別判定委員会	委員	家畜飼養研究室長	(社)岩手県農畜産物価格安定基金協会
馬淵川沿岸地区畑地かんがい水質検討委員会	委員	生産環境部長	(社)畑地農業振興会
二戸地区雑穀産地形成推進協議会	委員	やませ利用研究室長	(社)カシオペア連邦アグリ振興協議会
革新的農薬廃液処理技術検討会	委員	生産環境部長	(財)残留農薬研究所
(財)岩手生物工学研究センター評議員会	評議員	所長	(財)岩手生物工学研究センター
(財)岩手生物工学研究センター中核研究員選考委員会	委員	所長	(財)岩手生物工学研究センター
(財)岩手生物工学研究センター研究推進委員会	委員	所長	(財)岩手生物工学研究センター
産学官連携技術開発中央支援事業「食品の安全な保蔵と流通技術」部会	委員	保鮮流通技術研究室長	(財)食品産業センター
新需要穀類生産・流通体制確立事業 品種等データベース情報委員会兼品種特性解析システム開発委員会	委員	東北農業研究所長	(財)農産業振興奨励会
産地・実需者等連携強化支援委員会	委員	やませ利用研究室長	(財)農産業振興奨励会

VI 職員研修

1 大学院派遣 H14 派遣無し

職・氏名	所属部所・研究室	研究内容	派遣先	派遣期間
-	-	-	-	-

2 海外派遣・研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容等	派遣先	派遣期間
室長 高橋 政夫	農産部 水田作研究室	岩手県海外技術研修員受入れ事業による 専門家派遣	中国黒龍省 東北農業大学 他	14. 8.17 ～14. 8.31
専門研究員 仲條 真介	農産部 水稻育種研究室	岩手県海外技術研修員受入れ事業による 専門家派遣	中国黒龍省 東北農業大学 他	14. 8.17 ～14. 8.31
主任専門研究員 内藤 善美	園芸畑作部 花き研究室	岩手県農協関係経営者・部会連絡協議会海外研 修 韓国における花き生産・流通状況の視察、見聞	韓国	14.10.15 ～14.10.18

3 国内研修への派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 村上 和史	企画経営情報部 農業経営研究室	平成14年度岩手県農林水産部流通関係企業派遣 研修 農畜産物の流通に関する専門的な見識を備える	株式会社 イトーヨーカ堂	14. 4. 1 ～14. 9.30
専門研究員 山田 修	園芸畑作部 野菜畑作研究室	依頼研究員 イチゴ夏秋どり栽培技術の習得	独立行政法人 農業技術研究機構 東北農業研究センター	14.6.1～7.31, 9.1～9.30
専門研究員 高橋 良学	生産環境部 土壌作物栄養 研究室	依頼研究員 リモートセンシング利用による作物生育情報 の解析	独立行政法人 農業技術研究機構 東北農業研究センター	14. 7. 1 ～14. 9.30
主任専門研究員 後藤 純子	病害虫部 病理昆虫研究室	依頼研究員 斑点米カメムシ類の生態と防除に関する研究	独立行政法人 農業技術研究所 中央農業総合研究センター 北陸研究センター	15. 1. 6 ～15. 3.30
専門研究員 児玉 英樹	畜産研究所 家畜工学研究室	依頼研究員 体外受精、顕微授精などの先端技術の習得	独立行政法人 農業技術研究機構 畜産草地研究所	14. 9.11 ～14.12.10
専門研究員 山口 直己	畜産研究所 家畜飼養研究室	依頼研究員 飼料中バイパス蛋白を考慮した高エネルギー 高タンパク飼料給与に関すること	独立行政法人 農業技術研究機構 北海道農業研究センター	14. 5. 9 ～14. 8. 8
主任専門研究員 長谷川 聡	東北農業研究所 やませ利用 研究室	依頼研究員 市場性の高い雑穀系統の特性評価	独立行政法人 農業技術研究機構 作物研究所	14. 9.10 ～14.12. 9
主任専門研究員 井村 裕一	企画経営情報部 農業経営研究室	独立行政法人農業技術研究機構 短期集合研修 農業生産における技術と経営の評価方法	独立行政法人 農業技術研究機構	14. 7.29 ～14. 8. 2
主任専門研究員 加藤 満康	企画経営情報部 農業経営研究室	独立行政法人農業技術研究機構 短期集合研修 農林水産試験研究のための統計的手法 (基礎編)	独立行政法人 農業技術研究機構	14.11.11 ～14.11.15

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 小田島ルミ子	生産環境部 土壌作物栄養 研究室	独立行政法人農業技術研究機構 短期集合研修 農林水産試験研究のための統計的手法 (基礎編)	独立行政法人 農業技術研究機構	14.11.11 ~14.11.15
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画経営情報部 企画情報室	独立行政法人農業技術研究機構 短期集合研修 農林水産試験研究分野の特許出願の基礎	独立行政法人 農業技術研究機構	14.12. 3 ~14.12. 4
主任専門研究員 鈴木 暁之	畜産研究所 家畜工学研究室	"	"	"
主任専門研究員 藤沢 巧	病害虫部 病理昆虫研究室	都道府県農林水産関係研究員短期集合研修 昆虫・微生物ゲノム、遺伝子操作、 昆虫機能の利用、昆虫の新素材 等	独立行政法人 農業生物資源研究所 (主催)	14.10. 8 ~14.10.11
主任専門研究員 後藤 純子	病害虫部 病理昆虫研究室	"	"	"
主任専門研究員 中野 央子	農産部 水稻育種研究室	農業中核研究員養成研修 試験研究の企画、立案、進行管理 試験研究成果の普及への伝達 等	農林水産技術会議	15. 1.20 ~15. 1.22
主任専門研究員 菅原 英範	県北農業研究所 産地育成研究室	"	"	"
技師 河田 道子	園芸畑作部 果樹研究室	都道府県農業関係研究員専門研修 雑草の生態と防除研究	中央農業総合研究センター	14. 8.20 ~14. 8.22
専門研究員 寺田 道一	県北農業研究所 やませ利用 研究室	"	"	"
主任専門研究員 佐藤 嘉彦	企画経営情報部 農業経営研究室	大規模営農経営管理研修 平成14年度インターネットマーケティング	農林水産研修所 農業技術研修館	14. 7.23 ~14. 7.26
技師 沼田 芳宏	生産環境部 環境保全研究室	有機農業技術研修	農林水産研修所 農業技術研修館	14.11.18 ~14.11.22
主任専門研究員 加藤 満康	企画経営情報部 農業経営研究室	試験研究機関研究員研修 県試験研究の概要、役割・仕組み、 公設試験研究員の在り方 等	地域振興部 科学技術課(主催)	15. 2.14
技師 阿部 陽	農産部 水稻育種研究室	"	"	"
技師 浅川 知則	園芸畑作部 果樹研究室	"	"	"
専門研究員 土田 典子	園芸畑作部 野菜畑作研究室	"	"	"
技師 高橋 大輔	園芸畑作部 野菜畑作研究室	"	"	"
技師 佐々木 直子	病害虫部 病理昆虫研究室	"	"	"
技師 安田 潤平	畜産研究所 家畜育種研究室	"	"	"

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 平久保 友美	畜産研究所 飼料生産研究室	試験研究機関研究員研修 県試験研究の概要、役割・仕組み、 公設試験研究員の在り方 等	地域振興部 科学技術課（主催）	15. 2.14
主任専門研究員 千葉 恒樹	畜産研究所 外山畜産研究室	〃	〃	〃
技 師 高杉 亘	畜産研究所 種山畜産研究室	〃	〃	〃
技 師 高橋 聡子	東北農業研究所 産地育成研究室	〃	〃	〃
専門研究員 仲條 眞介	農産部 水稻育種研究室	第 219 回第 1 種放射線取扱主任者講習 【第 1 種放射線取扱主任者免状交付：14.10.29】	日本アイソトープ協会（主催）	14. 7. 8 ～14. 7.12
技 師 安ヶ平 紀子	農産部 応用生物学 研究室	平成 14 年度第 1 種放射線取扱主任者講習会	（社）日本原子力産 業会議（主催）	14. 7. 8 ～14. 7.12
室 長 築地 邦晃	生産環境部 環境保全研究室	平成 14 年度放射線安全管理講習会	放射線障害防止中央 協議会、（財）日本ア イソトープ協会（主催）	14.11.15
専門研究員 尾形 茂	農産部 水田作研究室	除草剤 S U 抵抗性雑草の生態・検定法	（株）クマイ化学工業 生物化学研究所	14.11.20 ～14.11.23
主任専門研究員 吉田 宏	農産部 水田作研究室	米の品質・食味評価と品種判別（DNA 鑑定）	（財）日本穀物検定協 会	15. 2.19 ～15. 2.21
主任専門研究員 中野 央子	農産部 水稻育種研究室	〃	〃	〃
技 師 安ヶ平 紀子	農産部 応用生物学 研究室	〃	〃	〃
専門研究員 八重樫えみ子	企画経営情報部 企画情報室	平成 14 年度地方自治体職員等国際協力実務研修 海外研修員受入のための研修指導者研修 （トナーズ トレーニング：実務課程）	国際協力事業団 国際協力総合研修所	14. 6.10 ～14. 6.14
技 師 安ヶ平 紀子	農産部 応用生物学 研究室	第 12 回組み換え DNA 実験講習会	弘前大学遺伝子実験 施設	15. 1.15 ～15. 1.17
専門研究員 田村 和彦	農産部 水稻育種研究室	産業用無人ヘリコプターオペレーター技能認定 更新講習会	水沢市水沢総合卸セ ンター組合会館	15. 2.14
技能員兼運転技師 猪澤 哲哉	総務部 管理課	〃	〃	〃
技能員 西野 哲仁	総務部 管理課	岩手県産業用無人ヘリオペレータ研修会	岩手県産業用無人ヘ リコプター連絡協議会	15. 2.22 ～15. 2.23
技能員 菅野 輝彦	総務部 管理課	産業用無人ヘリコプター機種拡張オペレーター 講習会	農業研究センター 水田ほ場	15. 3. 5
技能員 小黒澤 清人	総務部 管理課	〃	〃	〃

4 所内セミナー等

名 称	開催期日	内 容	参集人員
〔本 部〕 公開セミナー	14. 4.15	「産学官連携について」 小山 康文（岩手大学地域共同研究センター 助教授）	124名
	14. 4.19	「研究成果発表会」 1 主業型農家経営実態調査 細田 耕平（企画経営情報部 農業経営研究室 上席専門研究員） 2 スターチス「アイスター」シリーズの培養による増殖法および順化技術 星 伸枝（農産部 応用生物工学研究室 専門研究員） 3 品種 オリジナル中生もち水稲 餅加工性に優れた「岩南糯19号」 長谷川 義孝（農産部 水田作研究室 専門研究員） 4 小麦の冬期播種栽培技術 荻内 謙吾（園芸畑作部 野菜畑作研究室 専門研究員） 5 家畜ふん堆肥の特性評価システム 高橋 良学（生産環境部 土壌作物栄養研究室 専門研究員） 6 りんご幼果に発生した炭そ病の発生特徴と伝染源 猫塚 修一（病害虫部 病理昆虫研究室 専門研究員） 7 自動搾乳システムによる省力管理技術と生産性 山口 直己（畜産研究所 家畜飼養研究室 専門研究員） 8 ひえの無農薬水田移植栽培技術 長谷川 聡（東北農業研究所やませ利用研究室 主任専門研究員）	120名
技術セミナー	14. 9. 7	「注目されるエコファーマー その新たなる展開を目指して」 基調講演1：鈴木 敏男（岩手県農林水産部 農業普及技術課 生産環境係長） 基調講演2：築地 邦晃（岩手県農業研究センター 生産環境部 環境保全研究室長） 事例発表1：小野寺 正幸（JAいわい東トマト部 会長） 事例発表2：横沢 勤（JAいわて中央営農販売部 指導流通課）	92名
	15. 1.21	「ピーマンPMMoV抵抗性品種導入の考え方」 鈴木 一実（(財)岩手生物工学研究センター 遺伝子工学第1研究部 部長） 漆原 昌二（岩手県病害虫防除所 主任） 作山 一夫（岩手県農業研究センター 園芸畑作部 野菜畑作研究室長）	45名
	15. 2.24	「(財)岩手生物工学研究センターにおける遺伝子組換え作物の開発状況について」 吉田 力（岩手県農林水産部 農業普及技術課 主任技術調整主査） 日向 康吉（(財)岩手生物工学研究センター 所長）	55名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
研修成果発表会	14. 6.24	<p>第1回研修成果発表会</p> <p>(1) 依頼研究員 「リンゴ紫紋羽病の生物防除に関する研究」 猫塚 修一(病害虫部 病理昆虫研究室 専門研究員)</p> <p>(2) 海外派遣研修 「委託研究：豚の遺伝子機能 - 圃場インターフェイス型シミュレーターの開発に関わる調査と情報収集」 佐々木 忠勝(副所長)</p> <p>(3) JICA研修員 「持続型農業における有機物利用法」 Lincca ANGGRIA(インドネシア)</p>	32名
	14.10.28	<p>第2回研修成果発表会</p> <p>(1) 依頼研究員 「イチゴ夏秋どり栽培技術の習得」 山田 修(園芸畑作部 野菜畑作研究室 専門研究員) 「畑-センシング 利用による作物生育情報の解析」 高橋 良学(生産環境部 土壌作物栄養研究室 専門研究員)</p> <p>(2) 岩手県海外技術研修員受入事業による専門家派遣 「稲作技術に関するセミナー及び個別指導」 「黒龍江省の農業事情調査」 高橋 政夫(農産部 水田作研究室 室長) 仲條 眞介(農産部 水稻育種研究室 専門研究員)</p> <p>(3) 民間企業派遣研修 派遣先:「株式会社イトーヨーカ堂」 村上和史(企画経営情報部農業経営研究室 主任専門研究員)</p> <p>(4) 海外研修 「韓国における花き生産・流通状況の視察、見聞」 内藤 善美(園芸畑作部 野菜畑作研究室 主任専門研究員) 「中国の野菜ビジネスに関する総合研修」 三浦 正弘(専門技術員室 上席専門技術員) 「韓国における野菜の生産流通の実態調査」 菊池 利行(専門技術員室 上席専門技術員) 「中国における野菜の生産流通の実態調査」 佐藤 正昭(専門技術員室 専門研究員) 本田 純悦(専門技術員室 専門技術員)</p>	60名
	15. 2.24	<p>第3回研修成果発表会</p> <p>(1) 依頼研究員 「飼料中バクテリア蛋白を考慮した高たんぱく-高蛋白飼料給与等に関すること」 山口 直己(畜産研究所 家畜飼養研究室 専門研究員) 「体外受精、顕微授精などの先端技術の習得」 児玉 英樹(畜産研究所 家畜工学研究室 専門研究員) 「市場性の高い雑穀系統の特性評価」 長谷川 聡(県北農業研究所 やませ利用研究室 主任専門研究員)</p> <p>(2) 岩手県海外技術研修員 「研修内容：水稻栽培について」 栗 利 元(中国山西省)</p>	47名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
〔畜産研究所〕 公開セミナー	14. 8.23	「粗飼料生産調製作業における新しい技術体系 - とうもろこしサイレージの細断型ロールペーラによる調整技術 - 」 志藤 博克（生物系特定産業技術研究推進機構 主任研究員）	60名
〔東北農業研究所〕 ほうれんそうセミナー	14. 9.13	「ホウレンソウの内部品質向上を！」 照井 勝也（全農岩手県本部 東京事務所 園芸課長） 根田 美和子（東北農業研究所 産地育成研究室） 長坂 富雄（先進農家） 高橋 拓也（二戸農業改良普及センター 軽米地域普及所） 下谷地 信子（先進農家） 佐藤 喬（久慈農業改良普及センター 軽米地域普及所） 昆 悦朗（久慈農業改良普及センター 軽米地域普及所）	215名
宿根草セミナー	14. 9.13	「宿根草の消費・生産動向」 岡安 祐樹（㈱ミヨシ 営業部東北担当） 中村 勉（八戸花き㈱ 総務課長）	62名

VII 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算（2月補正現計）

（単位：千円）

区 分	（内 訳）	予 算 額
【農業費】		
人件費（本部・県北）		993,872
庁舎管理費（本部）		143,235
防風林整備事業		4,217
ほ場管理費（本部）		64,610
ふれあい公園管理運営費		23,527
庁舎管理費（県北）		31,096
ほ場管理費（県北）		5,617
試験研究費（国庫助成、委託試験等）		129,089
（1）特定研究開発等促進事業	54,966	
（2）地域先端技術等研究開発促進事業	10,776	
（3）植物防疫研究費	20,072	
（4）土壌対策研究費	7,038	
（5）農業関係試験研究委託事業	19,921	
（6）民間委託試験研究費	16,316	
高生産性農業新技術開発促進研究費（県単研究費）		59,862
（1）基盤的・先導的農業技術開発研究事業	16,708	
（2）バイオテクノロジー実用化事業	12,000	
（3）先端的農業技術実用化研究事業	14,913	
（4）中山間地域活性化戦略研究事業	400	
（5）農業新技術緊急開発実用化推進研究事業	11,751	
（6）農業新技術現地実用化開発・実証研究事業	4,090	
情報プロジェクト研究事業		1,982
主要農作物採種管理費		14,979
令達事業（本部）		129,056
令達事業（県北）		9,134
合 計		1,610,276
【畜産業費】		
人件費（畜産）		532,764
庁舎管理費		56,516
飼育管理費		90,491
種山畜産研究室管理費		100,044
外山畜産研究室隔障物整備事業		9,765
畜産研究所施設整備事業		6,909
試験研究費（国庫助成、委託試験等）		23,720
（1）特定研究開発促進事業	18,076	
（2）地域先端技術共同研究開発促進事業	2,760	
（3）農業関係試験研究委託事業	2,884	
高生産性畜産新技術開発促進研究費（県単研究費）		31,050
（1）基盤的・先導的畜産技術開発研究事業	11,200	
（2）バイオテクノロジー実用化研究事業	3,200	
（3）先端的畜産技術実用化研究事業	15,750	
（4）畜産新技術現地実用化・実証研究事業	900	
令達事業		74,790
合 計		926,049
全 体 計		2,536,325

2 建物、用地 (H14.4.1)

	用 地 (ha)							建物 (㎡)		
	耕 地				小 計	林 野 等	施 設 用 地	総 面 積	棟 数	延 面 積
	水 田	畑	樹 園 地	採 草 放 牧 地						
本 部	30.2	19.2	21.3		70.7		41.1	111.8	64	19,335
北 上 主な施設面積(内数)	25.8	18.0	21.3		65.1		36.2	101.3	33	11,860
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整調査棟										860
園芸作物調査棟										716
生産環境調査棟										608
ふれあい公園							1.5	1.5	2	1,866
旧銘柄米開発研究室	4.4	0.7			5.1		2.2	7.3	26	4,805
南部園芸研究室		0.5			0.5		1.2	1.7	3	804
畜産研究所		136.0		1,534.6	1,670.6	399.4	37.8	2,109.8	181	36,427
滝沢		67.7		14.2	81.9	50.1	32.9	166.9	124	23,299
外山畜産研究室		5.8		1,470.7	1,476.5	241.3	4.5	1,722.3	42	6,676
種山畜産研究室		62.5		49.7	112.2	108.0	0.4	220.6	15	6,452
県北農業研究所	1.0	10.7	0.3		12.0		8.2	20.2	16	6,746
合 計	31.2	165.9	21.6	1,534.6	1,753.3	399.4	87.1	2,241.8	261	62,508

3 種苗登録、特許等

(1) 種苗登録

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日
りんどう	いわて乙女	第 544 号	S59. 3.19
りんどう	ジョバンニ	第 1,101 号	S61. 8. 8
りんどう	イーハトーヴォ	第 1,100 号	S61. 8. 8
大豆	緑良	第 2,517 号	H 2.12. 5
大豆	緑翠	第 2,516 号	H 2.12. 5
りんどう	アルピレオ	第 2,553 号	H 2.12. 5
りんどう	マシリイ	第 3,073 号	H 4. 2.29
りんどう	ホモイ	第 3,074 号	H 4. 2.29
ぶどう	エーデルアーリー	第 3,404 号	H 5. 3.10
りんご	きおう	第 3,947 号	H 6. 3.14
りんどう	アルタ	第 4,085 号	H 6. 8.22
稲	かけはし	第 4,410 号	H 7. 3.23
稲	ゆめさんさ	第 4,411 号	H 7. 3.23
りんどう	ポラーノ ホワイト	第 4,999 号	H 8. 3.18
りんどう	あおこりん	第 7,713 号	H12. 2.22
りんどう	ももこりん	第 7,714 号	H12. 2.22
りんどう	ポラーノ ブルー	第 7,715 号	H12. 2.22
大豆	星めぐり	第 7,756 号	H12. 2.22
稲	吟ぎんが	第 10,471 号	H14. 9. 4
スターチス	アイスター モーブ	第 10,673 号	H14. 9.30
スターチス	アイスター ラベンダー	第 10,674 号	H14. 9.30
スターチス	アイスター ライラックブルー	第 10,675 号	H14. 9.30
スターチス	アイスター ロージーピンク	第 10,676 号	H14. 9.30
スターチス	アイスター ライラック	第 10,677 号	H14. 9.30
稲	ぎんおとめ	第 10,963 号	H15. 2.20
大豆	ちゃげ丸	第 11,099 号	H15. 3.17
大豆	ぷっくらこ	第 11,100 号	H15. 3.17
稲	いわてっこ	出願番号第 13,617 号	出願 (H13. 7. 3)
きく	アイمامアーリーイエロー	出願番号第 14,520 号	出願 (H14. 3.15)
きく	アイمامホワイト	出願番号第 14,521 号	出願 (H14. 3.15)
きく	アイمامピンク	出願番号第 14,522 号	出願 (H14. 3.15)
きく	アイمامイエロー	出願番号第 14,523 号	出願 (H14. 3.15)
きく	アイمامホワイトピーチ	出願番号第 14,524 号	出願 (H14. 3.15)
稲	もち美人	出願番号第 14,894 号	出願 (H14. 7.31)

(2) 特許、実用新案

名 称	出願・公開番号(年月日)	登録番号(年月日)
米を原料とした飲料の製造方法	特開平 03-272671(H 3.12. 4)	1990534(H 7.11. 8)
牧草種子の播種方法及び牧草種子の散布用の複合肥料ペレット	特開平 10-276514 (H10.10.20)	(出願・公開中)
マクロシードペレットの散布装置	特開平 10-276516 (H10.10.20)	(出願・公開中)
遺伝子組換えりんご及びその作出法	特開 2000-270700(H12.10. 3)	(出願・公開中)
果樹の育成状態評価方法	特願 2002-315247(H14.10.30)	(出願・審査請求中)

4 表彰

表彰内容（表彰団体）	表彰の対象者（組織）	表彰の対象となった研究成果等	年 月 日
日本植物細胞生物学会技術賞	農産部長 仲谷 房治 専門研究員 星 伸枝 （農産部応用生物工学研究室） 他 3 名（生工研）	分子育種技術等を利用した果樹及び花き類の育種	14. 7.30
東北畜産学会学術賞	主任専門研究員 鈴木 暁之 （畜産研究所家畜工学研究室）	日本短角種におけるウシ筋肉肥大（Double Muscling）原因遺伝子の同定とその産肉性	14. 8.22
平成 14 年度岩手県獣医畜産業績発表会 岩手県畜産技術連盟賞	主任専門研究員 野口 龍生 専門研究員 児玉 英樹 上席専門研究員 菊池 雄 上席専門研究員 小田中誠彰 主任専門研究員 鈴木 暁之 技師 安田 潤平 家畜工学研究室長 吉川 恵郷 （畜産研究所）	黒毛和種去勢牛における尿道結石症の陰囊前方切開による外科的治療例	15. 3.13

5 職員名簿（平成14年4月1日現在）

職 名	氏 名	職 名	氏 名
所 長	高橋 壯	専門技術員室	
副所長	佐々木忠勝	首席専門技術員	高橋 保元
		上席専門技術員	高橋 典子
総務部		上席専門技術員	藤原 りつ
部 長	三浦 義夫	上席専門技術員	小笠原義明
主幹兼課長	菊池 正隆	上席専門技術員	菊池 利行
副主幹兼課長補佐	高山 克彦	上席専門技術員	三浦 正弘
主 事	横澤 嘉宗	上席専門技術員	田村 博明
主 事	麥沢 秋文	上席専門技術員	高橋 晋
主 事	伊藤 絵里	上席専門技術員	佐々木 力
管理課長	澤口 義信	専門技術員	佐藤 正昭
副主幹兼課長補佐	佐藤 英輔	専門技術員	鈴木 良則
主 任	相馬 政江	専門技術員	中森 忠義
主 事	須賀美奈子		
主任技能員	柏葉 妙子		
運転技士兼技能員	中嶌 秋人	農産部	
技能員	菅野 輝彦	部 長	仲谷 房治
技能員兼運転技士	佐藤 広昭	水田作研究室長	高橋 政夫
技能員	西野 哲仁	主任専門研究員	吉田 宏
技能員	菊地 徳章	専門研究員	小田中温美
技能員	小黒澤清人	専門研究員	尾形 茂
技能員兼運転技士	狛澤 哲哉	専門研究員	長谷川義孝
技能員兼運転技士	藤根 寛道	技 師	臼井 智彦
		首席専門研究員兼水稻育種研究室長	神山 芳典
		主任専門研究員	中野 央子
		専門研究員	仲條 真介
企画経営情報部		専門研究員	田村 和彦
部 長	丹野 恵一	技 師	阿部 陽
企画情報室長	茂木 善治	応用生物学研究室長	阿部 潤
主任専門研究員	渡辺 芳幸	専門研究員	阿部 弘
主任専門研究員	伊勢 智宏	専門研究員	星 伸枝
主 任	松澤 一志	技 師	安ヶ平紀子
主任専門研究員	横田 紀雄	生産工学研究室長	高橋 修
専門研究員	八重樫えみ子	主任専門研究員	大里 達朗
農業経営研究室長	佐藤 隆	主任専門研究員	八重樫耕一
上席専門研究員	細田 耕平	主任専門研究員	大志田建男
主任専門研究員	菅原 豊司	主任専門研究員	小野寺健一
主任専門研究員	加藤 満康		
主任専門研究員	佐藤 嘉彦		
主 任	村上 和史		
主任専門研究員	井村 裕一		

職名	氏名	職名	氏名
園芸畑作部		病害虫部	
部長	佐々木健治	部長	鈴木 繁実
果樹研究室長	小野田和夫	病害虫防除課長	平野 稔
上席専門研究員	佐々木 仁	企画指導係長(課長)	平野 稔
主任専門研究員	鈴木 哲	主任	大友 令史
技師	河田 道子	技師	細川 健
技師	奥平麻里子	技師	齋藤誉志美
技師	浅川 知則	技術副主幹兼発生予察係長	中南 博
野菜畑作研究室長	作山 一夫	主任	漆原 昌二
主任専門研究員	有馬 宏	技師	佐藤由美子
専門研究員	荻内 謙吾	技師	岩館 康哉
専門研究員	山田 修	県北農業研究所駐在	
専門研究員	高橋 典子	県北地区主任	伊東 芳樹
専門研究員	門間 剛	技師	富永 朋之
技師	高橋 大輔	技師	鳴海 智子
花き研究室長	児玉 勝雄	病理昆虫研究室長	橋元 進
主任専門研究員	内藤 善美	主任専門研究員	藤沢 巧
専門研究員	葛巻美知子	主任専門研究員	勝部 和則
専門研究員	渡辺 愛美	主任専門研究員	後藤 純子
技師	小田島 雅	専門研究員	川村 亮二
南部園芸研究室長	浅沼 一也	専門研究員	猫塚 修一
主任専門研究員	志田たつ子	技師(11/1~)	佐々木直子
専門研究員	土田 泰輔		
生産環境部		畜産研究所	
部長	武田 眞一	所長	駒込 勉
環境保全研究室長	築地 邦晃	次長	小野寺 勉
主任専門研究員	伊藤 美穂	次長	新渡戸友次
専門研究員	平賀 昌晃	主幹兼総務課長	金崎 義久
技師	沼田 芳宏	副主幹兼課長補佐	三浦 茂範
技師	菅 千穂子	主任	千葉多香子
土壌作物栄養研究室長	小野 剛志	主事	吉田亜寿紗
主任専門研究員	中野 亜弓	運転技士兼技能員	中村 長三
専門研究員	高橋 正樹	運転技師兼技能員	吉田 正弘
専門研究員	高橋 良学	主任技能員	佐々木紀好
技師	小田島ルミ子	主任技能員	室坂 光榮
保鮮流通技術研究室長	及川 一也	主任技能員	岩崎 春見
主任専門研究員	平瀬 英利	主任技能員	小笠原幸一郎
専門研究員	菊地 淑子	主任技能員	関村 武志
専門研究員	上山 純子	技能員	石川 勝美
		技能員	米沢 健治
		技能員	三上 宏
		技能員	小林 雄二
		技能員	竹田 政則
		技能員	右京 隆二
		技能員	荒木田俊一
		技能員	永洞 俊司
		技能員	中村 健

職 名	氏 名	職 名	氏 名
畜産研究所		主任技能員	斎藤 和一
技能員	菅原 薫	技能員	佐藤 洋貴
技能員	鷺見 義信	技能員	松本 徹
技能員	水澤 博征	技能員	後藤 克明
技能員	細野 貴樹		
技能員	鳴海 茂揮	東北農業研究所	
技能員	畠山 博文	所 長	櫻井 一男
技能員	谷地館 透	次 長	千葉 行雄
技能員	上澤 賢輝	総務課長	坂本 弘
技能員	伊藤 仁吉	主 任	紺野 安彦
家畜育種研究室長	小松 繁樹	運転技士兼技能員	日山千代司
主任専門研究員	藤原 哲雄	技能員	清水 賢一
専門研究員	鈴木 賢	技能員	中軽米徳典
専門研究員	吉田 登	営農技術研究室長	折坂 光臣
技 師	安田 潤平	主任専門研究員	高橋 昭喜
家畜飼養研究室長	菊池 文也	専門研究員	桐山 直盛
主任専門研究員	大和 貢	専門研究員	松浦 拓也
専門研究員	山口 直己	産地育成研究室長	茂市 修平
家畜工学研究室長	吉川 恵郷	主任専門研究員	菅原 英範
主任専門研究員	鈴木 暁之	専門研究員	藤井 伸行
主任専門研究員	野口 龍生	技 師	根田美和子
専門研究員	児玉 英樹	技 師	高橋 聡子
飼料生産研究室長	川畑 茂樹	やませ利用研究室長	飯村 茂之
主任専門研究員	佐藤 直人	主任専門研究員	長谷川 聡
専門研究員	増田 隆晴	専門研究員	寺田 道一
専門研究員	濱戸もえぎ	技 師	長島 智美
専門研究員	平久保友美	専門技術員	本田 純悦
外山畜産研究室長	谷藤 隆志	専門技術員	高橋 好範
上席専門研究員兼室長補佐	大池 裕治		
主任専門研究員	千葉 恒樹		
専門研究員	小梨 茂		
技 師	伊藤 孝浩		
主任技能員	中村 長悦		
主任技能員	藤原 時夫		
技能員	工藤 明彦		
技能員	上野 由克		
技能員	葉木澤一也		
種山畜産研究室長(次 長)	小野寺 勉		
上席専門研究員兼室長補佐	菊池 雄		
主 事	姉帯 雅美		
上席専門研究員	小田中誠彰		
主任専門研究員	西田 清		
専門研究員	高畑 博志		
技 師	高杉 亘		

沿革

- 明治 31 年 種馬厩を盛岡市に設置。
- 明治 34 年 農事試験場（3 部制：庶務・種芸・分析）を本宮村向中野（現盛岡市）に設置。
種馬厩を種畜場と改称。
- 明治 35 年 種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
- 明治 36 年 農事試験場に園芸部（4 部制）を新設。
- 大正 2 年 原蚕種製造所を胆沢郡水沢町（現水沢市）に設置。
- 大正 8 年 農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村（現江刺市）に設置。
- 大正 11 年 原蚕種製造所を蚕業試験場（4 係制：庶務・蚕種・試験・桑園）と改称。
- 大正 12 年 農事試験場に病虫部（5 部制）を新設。
外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村に移転（滝沢は支場となる）。
- 昭和 2 年 種鶏場を岩手郡巻掘村（現玉山村）に設置。
- 昭和 5 年 農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。
蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
- 昭和 10 年 農事試験場遠野試験地を上閉伊郡松崎村（現遠野市）に設置。
- 昭和 12 年 種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。
蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
- 昭和 13 年 蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
- 昭和 15 年 農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
- 昭和 21 年 農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村（現一戸町）に設置。
- 昭和 22 年 農事試験場遠野試験地が国営に移管。
- 昭和 23 年 種鶏場を紫波郡日詰町（現紫波町）に移転。
- 昭和 25 年 農事試験場を農業試験場（4 部制：総務・営農・農産・畜産）と改称。
農業試験場畜産部を種畜場と併設。
農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町に設置。
農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村（現久慈市）、下閉伊郡豊間根村（現山田町）及び気仙郡小友村（現陸前高田市）に委託設置。
- 昭和 26 年 農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村（現陸前高田市）に設置。
農業試験場に遠野試験地が国から移管。
農業試験場に農業経営研究部門設置。
工芸作物原種農場を雫石町に設置。
- 昭和 28 年 蚕業試験場を水沢市龍ヶ馬場に移転。
- 昭和 30 年 農業試験場本場機構改革（8 部制：庶務・種芸・化学・園芸・病虫・経営・農機具・畜産）。
蚕業試験場機構改革（4 部制：庶務・栽桑・養蚕・病理化学）。
- 昭和 32 年 蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
- 昭和 36 年 蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
- 昭和 37 年 農業試験場の園芸部、南部試験地及びぶどう試験地を分離して園芸試験場（3 部制：庶務・果樹・蔬菜花卉）を北上市に設置。南部試験地及びぶどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。
農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。
種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。
農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。
工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
- 昭和 38 年 農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
- 昭和 39 年 畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
- 昭和 41 年 農業試験場本場機構改革（4 部制：庶務 2 係・技術・環境・経営）。
- 昭和 44 年 園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
- 昭和 46 年 農業試験場本場機構改革（科制導入。技術部：水田作科・畑作科・作業技術科、環境部：施肥改善科・土壌改良科・病害虫科、経営部：経営科・流通経済科）。
農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。
農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。
園芸試験場に環境部を設置。

- 昭和 46 年 園芸試験場大迫園場を大迫試験地と改称。
畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
- 昭和 47 年 園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。
- 昭和 48 年 蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
- 昭和 51 年 農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
- 昭和 53 年 蚕業試験場六原試験地を廃止。
蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
- 昭和 56 年 園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。
- 昭和 57 年 蚕業試験場整備計画実施（～昭和 58 年）。
- 平成 3 年 農業試験場に水稻育種科を設置。
- 平成 8 年 畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
- 平成 9 年 農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。
農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。
農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。
農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。
畜産試験場を畜産研究所に改組。
畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。
県北農業研究所に専門技術員を配置。
- 平成 10 年 園芸畑作物蚕桑技術研究室薬品質評価分室を盛岡市に設置（薬検定所を廃止）。
センター本部に専門技術員を配置。
- 平成 11 年 企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
- 平成 13 年 病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。
銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室薬品質評価分室を廃止。
南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。

< 所 在 >

岩手県農業研究センター		
本 部	〒024-0003	岩手県北上市成田 20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ http://www.pref.iwate.jp/~hp2088/
(南部園芸研究室)	〒029-2206	岩手県陸前高田市米崎町字川崎 101 Tel. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093
畜産研究所	〒020-0173	岩手県岩手郡滝沢村字砂込 737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327
(外山畜産研究室)	〒028-2711	岩手県岩手郡玉山村藪川字大の平 40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
(種山畜産研究室)	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢 30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177
県北農業研究所	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内 23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011